

トヨタ純正

SDナビゲーション

型番 NSZT-W64

取扱書

本機の
操作



ナビゲー
ション



オーディオ&
ビジュアル



情報



周辺監視



ETC
システム



ハンズフリー



ご参考に



お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。
製品同梱の地図SDは本機のみでご使用ください。

トヨタ自動車株式会社

このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- ・ 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- ・ お買い上げの販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。
- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- ・ 本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知っておいていただきたいこと 2 ・ 目次から検索する 6 	2
1 本機の操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチなどの基本的な使い方 12 ・ 自宅を登録する 36 ・ Bluetooth 携帯電話を本機に登録する 42 	10
2 ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最寄のコンビニなどを探す 74 ・ 目的地を設定する 97 ・ 渋滞情報を確認する (VICS) 168 	52
3 オーディオ&ビジュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・ DVD を楽しむ 211 ・ SD メモリーカードの音楽を楽しむ 233 ・ iPod の音楽や動画を楽しむ 280 	189
4 情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃費画面を表示する 330 ・ JAF などの電話番号を表示する 331 	329
5 周辺監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックガイドモニターの使い方 336 	335
6 ETC システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ETC の基本的な使い方 370 	369
7 ハンズフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bluetooth 携帯電話の接続 388 ・ 電話をかける / 受ける 392 ・ 携帯電話の電話帳データを転送する 406 	380
ご参考に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考情報 426 ・ さくいん 435 	425

知っておいていただきたいこと

- 1 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておく
と便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章から
お読みになることをおすすめします。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するとき、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

他のお車に付け替える場合

本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを SD メモリーカードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、SD メモリーカードに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。

お客様が SD メモリーカードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

製品同梱の地図 SD について

製品同梱の地図 SD は本機のみでご使用ください。

他ナビゲーションの地図 SD を本機に挿入すると、正常に動作しなかったり、一部機能が制限される場合があります。

本書の文章構成について

本書の見方

3. 地図画面を操作する

3. 地図表示画面を設定する

施設マークを表示する

コンビニなどの施設マークを地図上に表示することができます。



(知識)

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示することができる施設は、①または②から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)

- 高速路線マップ (→ P.79) を表示しているときは、施設情報を表示することはできません。
- 通常の地図画面での施設表示と、オンラインルートスクロールでの施設選択 (→ P.113) は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンラインルートスクロールの施設は変更されません。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

- 5つまで選択することができます。
- 一度に選択できる施設は 1 施設です。一度に複数の施設を選択するときは、ナビ詳細設定から設定してください。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
 - **全ジャンル** にタッチ。
- **全ジャンル** にタッチしたとき
 - 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 施設マークの表示を消去するとき
 - ・ 個別に消去
 - 選択済みの施設のジャンルにタッチ。
 - ・ すべて消去
 - **表示解除** にタッチ。

● 施設マークの表示/消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→ P.138)

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設マークの名称と距離を知ることができます。

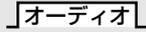
1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設
→ 施設検索

2 施設名称にタッチ。



番号	項目	内容
1	概要説明	操作や機能の概要を説明しています。
2	知識	知っておくと便利な情報を記載しています。
3	関連操作	主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。
4	画面表示操作	主要操作をする画面までの操作を記載しています。
5	主要操作	操作の手順を説明しています。

本書での表示について

表示	内容
	本体のスイッチを表しています。
	画面のスイッチ名称を表しています。 ( ・  など)
	画面のタブ名称を表しています。 ( ・  など)

知識

- 1つ前の画面に戻すときは、 にタッチします。選択した画面で操作が完了していない場合は、操作がキャンセルされます。

警告、注意について

警告

- ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

- ここに記載されていることをお守りいただかないと、傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

- ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

イラスト内の表示について



セーフティーシンボル

“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味を表しています。

その他の表示について

→ P.000

参照するページを表しています。

☆

オプションです。

1 本機の操作

1. 本機	12
各部の名称とおもな働き	12
電源を入れる・切る	15
地図SDの出し入れ	16
スライドタッチ操作について	19
メニュー画面について	21
ショートカット+ コントロール画面	22
2. QUICK SETUP (初期設定サポート)	25
QUICK SETUPで設定する	25
3. セキュリティ	29
セキュリティを設定する	29
4. 文字入力のしかた	31
文字を入力する	31
5. リスト画面	33
複数の候補から項目を選ぶ	33
6. はじめに設定しておくこと	36
初期設定をする	36
メンテナンス時期を案内する	38
Bluetooth機器を初期登録する	42
7. 画面の調整・設定	44
画面の調整・設定を変更する	44
8. 本機の設定	47
本機の設定を変更する	47
オープニング画面の設定	50
9. 知っておいて いただきたいこと	51
故障とお考えになる前に	51

2 ナビゲーション

1. ナビをお使いになる前に	56
はじめに	56
2. ナビを使ってみましょう	57
ナビゲーション画面の 見方について	57
地図画面を操作してみましょう	59
ルート案内をさせてみましょう	60
目的地案内中の現在地画面の 見方について	62
3. 地図画面を操作する	63
地図の表示	63
画面を分割表示する	72
地図表示画面を設定する	74
高速道路・都市高速道路の表示	77
地図を呼び出す	82
検索した地図を操作する	94
4. 目的地までの案内	97
目的地を設定してルートを 探索する	97
目的地案内の開始	104
目的地への案内について	105
ルート案内中の操作	112
ルートを再探索する	115
ルートを変更する	118
5. 地点の登録	125
メモリ地点を登録する	125
メモリ地点を取り込み・ 取り出しする	132
6. ナビを使いこなす	135
自転車位置マークが ずれているとき	135
ナビの詳細を設定する	137
安全・快適走行の設定をする	150
エコ機能	153
GPSについて	158
知っておいていただきたいこと	159

7. 地図データ情報.....	165
地図について.....	165
8. VICS・交通情報を使う.....	168
VICS・交通情報の表示について.....	168
VICS・交通情報を活用する.....	171
VICS 放送局を選択する.....	173
VICS について.....	174
9. スマートフォンナビ連携.....	178
スマートフォンナビ連携	
について.....	178
10. 地図更新について.....	186
地図を更新する.....	186

3 オーディオ & ビジュアル

1. はじめに.....	192
知っておいていただきたいこと.....	192
基本操作をする.....	196
2. ラジオを聞く.....	208
ラジオを操作する.....	208
3. DVDプレーヤーの操作.....	211
はじめに.....	211
ディスクの出し入れ.....	212
音楽再生中の操作.....	214
映像再生中の操作.....	218
知っておいていただきたいこと.....	228
4. Audio SDの操作.....	233
お使いになる前に.....	233
Audio SDの出し入れ.....	234
Audio SDに録音する.....	237
音楽ファイル再生中の操作.....	243
本機で記録したデータを	
編集する.....	247
5. デジタルテレビを見る.....	255
地上デジタルテレビの	
操作について.....	255
テレビの操作.....	260
テレビの設定をする.....	267
知っておいていただきたいこと.....	273
6. VTRの操作.....	274
VTRの操作.....	274
7. USBメモリの操作.....	276
はじめに.....	276
音楽ファイル再生中の操作.....	277
8. iPodの操作.....	280
はじめに.....	280
音楽ファイル再生中の操作.....	282
動画ファイルを再生する.....	284
iPodの設定をする.....	287



9. Bluetoothオーディオの 操作.....	288
はじめに.....	288
Bluetoothオーディオ 再生中の操作.....	291
Bluetoothオーディオを 設定する.....	294
10. ステアリングスイッチの 操作.....	300
ステアリングスイッチで 操作する.....	300
11. 後席ディスプレイ.....	302
リモコンでの操作.....	302
12. DSモード.....	310
DSモードの操作.....	310
13. オーディオ&ビジュアルで 使用できるメディア/ データについて.....	315
オーディオ&ビジュアルで 使用できるメディア/ データについて.....	315
14. 知っておいて いただきたいこと.....	323
故障とお考えになる前に.....	323

4 情報

1. 情報について.....	330
情報画面について.....	330
交通ナビ関連情報について.....	331
ソフトウェア更新について.....	332

5 周辺監視

1. バックガイドモニター.....	336
バックガイドモニターについて.....	336
ガイド画面の出し方.....	337
ガイド方法の選び方.....	338
並列駐車のみかた (進路表示モード).....	340
並列駐車のみかた (駐車ガイド線表示モード).....	343
縦列駐車のみかた (縦列ガイドモード).....	345
縦列駐車のみかた (駐車ガイド線表示モード).....	353
バックガイドモニターの設定.....	355
バックガイドモニターに ついての注意点.....	356
知っておいていただきたいこと.....	362
2. バックモニター.....	363
バックモニターとは.....	363
操作のみかた.....	364
バックモニターについての 注意点.....	365

6 ETCシステム

1. ETCシステム.....	370
ETCシステムについて.....	370
ETC画面の操作.....	373
エラーコードについて.....	376
知っておいていただきたいこと.....	378

7 ハンズフリー

1. お使いになる前に 382
 - ハンズフリーについて 382
 - Bluetooth機器使用上の
注意事項について 387
2. ハンズフリーの基本操作 388
 - ハンズフリーの準備をする 388
 - 電話をかける／受ける 392
3. ハンズフリーの便利な
使い方 394
 - 色々な方法で電話をかける 394
 - 着信中画面の操作 398
 - 通話中の操作 399
 - 簡易画面について 402
4. ハンズフリーの設定を
変更する 403
 - 設定・編集画面を表示する 403
 - 音量の設定をする 404
 - 電話帳を編集する 405
 - ハンズフリーの詳細設定を
変更する 413
 - Bluetooth設定をする 414
5. ステアリングスイッチの
操作 419
 - ステアリングスイッチで
操作する 419
6. こんなときは 420
 - 故障とお考えになる前に 420

ご参考に

1. 参考情報 426
 - アフターサービスについて 426
 - バッテリーの交換について 427
 - お手入れについて 429
 - VICS 情報有料放送サービス
契約約款 430
 - 仕様について 432
2. さくいん 435
 - 50音さくいん 435
 - アルファベットさくいん 442



1

本機の操作

1 本機

1. 各部の名称とおもな働き 12
2. 電源を入れる・切る 15
3. 地図SDの出し入れ 16
 - 地図 SD を入れる 16
 - 地図 SD を取り出す 17
4. スライドタッチ操作について 19
5. メニュー画面について 21
 - メニュー画面の操作 21
6. ショートカット+
コントロール画面 22
 - ショートカット+
コントロール画面について 22
 - ショートカット+
コントロール画面の表示 22
 - ショートカットスイッチの登録 23

2 QUICK SETUP (初期設定サポート)

1. QUICK SETUPで設定する 25
 - QUICK SETUP の使い方 25

3 セキュリティ

1. セキュリティを設定する 29
 - セキュリティの設定 29



4 文字入力のしかた

1. 文字を入力する31

5 リスト画面

1. 複数の候補から項目を選ぶ.....33
文字の表示範囲を変更する..... 35

6 はじめに設定しておくこと

1. 初期設定をする36
自宅を登録する 36
ナビ音声案内の音量を設定する 37
車両情報の設定をする 37
2. メンテナンス時期を案内する38
メンテナンスの案内表示について 38
メンテナンス項目を設定する 38
自動通知（メンテナンス案内）の
設定をする 39
販売店の設定をする 41
3. Bluetooth機器を初期登録する42

7 画面の調整・設定

1. 画面の調整・設定を変更する44
ディスプレイの角度調整44
画質調整画面を表示する44

8 本機の設定

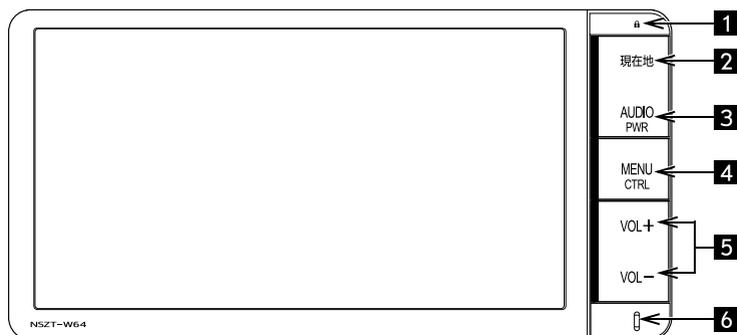
1. 本機の設定を変更する.....47
共通設定画面について47
2. オープニング画面の設定.....50
カスタムへの画像の登録50

9 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に.....51

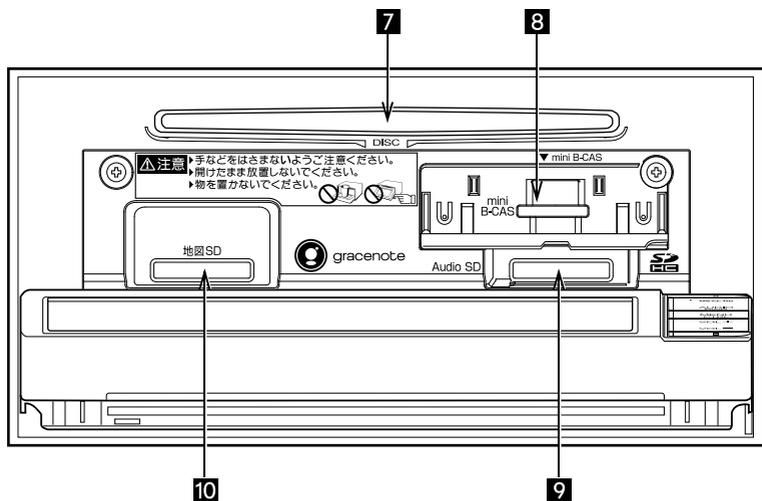
1. 各部の名称とおもな働き

▶ディスプレイ部を閉じている状態



番号	名称	機能
1	作動インジケータ	セキュリティ設定時かつインジケータ ON 設定時に点滅する。
2	現在地スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示する。(→ P.59)
3	AUDIO スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。(→ P.196) オーディオソースを切り替える。(→ P.198) “ピッ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源を ON / OFF する。 5 秒以上押し続けた後、スイッチから指を離すと、挿入中のディスクを排出する。
4	MENU スイッチ	メニュー画面を表示する。(→ P.21) 1 秒押し続けると、ショートカット+コントロール画面を表示する。(→ P.22) 10 秒以上押し続けると、本機を再起動する。
5	音量調整スイッチ	音量を調整する。
6	マイク	本機に内蔵されています。 ハンズフリー通話時に使用します。

▶ディスプレイ部・フタを開いている状態



ディスプレイ部・フタの開閉、SD メモリーカードの出し入れは、「地図 SD の出し入れ」(→ P.16)「Audio SD の出し入れ」(→ P.234)をご覧ください。

番号	名称	機能
7	ディスク挿入口	音楽ディスク、映像ディスクを挿入して再生することができます。(→ P.211)
8	miniB-CAS カード スロット	miniB-CAS カードを挿入します。(→ P.256)
9	Audio SD 挿入口	市販の SD メモリーカードを挿入して下記のこと ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 音楽 CD からの録音、録音した音楽やパソコンで記録した音楽の再生 (→ P.233) ● オープニング画像の設定 (→ P.50) ● メモリ地点の取り込み・取り出し (→ P.132) ● ソフトウェア更新 (→ P.332) 本機で使用できる SD メモリーカードについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315)をご覧ください。 本書ではこの SD メモリカードを「Audio SD」という表現で説明しています。
10	地図 SD 挿入口	プログラムや地図データを収録した地図 SD が挿入されています。



1. 各部の名称とおもな動き

知識

- - 20℃以下の低温時には、ナビの動作ができなくなったり、SDメモリーカードへの書き込みができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなることがあります。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときには、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

注意

- 12Vバッテリー上がりを防ぐため、エンジン/ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。
- 画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押しついたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。
- 表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。
- タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

2. 電源を入れる・切る

電源を入れる・切る

- 1 車両のエンジンスイッチを ACC または ON にする。
 - オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
 - 車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、本機の電源が切れます。

知識

- 電源が入っている状態で **MENU** を 10 秒以上押し続けると、本機が再起動します。自車位置マークが動かないなど本機が動作不良を起こした場合に行ってください。
- QUICK SETUP 画面が表示された場合、設定しておく便利なナビゲーション機能をまとめて設定することができます。(→ P.25)



3. 地図 SD の出し入れ

地図 SD を入れる

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット + コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

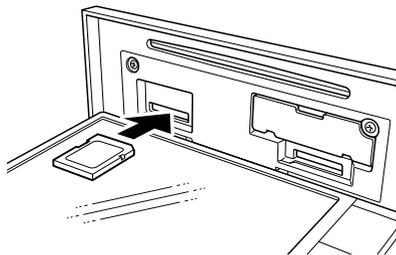
2 **▲ 地図 SD** にタッチ。



● ディスプレイが開きます。

3 挿入口に地図 SD を挿入する。

● ラベル面を上にして、挿入口にまっすぐ
奥まで挿入します。



4 **CLOSE** にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

● 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を
押してもディスプレイは閉じます。

バッテリーとの接続が断たれた とき

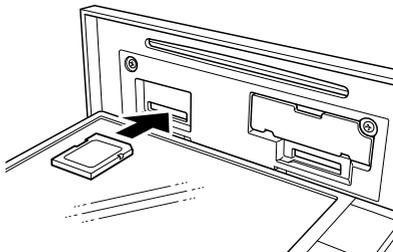
地図 SD を取り出した状態で、エンジンスイッチを ACC または ON にすると、「AUDIO スイッチを押してディスプレイを開き地図 SD カードを入れてください」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図 SD を挿入します。

1 **AUDIO** を押す。

● ディスプレイが開きます。

2 地図 SD を挿入する。

● プログラムの読み込みを開始します。完了するとオープニング画面→ TILT・EJECT 画面の順に表示されます。



3 **CLOSE** にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

● 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を
押してもディスプレイは閉じます。

知識

● 地図 SD を挿入していない状態で、使用した場合、すべてのナビゲーション機能が動作しません。地図 SD を挿入した状態でご使用ください。

地図 SD を取り出す

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット + コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

2 ▲ **地図 SD** にタッチ。



3 地図 SD を軽く押し取り出す。

4 **CLOSE** にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を押してもディスプレイは閉じます。

警告

- 地図 SD を取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- 地図 SD を本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがする恐れがあります。
- 地図 SD の差し込み途中に、**CLOSE** にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- 地図 SD は“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込みませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に地図SD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー (“P” 位置) もしくはシフトレバー (1・3・5・**R** 位置) やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。



本機
の
操
作

注意

- 地図 SD を取り出す際、下記に注意してください。
 - ・ A/T 車は地図 SD を取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A/T 車の場合は P または N レンジで操作してください。)
 - ・ M/T 車は地図 SD を取り出す際、1・3・5・**⑥** ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 本機から地図SDを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。地図 SD を破損する恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- 地図SDが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、地図 SD を傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、地図 SD を挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知識

- 地図 SD を取り出すと、本機が再起動します。

ディスプレイ警告ブザー

ディスプレイ部を開いたままエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、“ピッピッピッピッ” というブザー音でお知らせします。エンジンスイッチを ACC または ON にして **CLOSE** にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押すと、ディスプレイを閉じることができます。

4. スライドタッチ操作について

本機は通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、地図画面やリスト画面などを動かすことができます。

スライドタッチ操作を「する」に設定（→P.47）していると、次の操作ができます。

- スライド操作
- フリック操作

知識

- 走行中はスライド操作とフリック操作ができません。

スライド操作について

一部の地図画面やリスト画面で操作できます。

画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。



4. スライドタッチ操作について

フリック操作について

地図画面やリスト画面、ショートカット登録・編集画面、デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）で操作できます。

▶ 地図画面

地図画面の場合、画面にタッチした状態で、指を払うと、払った方向に画面が動きます。フリック操作によって動く量は、払う速度により変わります。

動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。



▶ リスト画面

リスト画面の場合、画面にタッチした状態で、指を払うと、払った方向にリストが動きます。動く量は、払う速度により変わります。動かしたリストは、自動で止まります。

動いているリストにタッチしても止めることができます。



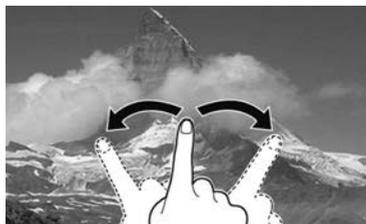
▶ ショートカット登録・編集画面

ショートカット登録・編集画面の場合、画面にタッチした状態で、指を払うと、払った方向にページが切り替わります。



▶ 映像画面

デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）の場合、画面をタッチした状態で、左右に指を払うと、デジタルテレビのチャンネルやDVDのチャプター、iPodのビデオファイルが切り替わります。



5. メニュー画面について

メニュー画面の操作

目的地設定、情報画面の表示などはメニュー画面を表示させてから操作します。

- 1 **MENU** を押すと、メニュー画面が表示される。



番号	機能	ページ
1	目的地を設定する。	97
2	情報画面を表示する。	330
3	電話画面を表示する。	394
4	設定・編集画面を表示する。	36
5	画質調整画面を表示する。	44
6	ディスプレイの角度調整をする。	44
	地図 SD、ディスク、Audio SD を出し入れする。	16 212 234



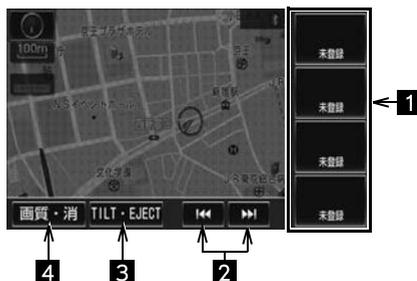
6. ショートカット+コントロール画面

ショートカット+コントロール画面について

オーディオ操作画面(→P.196)とは別に選曲などのオーディオの操作をすることができます。また、よく使う機能をショートカットスイッチに登録しておくことで、簡単に操作することができます。

ショートカット+コントロール画面の表示

- 1 **MENU** を1秒以上押す。



1 ショートカットスイッチ

登録した機能(→P.23)を操作する。

2 選曲・選局スイッチ

曲の切り替え、早送り/早戻しやラジオ・デジタルテレビの放送局を切り替えるなど。

3 TILT・EJECT スイッチ

ディスプレイの角度調整をする。
(→P.44)
地図SD、ディスク、Audio SDを出し入れする。(→P.16、P.212、P.234)

4 画質・消スイッチ

画質調整画面を表示する。(→P.44)

- ショートカットスイッチとコントロールスイッチ以外の画面にタッチまたは **現在地** ・ **AUDIO** ・ **MENU** のいずれかを押すと、ショートカット+コントロール画面を解除することができます。

ショートカットスイッチの登録

お好みの機能を4つまでショートカットスイッチに登録することができます。よく使う機能を登録しておくくと便利です。

- 1 **MENU** (1秒以上) ▶ ショートカットスイッチの **未登録** → **はい**
または
MENU → **設定・編集** → **共通設定** → ショートカット登録・編集

- 2 登録したいショートカットスイッチにタッチ。



- 3 登録したい機能のスイッチにタッチ。



- 「ナビ」・「目的地」・「オーディオ」・「設定」・「情報」のいずれかにタッチしてジャンルを切り替えることができます。
- > または < にタッチすると、ページを切り替えることができます。

- ショートカットスイッチの配置を入れ替えたいとき
▶ 入れ替えたいスイッチにタッチし、入れ替え先のスイッチにタッチ。
- 次の項目をショートカットスイッチに登録することができます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	74
	全ルート※	113
	地図&車両情報	148
目的地	名称	87
	住所	89
	施設	90
	電話番号	90
	メモリ地点	85
	ジャンル	91
	マップコード	92
	自宅に帰る	98
	目的地履歴	93
	特別メモリ 1 / 2 / 3 / 4 / 5※	85
目的地消去※	120	

次のページに続く



本機
の
操
作

6. ショートカット+コントロール画面

ジャンル	項目	ページ
オーディオ	AM	198
	FM	198
	DISC	198
	SD REC	198
	SD	198
	TV	198
	Bluetooth	198
	DS	198
	USB (USB/ iPod)	198
	VTR	198
	交通情報	198
	AUDIO OFF	196
	音設定	199
情報	燃費	153
	エコ運転評価履歴	157
	VICS	168
	ETC	373
設定	音量設定	37
	案内中止/ 案内再開 [*]	61
	ルート変更 [*]	118
	機器登録・接続	42
	画面消	46

^{*} ショートカットに設定できますが、機能の設定によっては使用できない場合があります。

知識

- 走行中は操作できません。

ショートカットスイッチの登録解除

1 **MENU** → **設定・編集** → **共通設定**
→ **ショートカット登録・編集**

2 解除したいショートカットスイッチにタッチ。

3 **削除** にタッチ。

**知識**

- 走行中は操作できません。
- すでに登録されているショートカットスイッチを選択した場合、上書きされます。

1. QUICK SETUP で設定する

QUICK SETUP の使い方

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくことと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

セキュリティの設定および QUICK SETUP 内で **終了** → **はい** の順にタッチしないと、本機を起動するたびに QUICK SETUP 画面が表示されます。

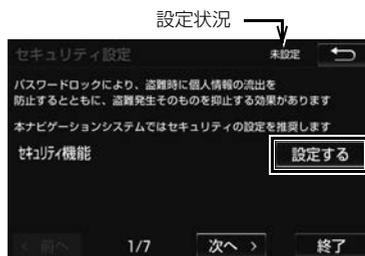
1 **QUICK SETUP を開始する** にタッチ。



- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示するとき
→ **次回起動時に設定する** にタッチ。
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示しないとき
→ **設定しない** にタッチ。
- セキュリティを設定しないと、**設定しない** を操作できません。

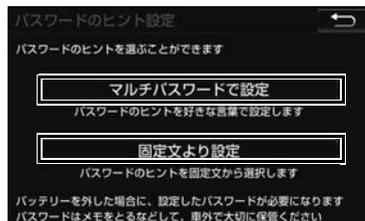
2-1 セキュリティを設定する。

設定する にタッチ。



- 項目により、設定状況が表示されます。

2-2 **マルチパスワードで設定** または **固定文より設定** にタッチ。



- **マルチパスワードで設定** :パスワードのヒントを任意に入力する
- **固定文より設定** :パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

2-3 パスワードのヒントを登録する。

- 手順 **2-2** で **マルチパスワードで設定** にタッチしたとき
→ ヒントを入力する。(→ P.31)
- 手順 **2-2** で **固定文より設定** にタッチしたとき
→ ヒントにタッチする。

2-4 パスワードを入力する。(→ P.31)

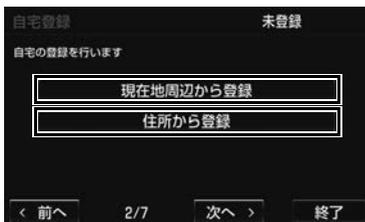
2-5 **完了** にタッチ。

1. QUICK SETUP で設定する

3 **次へ >** にタッチ。

4-1 **自宅を登録する。**

現在地周辺から登録 または
住所から登録 にタッチ。



- **現在地周辺から登録** にタッチした場合、現在地周辺の地図を表示します。
- **住所から登録** にタッチした場合、都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。
 - ・ **〇〇主要部** にタッチすると、広域図が表示されます。
 - ・ **番地指定** にタッチし、番地を入力した後 **完了** にタッチすると、該当する住所付近の地図が表示されます。

4-2 **セット** にタッチ。

5 **次へ >** にタッチ。

6 案内音量を設定する。
設定したい音量を選択する。

- 音声を OFF にするとき
→ **消音** にタッチ。
- **高速時の自動音量切替** を ON に設定すると、車速が約 80km/h 以上になったときにナビの音声案内の音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。

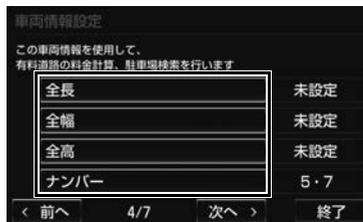


- 高速時の自動音量切替が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

7 **次へ >** にタッチ。

8 車両情報を設定する。
全長、**全幅**、**全高**、**ナンバー** に
タッチして設定する。

- **>** : 寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する
- **<** : 寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する



9 **次へ >** にタッチ。



10 地図表示カスタマイズを設定する。
「**地図色**」、「**ルート色**」、
「**自転車マーク**」、「**文字サイズ**」にタッチして、設定する。

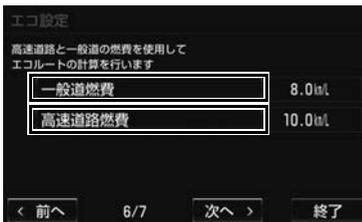
- 「**地図色**」: 地図の表示色を **ストレート**、**ナチュラル**、**ビジブル**、**クリア**、**カラフル**の中から選ぶ
- 「**ルート色**」: ルートの表示色を青色、緑色、赤色、水色、黄色の中から選ぶ
- 「**自転車マーク**」: 自転車位置マークを の中から選ぶ
- 「**文字サイズ**」: 地図上に表示される地名などの文字サイズを **大**、**中**、**小**の中から選ぶ



11 **次へ >** にタッチ。

12 エコ機能の燃費を設定する。
「**一般道燃費**」または「**高速道路燃費**」にタッチ。

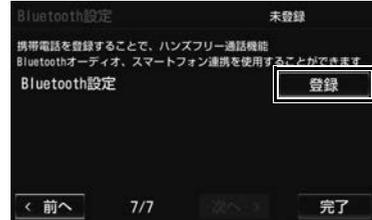
- 燃費を上げたいとき
→ **>** にタッチ。
- 燃費を下げたいとき
→ **<** にタッチ。



13 **次へ >** にタッチ。

14 Bluetooth の設定をする。

登録 にタッチし、Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチして、接続を切ってください。
- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき
→ **中止** にタッチ。



- 接続が完了するとメッセージが表示され、携帯電話の登録が完了します。

1. QUICK SETUP で設定する

15 **完了** にタッチ。

16 **完了** にタッチ。

17 **はい** にタッチ。

(知識)

- **< 前へ** にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で画面外のスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP 画面が再度表示されます。
- 設定の途中で **終了** → **はい** の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されません。次回起動時には、QUICK SETUP 画面は表示されません。
- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。(→ P.137)

1. セキュリティを設定する

セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、本機がロックして操作できなくなります。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、本機と所有者を確認することができます。



お車を手放すときは、パスワードを解除してください。(→ P.30)

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

〔知識〕

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときが必要です。

1 **MENU** → **設定・編集** → **共通設定**

2 **セキュリティ設定** にタッチ。

3 セキュリティ機能の **設定** にタッチ。

- **パスワードを登録している場合**、**設定** → **はい** の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

4 **マルチワードで設定** または **固定文より設定** にタッチ。

- **マルチワードで設定** …パスワードのヒントを任意に入力する
- **固定文より設定** …パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

5 パスワードのヒントを登録する。

- 手順4で **マルチワードで設定** にタッチした場合
→ ヒントを入力する。(→ P.31)
- 手順4で **固定文より設定** にタッチした場合
→ ヒントにタッチする。

6 パスワードを入力する。(→ P.31)

7 **完了** にタッチ。



3. セキュリティ

1. セキュリティを設定する

セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリーターミナルをはずして本機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。(→ P.31)



2 **OK** にタッチ。

(知識)

- パスワードを忘れた場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

作動インジケータを点滅させる

エンジンスイッチを OFF (LOCK) にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

(知識)

- 作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します。(→ P.29)

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **共通設定** → **セキュリティ設定**

2 インジケータの **ON** にタッチ。

- **OFF** にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを停止する

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **共通設定** → **セキュリティ設定**

2 セキュリティ機能の **解除** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

4 パスワードを入力する。(→ P.31)

1. 文字を入力する

本機では、文字入力が必要になると、文字入力画面が表示されます。

- 各スイッチの働きは、次のようになっています。
- ここでは、メモリ地点編集の文字入力画面で説明しています。

▶かな・漢字入力時
カーソル移動スイッチ



入力モード切り替えスイッチ

▶アルファベット・数字入力時



▶数字・記号入力時



スイッチ	機能
文字入力	各種文字を入力する。
カーソル移動	<p>カーソルを移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タッチし続けると、連続してカーソルが移動します。 ●未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 <p>確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。</p>
修正	<p>文字を消去する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 ●カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上にある文字を消去します。 <p>続けてタッチすると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去します。</p>
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
完了	文字入力を終了する。文字入力画面が表示される前の画面に戻り、文字が入力される。
無変換	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
変換	<p>かな入力時、漢字に変換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままの状態でもよいとき ▶ 全確定 にタッチ。 ●変換範囲のみ変換するとき ▶ 希望の候補にタッチ。 ●変換範囲（文節）が間違っているとき ▶ ◀ ・ ▶ にタッチして変換範囲を修正する。

次のページに続く

4. 文字入力のかた

1. 文字を入力する

スイッチ	機能
入力モード切り替え	文字の入力モードを切り替える。 かな : ひらがな、漢字を入力 カナ : カタカナを入力 英数字 : アルファベット、数字を入力 数記号 : 数字、記号を入力
全角／半角	半角入力と全角入力を切り替える。
大文字／小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
▲ 1/2 ▼ (ページ切り替え)	ページを切り替える。

知識

- 表示される状況により、文字入力画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

1. 複数の候補から項目を選ぶ

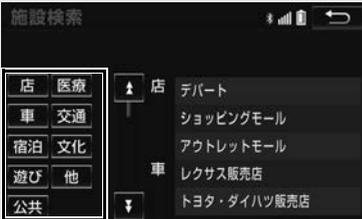
地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

スイッチ	機能
	<p>行ごとにリストが切り替わります。 <例> あ行 にタッチするとあ行のリストに切り替わります。</p> <p>続けてタッチすると、行の中で「あ→い」と音ごとにリストが切り替わります。</p>
	<p>マークの種類ごとにリストが切り替わります。</p>
	<p>タッチするごとに1ページずつリストが切り替わります。</p> <p>タッチし続けている間、リストが切り替わります。</p>
	<p>種類ごとにリストが切り替わります。</p>

次のページに続く



1. 複数の候補から項目を選ぶ

スイッチ	機能
	<p>地域ごとにリストが切り替わります。</p>
	<p>施設項目ごとにリストが切り替わります。</p>
	<p>全選択 にタッチすると、リストの全ての項目を選択します。</p>

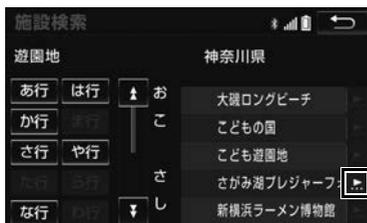
文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。



本機
の
操
作

1  にタッチ。



● 先頭に戻るとき

→  にタッチ。

1. 初期設定をする

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地設定で「自宅に帰る」にタッチするだけで、自宅までのルート探索ができます。

例として、自宅「東京都文京区後楽1丁目4-18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

1 **MENU** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。



4 メモリ地点の **登録** にタッチ。

5 地図の呼び出す方法を選ぶ。
ここでは、**住所** にタッチ。

6 都道府県名から順に、住所を選択する。まず、**東京23区** にタッチ。

7 **文京区** にタッチ。

8 **後楽** にタッチ。

9 **1丁目** にタッチ。

10 **番地指定** にタッチ。

11 番地を入力する。

12 **完了** にタッチ。

13 **🏠** にタッチして、自宅の位置に **📍** を合わせる。

14 **セット** にタッチ。

15 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。

16 自宅の **未登録** または **(地点名称)** にタッチ。

- すでに自宅が登録されているとき
→ **はい** にタッチ。

17 **完了** にタッチ。

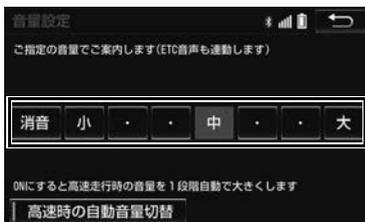
知識

- 地図の呼び出し方法は、住所のほかにも呼び出すことができます。(→ P.82、P.94)

ナビ音声案内の音量を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 音量設定

2 設定したい音量にタッチ。



- 音声を OFF にするとき
➔ **消音** にタッチ。
- 高速走行時、自動的に音量を大きくするとき
➔ **高速時の自動音量切替** にタッチ。

知識

- 高速走行時、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。(車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)

車両情報の設定をする

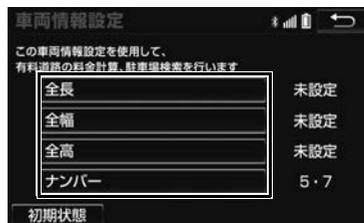
お車の仕様(サイズなど)を登録しておくこと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

1 MENU ▶ 設定・編集 →

ナビ詳細設定 → その他 →

車両情報設定

2 **全長**、**全幅**、**全高** または **ナンバー** にタッチ。



- 寸法を設定し、**初期状態** にタッチ。
- : 寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- : 寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態(寸法が設定されていない状態)に戻ります。

知識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。



本機
の
操
作

2. メンテナンス時期を案内する

メンテナンス機能とは、GPS（→ P.158）の時計機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などのイベント時期の案内を行う機能です。

知識

- メンテナンスの内容や時期については、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの案内表示について

設定した日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。



- 5つ以上の項目があるときは、●が表示されます。
 - ・ 任意文字入力の場合は、入力した名称（→ P.39）を表示します。
- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が表示されるときは、案内されません。

メンテナンス項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →

メンテナンス → **項目設定**

2 設定する項目にタッチ。



- **任意入力**（任意入力項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→ P.39）

3 日付・距離を入力し、**完了** にタッチ。

- 間違えたとき

→ **修正** にタッチ。

- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、**月**・**日** にタッチして入力することができます。

・ 2～9月と4～9日は **月**・**日** にタッチして入力する必要はありません。

〈例〉2015年1月2日と入力するとき

1・**5**・**1**・**月**・**2**

日 または **1**・**5**・**0**・

1・**0**・**2** の順にタッチしま

す。

知識

- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→ P.38)
- 未設定の項目は  (白色)、すでに設定されている項目は  (緑色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は  (橙色) で表示されます。

自動通知 (メンテナンス案内) の設定をする

自動通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「メンテナンス」 → 項目設定

2 自動通知 にタッチ。



作動表示灯

- 自動通知が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき
➔ 自動通知 にタッチ。

任意入力項目を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「メンテナンス」 → 項目設定 →
任意入力

2 設定するマークにタッチ。



3 名称を入力し、完了 にタッチ。
(→ P.31)

4 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

- 「メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する」(→ P.38) 手順 3へ。



本機
の
操
作

2. メンテナンス時期を案内する

メンテナンス設定を消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 →

「メンテナンス」 → 項目設定

2 設定を消去する項目にタッチ。

- すべての設定を消去したいとき
→ 設定全消去 にタッチし、はい にタッチ。

3 設定消去 にタッチ。



4 はい にタッチ。

メンテナンス設定を更新する

1 MENU ▶ 設定・編集 →

「メンテナンス」 → 項目設定 →

(設定を更新する項目)

2 設定を更新する項目にタッチ。

- すべての設定を更新したいとき
→ 自動全更新 にタッチし、はい にタッチ。

3 自動更新 にタッチ。



4 はい にタッチ。

- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

- すべて更新するとき

→ 「メンテナンス設定をすべて更新する」 (→ P.41)

知識

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

販売店の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「メンテナンス」 → 項目設定

2 「販売店設定」 にタッチ。



3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。
(→ P.82、P.94)

4 「セット」 にタッチ。

- ④の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を検索する」(→ P.90) でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに「セット」にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「メンテナンス」 → 項目設定 →
販売店設定

2 修正／入力をする。



- 修正・入力方法については以下のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	130
位置	131
電話番号	131

- 「販売店に行く」にタッチすると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいとき
→ 「販売店の消去」にタッチし、「はい」にタッチ。



3. Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、エンジンスイッチを ACC または ON にするたびに自動で Bluetooth 接続します。

※ 本書では一部を除き、携帯電話・スマートフォンを「携帯電話」という表現で説明しています。

1 MENU ▶ 設定・編集 →

Bluetooth

2 機器登録・接続 にタッチ。



3 追加 にタッチ。

- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- 携帯電話／ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。

4 表示された画面にしたがって携帯電話／ポータブル機から Bluetooth を登録する。

- 携帯電話の機種によっては操作が異なります。
 - ・ PIN Code で登録するとき
 - ➔ 携帯電話／ポータブル機で本機に表示されている PIN Code を入力。



- ・ 暗証番号で登録するとき
 - ➔ 本機に表示されている暗証番号を確認し、表示にしたがって操作。



- 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN Code 入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。
- ポータブル機で PIN Code が入力できないとき
 - ➔ 本機の PIN Code をポータブル機の PIN Code に変更し (→ P.298) 操作しなおす。



5 初期登録が完了すると、メッセージが表示されます。

- 「Bluetooth 機器からの接続を待ちましたが、完了していません 車載機からの接続に切り替えます」のメッセージが表示されたとき

➔ **了解** または **中止** にタッチ。

・ **了解** にタッチすると、Bluetooth 接続を開始します。接続が完了すると、ハンズフリーや Bluetooth オーディオが使用できます。

・ **中止** にタッチしたときは、Bluetooth 接続をしません。ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するには、Bluetooth 接続が必要になります。(→ P.181、P.294、P.389)

- 失敗画面が表示されたとき

➔ 画面の案内に従い、操作してください。

(知識)

- 接続する機器によっては、機器名称の表示など本機と一致しない場合があります。
- 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。
- Bluetooth 機器は、5 台まで本機に登録できます。
- Bluetooth 機器側の操作は、Bluetooth 機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth 機器を使用する場合は、Bluetooth 機器の数だけ登録を繰り返します。
- PIN Code とは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→ P.298、P.418)
- 携帯電話／ポータブル機を登録すると、最後に登録した機器が本機で使用する機器として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してください。
- HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPP、PBAP、SPP のみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。
- 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに iPhone を接続し、オーディオソースを iPod にした場合、スマートフォンナビ連携を使用することができません。

1. 画面の調整・設定を変更する

ディスプレイの角度調整

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

2 **TILT** ▼ または **TILT** ▲ にタッチ。



- **TILT** ▼ … 斜め下方に傾ける
- **TILT** ▲ … 傾きを戻す
・ タッチすることにより 1 段階 (5°) ずつ傾きます。最大 6 段階 (30°) まで傾けることができます。

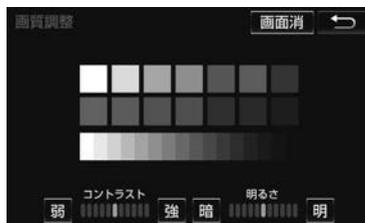
知識

- ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを ACC または ON にした場合、元の傾いた状態に戻ります。

画質調整画面を表示する

▶ ナビゲーション画面

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**



▶ DVD などの映像画面

1 映像表示画面 → **各種切替** →
画質調整 または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**



▶ カメラの映像画面

1 ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**



1. 画面の調整・設定を変更する

知識

- DVD などの映像表示中、またはカメラ画面表示中は、メニュー画面からの画質調整はできません。
- ショートカット + コントロール画面から操作した場合、 は表示されません。
現在地・**AUDIO**・**MENU** のいずれかを押すと、画質調整画面を解除することができます。

画質を調整する

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整できます。

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット + コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**

2 画質を調整する。

- 画質調整では、次の項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする
色合い*	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ*	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする

* 色合い、色の濃さは、DVD などの映像を表示している時に調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、色の明るさのみ調整できます。

知識

- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。
- ショートカット + コントロール画面から操作した場合、 は表示されません。
現在地・**AUDIO**・**MENU** のいずれかを押すと、画質調整画面を解除することができます。

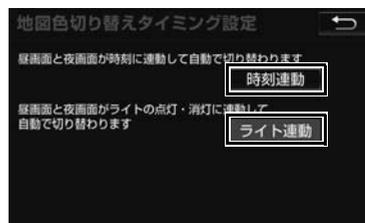
昼画表示・夜画表示の切り替え

昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを次の中から選択することができます。

- 時刻連動…時刻に合わせて表示を切り替えます。
- ライト連動…ライトの点灯・消灯に合わせて表示を切り替えます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
ナビ詳細設定 → **地図表示設定** →
地図色切り替えタイミング設定

2 時刻連動 または ライト連動 にタッチ。



1. 画面の調整・設定を変更する

手動で昼画表示にする

- 1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**
- 2 夜画表示のとき、**昼画面** にタッチ。
 - タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 地図色切り替えタイミング設定 (→ P.45) の設定により、**昼画面** の表示は次のようになります。
 - ・「時刻連動」設定時：時刻が夜と判断されているときに表示。
 - ・「ライト連動」設定時：ライト点灯時に表示。
- ショートカット+コントロール画面から操作した場合、**↵** は表示されません。
現在地 ・ **AUDIO** ・ **MENU** のいずれかを押し、画質調整画面を解除することができます。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

- 1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **画質・消**
- 2 **画面消** にタッチ。
 - 画面を表示させるとき
→ **現在地** ・ **MENU** ・ **AUDIO** のいずれかを押し。

知識

- 画面を消した状態でも **MENU** を1秒以上押し、ショートカット+コントロール画面を表示することができます。
- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。

1. 本機の設定を変更する

共通設定画面について

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 各項目を設定する。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できます。

本機
の
操
作

スライドタッチ操作

スライドタッチ操作のする／しないを設定できます。(→ P.19)

BEEP 音通知

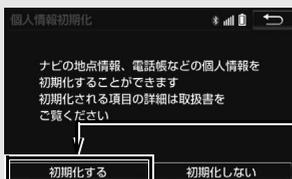
タッチスイッチにタッチしたときの応答音出力のする／しないを設定できます。

操作画面継続表示

する にタッチすると、オーディオ操作画面を表示したまま約 20 秒以上操作しなかったときに、表示を継続させることができます。**しない** にタッチすると、継続させずに自動で現在地画面を表示します。

個人情報初期化

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。(→ P.49)



初期化する → はい → OK の順にタッチ。

セキュリティ設定

セキュリティの設定を行います。(→ P.29)

ショートカット登録・編集

ショートカットスイッチの登録、編集を行います。(→ P.23)

ソフトウェア情報

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。(該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含まれます。)

1. 本機の設定を変更する

知識

● 操作画面継続表示について

- ・ ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、現在地画面を表示しないことがあります。

個人情報の初期化について

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。

- 次の情報を削除、または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
ナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	安全・快適走行設定の項目 [*]
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	エコ機能の設定および区間燃費の履歴
	ショートカット項目
車両情報設定	
オーディオ&ビジュアル	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	ポータブル機の登録情報
	オープニング画の設定

項目	情報
ハンズフリー	電話帳データ
	発信または着信の履歴データ
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目

^{*} 踏切案内、合流案内、カーブ案内、レーン警告、事故多発地点案内の設定は初期化されません。

知識

- 一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。
- 本機を他人へ譲渡するときは、個人情報の初期化とパスワードの解除を必ず行ってください。



2. オープニング画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 画像設定
→ オープニング画像変更

2 1 ・ 2 ・ 3 ・ カスタム のいずれかにタッチ。



- **カスタム** は画像が登録してあるときのみタッチできます。

カスタムへの画像の登録

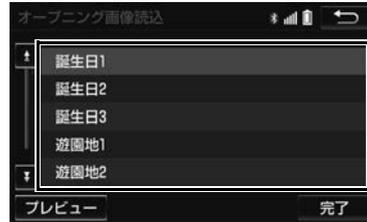
Audio SD に記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。本機で使用できる Audio SD や画像データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

1 Audio SD を挿入

(→ P.234) → MENU ▶
設定・編集 → 画像設定 →
オープニング画像変更

2 **カスタムの変更** にタッチ。

3 設定したい画像を選択し、**完了** にタッチ。



- 選択した画像のプレビュー画面を見たいとき

→ **プレビュー** にタッチ。



- ・ 次の画像を見たいとき

➡ → にタッチ

- ・ 前の画像を見たいとき

➡ ← にタッチ

- ・ 表示中の画像を設定するとき

➡ **完了** にタッチ

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶特有の現象です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整が適正でないため。	コントラスト、明るさを調整してください。(→ P.45)
車両のエンジンを ACC または ON にしたあと、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
地図 SD の挿入検知 (半挿入など)	地図 SD が正しく挿入されていないため。	地図 SD を正しく挿入してください。(→ P.16)
タッチパネルが効かない、ずれる、反応が悪い。	タッチパネルに、保護シートを貼っているため。	保護シートを貼っている場合は、剥がしてください。
オープニング画像変更用の画像の読み込みができない。	読み込み可能な SD メモリーカードではない。 画像データが規定外。	SD メモリーカードおよび画像データをご確認ください。
車両情報を変更できない。 車両情報を設定できない。	目的地が設定されている。	目的地が設定されているときは、車両情報を設定できません。目的地を消去してから設定してください。
車両情報設定の「変更する」スイッチが操作できない。		



2

ナビゲーション

1 ナビをお使いになる前に

- 1. はじめに.....56
 - ナビゲーションについて 56
 - 知っておいていただきたいこと 56

2 ナビを使ってみましょう

- 1. ナビゲーション画面の見方について.....57
- 2. 地図画面を操作してみましょう59
 - 地図に現在の車の位置を表示する 59
 - 地図を動かす 59
 - 地図を拡大／縮小する 59
- 3. ルート案内をさせてみましょう60
 - 目的地を決める 60
 - ルート案内を中止する 61
 - 目的地を消去する 61
- 4. 目的地案内中の現在地画面の見方について.....62

3 地図画面を操作する

- 1. 地図の表示.....63
 - 現在地を表示する 63
 - スイッチの表示／非表示..... 64
 - 地図を動かす 65
 - 地図縮尺を切り替える..... 66
 - 地図記号・地図表示について 67
 - 地図の向きを切り替える 69
 - 3D 表示..... 70
 - 市街図を表示する 71
 - 施設の内容を表示する 71
 - 地図をカスタマイズする 71
- 2. 画面を分割表示する 72
 - 地図を左右 2 分割して表示する (2D ツイン) 72
 - 画面を左右 2 分割して表示する (地図／車両情報) 73
- 3. 地図表示画面を設定する.....74
 - 施設マークを表示する 74
 - 近くの施設を検索する 74
 - 立体ランドマークの施設情報を表示する 75
 - 走行した経路を表示する (走行軌跡).... 76
- 4. 高速道路・都市高速道路の表示77
 - ハイウェイモード表示の操作 77
 - 高速路線マップ 79
 - 高速分岐案内表示の操作 80

5. 地図を呼び出す	82
地図を検索する	82
名称で地図を検索する	87
住所で地図を検索する	89
施設で地図を検索する	90
電話番号で地図を検索する	90
ジャンルで地図を検索する	91
マップコードで地図を検索する	92
履歴で地図を検索する	93
6. 検索した地図を操作する	94
ピンポイント検索について	94
提携駐車場を検索する	95
住所で絞り込む	95

4 目的地までの案内

1. 目的地を設定してルートを探索する	97
目的地の設定について	97
目的地画面から目的地を設定する	97
地図画面から目的地を設定する	97
自宅を目的地に設定する	98
ルート探索について	98
ルート探索後の全ルート図表示について	99
2. 目的地案内の開始	104
目的地案内を開始する	104
目的地案内を中止する	104
3. 目的地への案内について	105
音声案内について	105
交差点案内について	107
到着予想時刻について	110
料金案内について	111
フェリー航路の案内	111
4. ルート案内中の操作	112
オンルートスクロール	112
オンルートスクロールの設定	112
全ルート図を表示する	113
到着予想時刻・残距離表示を切り替える	114
5. ルートを再探索する	115
ルートを自動で再探索する	115
ルートの再探索方法を選ぶ	115
6. ルートを変更する	118
ルート変更画面を表示する	118
探索条件を変更する	119
目的地を追加する	119
目的地の順番を並び替える	120
目的地を消去する	120
出入口 IC (インターチェンジ) を指定する	122
通過する道路を設定する	122



5 地点の登録

1. メモリ地点を登録する..... 125
 - 地点の登録について 125
 - 地図画面から登録する 125
 - メモリ地点画面を表示する 125
 - メモリ地点を登録する 126
 - 迂回メモリを登録する 127
 - メモリ地点の情報を修正する 129
2. メモリ地点を取り込み・取り出しする..... 132
 - メモリ地点の取り込みと取り出しについて 132
 - パスワードの設定 132
 - メモリ地点の取り出し 133
 - メモリ地点の取り込み 134

6 ナビを使いこなす

1. 自転車位置マークがずれているとき 135
 - 補正について 135
 - 現在地を修正する 135
 - 距離を補正する 135
2. ナビの詳細を設定する..... 137
 - 地図表示設定をする 138
 - 案内表示設定をする 143
 - ルート系設定をする 144
 - 自動表示切替設定をする 145
 - 音声設定をする 147
 - その他の設定をする 148
3. 安全・快適走行の設定をする 150
4. エコ機能 153
 - エコ機能について 153
 - 燃費の計算 153
 - ルート案内時の燃費設定 155
 - エコ情報の表示 156
 - エコ運転アドバイスの設定 157
5. GPSについて 158
6. 知っておいていただきたいこと 159
 - こんなメッセージが表示されたとき 159
 - 故障とお考えになる前に 161
 - ナビの精度について 163

7 地図データ情報

1. 地図について 165
 - データベースの情報を見る 165
 - 地図データについて 165
 - 地図データの更新について 166

8 VICS・交通情報を使う

1. VICS・交通情報の表示について 168
 - VICS・交通情報について 168
 - タイムスタンプについて 169
 - VICS 記号の内容を表示する 169
 - VICS・交通情報の表示設定 170
2. VICS・交通情報を活用する 171
 - 渋滞・規制音声案内について 171
 - VICS 図形情報・文字情報を表示する 171
 - 渋滞考慮探索 172
3. VICS 放送局を選択する 173
4. VICS について 174
 - 知っておいていただきたいこと 174
 - VICS の用語について 175
 - VICS センター著作権および VICS 過去データについて 175
 - VICS の問い合わせ先について 176
 - VICS 記号・表示について 177

9 スマートフォンナビ連携

1. スマートフォンナビ連携について 178
 - Bluetooth 機器使用上の注意事項 179
 - スマートフォンを登録する 180
 - スマートフォンを接続する 180
 - Bluetooth 接続の再接続について 182
 - スマートフォンナビ連携を利用する 182
 - 使用するスマートフォンを選択する 183
 - スマートフォン機器詳細情報を表示する 183
 - スマートフォン機器の登録を削除する 185
 - スマートフォンナビ連携アプリについて 185

10 地図更新について

1. 地図を更新する 186
 - 差分更新（マップオンデマンド）と全更新について 186
 - 専用のアプリケーションソフトについて 187



1. はじめに

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
 - ・必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.135)
 - ・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなる場合があります。
- 自転車位置マーク  は、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
 - ・このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすることはできません。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている（自転車位置マーク  がずれている）ことがあります。
 - ・人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自転車位置マーク  がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マーク  がずれることがあります。ただし、地図の自転車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチング* や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。(→ P.163)

* マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自転車位置マーク  を表示させるシステムです。

1. ナビゲーション画面の見方について



番号	表示	機能	ページ
1	方位マーク	地図の方角を表示する。  : ノースアップ時  : ヘディングアップ時 ・地図向きの切り替えについて →「地図の向きを切り替える」	69
2	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。	59
3	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） ・目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。	—
4	ステータスバー	各機能の通信状況や電池残量などを表示する。	148
5	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） ・通過・分岐する交差点の名称 ・走行している道路の名称 ・通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ） ・分岐する IC・JCT（ジャンクション：自動車専用道路同士の合流、分岐地点）の方面名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ）	—
6	時計表示	現在の時刻を表示する。	148

次のページに続く

1. ナビゲーション画面の見方について

番号	表示	機能	ページ
7	VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。 	169
8	GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。 	158
9	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • スケール表示について ➡ 「地図縮尺を切り替える」 	66

知識

- 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

2. 地図画面を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示する

- 1 **現在地** を押す。

現在の車の位置  が表示されます。



現在の位置（自車位置マーク ）

地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

地図の表示	ページ
スイッチを消す	64
地図の向きをかえる	69
地図を立体的に表示する	70
市街図を表示する	71
左右2画面で表示する	72
地図の表示色をかえる	138

地図を動かす

スライド操作で動かす

スライドタッチ操作を「する」に設定（→ P.47）したときに操作することができます。

- 1 地図にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.65）

画面にタッチして動かす

スライドタッチ操作を「する／しない」どちらに設定（→ P.47）しても操作することができます。

- 1 地図にタッチ。



例えばここをタッチすると

タッチした位置が画面の中央に動きます。



タッチした位置

地図を拡大／縮小する

地図を拡大する

- 1 **詳細** にタッチ。

地図を縮小する

- 1 **広域** にタッチ。

3. ルート案内をさせてみましょう

目的地を決める

例として、「名称」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **名称** にタッチ。



- 4-1 「うえのどうぶつえん」と入力する。
- 4-2 **完了** にタッチ。
- 4-3 **上野動物園／東京都台東区** にタッチ。
- 5 **↑** にタッチして、目的地に設定したい場所に **+** を合わせる。
- 6 **目的地セット** にタッチ。
- 7 **案内開始** にタッチ。

検索方法について

次の方法で検索することもできます。

検索方法	ページ
住所検索	89
施設検索	90
電話番号検索	90
メモリ地点検索	82
ジャンル検索	91
マップコード検索	92

全ルート図について

案内を開始する前に、全ルート図から次のことができます。

項目	ページ
ルート情報を表示する	102
別のルートを表示する	103
探索条件を変更する	119
目的地を追加する	119
目的地を並び替える	120
目的地を消去する	120
出入口 IC の指定・解除をする	122
通過道路を指定する	122
通過道路を修正する	123
通過道路指定を解除する	124
季節規制区間を迂回するルートを探る	124

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **案内中止** にタッチ。



- 案内を再開するとき
➔ **案内再開** にタッチ。

目的地を消去する

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **目的地消去** にタッチ。



- 4 **はい** にタッチ。



4. 目的地案内中の現在地画面の見方について



番号	表示	機能	ページ
1	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ルートの表示色の設定について ➡「地図表示設定をする」 	97 138
2	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。	—
3	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。 残距離表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」 	114
4	到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示  (アナログ)  (デジタル) 目的地への到着予想時刻を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> 到着予想時刻表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻表示 (アナログ/デジタル) の設定」、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」 ■目的地方向マーク  ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。	114 144

1. 地図の表示

現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。



現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 現在地 を押す。

- 現在地画面で、**現在地** を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



知識

- 初めて本機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク  が表示されている（自車位置マーク  がずれている）ことがあります。

ただし、地図の自車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.135）

- 地図データに情報がなときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名・路線番号は表示されません。



1. 地図の表示

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。



現在地の地図表示中

1 **現在地** を押す。

2 **座標** にタッチ。



- 現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

知識

- 緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

スイッチの表示／非表示

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



1 **Off** にタッチ。



- スイッチ類を表示するとき

➡ **On** にタッチ。

- **Off** のときに表示するスイッチ類を設定できます。(→ P.148)

地図を動かす

スライド操作で動かす

スライドタッチ操作を「する」に設定（→ P.47）したときは、スライドおよびフリック操作で地図を動かすことができます。

地図表示中

- 1 地図上にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.19）

▶スライド操作



- 指の動きに合わせて地図が動きます。

▶フリック操作



- 指を払った方向に地図が動きます。
 - ・ 動く量は、払う速度により変化します。
 - ・ 動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。

知識

- 走行中は、操作できません。

画面にタッチして動かす

スライドタッチ操作を「する／しない」どちらに設定（→ P.47）しても操作することができます。

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。



地図表示中

- 1 地図上にタッチ。

- スライドタッチ操作を「しない」（→ P.47）に設定した場合は、タッチし続けると、地図が連続で移動します。（このとき、が黄色になります。）タッチする位置により、移動する速度が異なります。

知識

- 走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→ P.71）を表示しているときは、地図を動かすことはできません。
- 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、**現在地**を押して現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を動かしたときは、地図向きの切り替え（→ P.69）ができないことがあります。

1. 地図の表示

地図を動かした時の地名表示

地図を動かすと、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



- 地図を動かした後、約 6 秒間表示されます。

- 地図スクロール時の地名表示のする／しないを設定できます。(→ P.142)

知識

- 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
 - ・ 地図データに情報のないとき
 - ・ 200m 図より広域な地図を表示しているとき

地図縮尺を切り替える

地図を 1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺(地図の範囲)に切り替えることができます。



スケールバー

地図を拡大表示する

- 1 **詳細** にタッチ。

地図を縮小表示する

- 1 **広域** にタッチ。

- 13 段階に切り替えることができます。
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- **広域** ・ **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。また、約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

- 縮尺切り替えメッセージの表示／非表示を設定できます。(→ P.143)

知識

- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される **100m** の  の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



スケール表示	縮尺
<u>25m</u>	1/2500
<u>50m</u>	1/5 千
<u>100m</u>	1/1 万
<u>200m</u>	1/2 万
<u>400m</u>	1/4 万
<u>800m</u>	1/8 万
<u>1.6k</u>	1/16 万
<u>3k</u>	1/32 万
<u>7k</u>	1/64 万
<u>13k</u>	1/128 万
<u>26k</u>	1/256 万
<u>50k</u>	1/512 万
<u>100k</u>	1/1024 万
<u>200k</u>	1/2048 万

知識

- 1/2500 図は市街図表示 (→ P.71) に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・地図表示について

表示	内容
	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
	国道、主要道、都道府県道、 その他の道路
	トンネルまたは整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
 (青色)	水域
	都道府県界
 (緑色)	緑地
 (灰色)	駅舎・敷地

知識

- 選択した地図色によって、表示される色が異なります。(→ P.138)
- ビジュアルシティマップ表示 (→ P.141) にすると、道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。

3. 地図画面を操作する

1. 地図の表示

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC (インターチェンジ)
	SA (サービスエリア)
	PA (パーキングエリア)
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場

記号	内容
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリナー・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り*
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ダイハツ販売会社
	ネット店
	トヨタ L & F

* 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

地図の向きを切り替える

▶ ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



▶ ヘディングアップ表示

車の進行方向が つねに上向きになるように地図を表示します。

1  または  にタッチ。

- タッチすることにより、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示に切り替わります。

知識

- 3D表示 (→ P.70) にさせているときは、常にヘディングアップ表示されるため地図向きを切り替えることはできません。

1. 地図の表示

3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。



知識

- 3D 表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。

1 地図表示中 → **表示変更** → **地図表示**

2 **3D** (通常の 3D 表示) または **3D ツイン** (2 画面 3D 表示) にタッチ。



- 解除するとき
→ **2D** (通常表示) または **2D ツイン** (通常 2 画面表示) にタッチ。

- 3D 表示の角度を調整することができます。(→ P.139)
- 目的地案内中は、ルートを表示している方向の地図を広く表示させることができます。(→ P.138)

3D 表示の地図を回転する

1 地図上にタッチ。

2 、 にタッチし、地図を回転する。



 : 地図が時計まわりに回ります。

 : 地図が反時計まわりに回ります。

知識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態 (回転前の状態) に復帰します。

市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、1/5 千図または 1/2500 図を表示すると「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。



1/5 千図または 1/2500 図表示中
(スケール表示が 50m または 25m のとき)

1 市街図 にタッチ。



- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
広域 ・ **詳細** にタッチして切り替えます。
- 市街図の表示を解除する
 ➡ 1/5 千市街図表示中、**広域** にタッチ。

知識

- 市街図がない地域に地図または現在地を動かすと、市街図表示は自動的に解除されます。
- 1/2500 市街図にすると  (一方通行) を表示します。

施設の内容を表示する

市街図表示中

1 施設 にタッチ。



2 上にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、施設情報 にタッチ。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に1つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

3 施設名称にタッチ。

知識

- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

地図をカスタマイズする

地図色、ルート色、自転車位置マーク 、文字サイズを選択することができます。
(→ P.138)

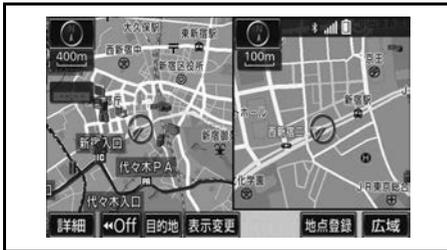
2. 画面を分割表示する

画面を左右2分割して表示することができます。画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→ P.138)

知識

- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示に復帰します。
- 一度2画面表示を解除し、再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示していたときの縮尺で表示されます。

地図を左右2分割して表示する(2D ツイン)



1 地図表示中 → **表示変更** → 地図表示

2 **2D ツイン** にタッチ。



- 解除するとき
→ **2D** にタッチ。
- 地図2画面表示にさせているときは、左画面の操作は、1画面表示のときと同じです。

- 地図2画面表示にさせているときは、左画面のみ地図を動かすことができます。

右画面を地図画面から設定する

- 1 右画面の地図上にタッチ。
- 2 右画面の設定をする。



- 3D表示、周辺施設表示、VICS表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 3D表示、周辺施設表示、VICS表示については、「地図表示設定をする」(→ P.138)をご覧ください。

画面を左右2分割して表示する (地図／車両情報)



1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図&車両情報 にタッチ。



3. 地図表示画面を設定する

施設マークを表示する

コンビニなどの施設マークを地図上に表示することができます。



施設マーク

知識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示することができる施設は、 または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 高速路線マップ (→ P.79) を表示しているときは、施設情報を表示することはできません。
- 通常の地図画面での施設表示と、オンルートスクロールでの施設を選択 (→ P.113) は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンルートスクロールの施設は変更されません。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

2 施設のジャンルにタッチ。



- 5つまで選択することができます。
- 一度に選択できる施設は1施設です。一度に複数の施設を選択するときは、ナビ詳細設定から設定してください。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
 - ➔ **全ジャンル** にタッチ。
- **全ジャンル** にタッチしたとき
 - ➔ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 施設マークの表示を消去するとき
 - ・ 個別に消去
 - ➔ 選択済みの施設のジャンルにタッチ。
 - ・ すべて消去
 - ➔ **表示解除** にタッチ。

- 施設マークの表示/消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→ P.138)

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設マークの名称と距離を知ることができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索

2 施設名称にタッチ。

周辺施設検索		
距離順	種類順	ルート沿い考慮
↑	ロソ西新宿1丁目店	45m
	ファミリーマート新宿甲州	47m
	ロソ代々木店	92m
	ファミリーマート新宿新都	93m
↓	セブンイレブン新宿駅	115m

- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
 - ・ 地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

- **情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。(→ P.94)
- 施設名称のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	📍 または 📍 から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知識

- 検索することができる施設は、📍 または 📍 から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
- 施設マークを表示していないときは、検索できません。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、ルート沿いにある施設のリストを表示することができます。



- 1 地図表示中 → **表示変更** → **周辺施設**
→ **施設検索** → **ルート沿い考慮**

- ルート沿い考慮が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。

知識

- 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマークの施設情報を表示する

地図上に立体的な施設マーク(立体ランドマーク)を表示させることができます(→ P.138)

- 1 立体ランドマークにタッチ。
- 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- 2 **情報** にタッチ。



- 施設の内容が表示されます。(→ P.94)

3. 地図画面を操作する
3. 地図表示画面を設定する

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。

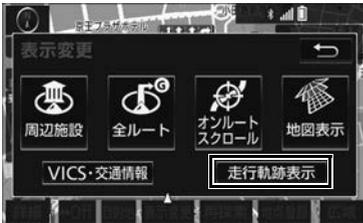


走行軌跡

走行軌跡を表示／解除する

1 地図表示中 → **表示変更**

2 **走行軌跡表示** にタッチ。



- 走行軌跡を消去するとき
→ **走行軌跡解除** → **はい** の順にタッチ。

知識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500 図 ~ 1/512 万図で表示することができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

4. 高速道路・都市高速道路の表示

ハイウェイモード表示の操作

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的に高速道路の名称や施設の名称、施設にある設備などを表示するハイウェイモード（高速略図）に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。



番号	機能
1	VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、橙色（混雑）を表示。 <ul style="list-style-type: none"> 「VICS・交通情報の表示設定」（→P.170）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
2	道路の名称を表示。
3	▲ または ▼ にタッチすると、表示区間が切り替わる。
4	施設の名称を表示。 （目的地案内をさせていないときは、最大 10 か所まで）
5	現在地からの距離を表示。
6	通過予想時刻を表示。
7	施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。 <ul style="list-style-type: none"> ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 6 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。
8	表示区間を切り替えているときに 現区間 にタッチすると、自車が走行している区間に戻る。

設備のマークについて

記号	内容
— ※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマートIC (ETC 専用インターチェンジ)

※ 固有のロゴマークが表示されます。

知識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.144）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地点中するとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.80）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

- 1 地図表示中 → **表示変更** →
地図表示

- 2 **高速略図解除** にタッチ。



- ハイウェイモードに戻るとき
→ **高速略図表示** にタッチ。

高速路線マップ

高速道路にはいると、高速路線マップを表示させることができます。一般道路を走行中でも表示させることができます。

▶ 高速道路走行中



▶ 一般道路走行中



知識

- 高速路線マップを表示しているときは、常にノースアップ表示されるため、3D表示(→P.70)に切り替えることはできません。
- 目的地案内中とき、出口IC・SA・PAまたは分岐するJCTの手前では、地図の右側に高速分岐案内画面(→P.80)が表示されます。(高速分岐モード図自動表示を「しない」に設定しているときは表示されません。) JCTのときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にもとの画面に復帰します。
- 高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。(一度高速道路から出て再度、高速道路にはいるルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。)

高速路線マップの表示・解除

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

走行している道路の種類により、次のいずれかの操作をする。

■ 高速道路走行中のとき

1 高速路線マップ表示 にタッチ。



ナビゲーション

3. 地図画面を操作する

4. 高速道路・都市高速道路の表示

- 高速路線マップを 1 画面で表示したいとき

→ **表示変更** → **地図表示** → **高速略図解除** の順にタッチ。

- 解除するとき

→ **高速路線マップ解除** にタッチ。

■一般道路走行中のとき

1 **高速路線マップ** にタッチ。



- 解除するとき

→ **現在地** を押す。

高速路線マップの縮尺の切り替え

広域 …… 表示範囲を広くする

詳細 …… 表示範囲を狭くする

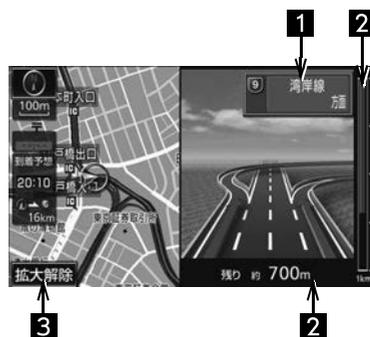


↑ スケールバー

- 4 段階に切り替えることができます。
- タッチすることにより、1 段階ずつ切り替わります。
- **広域** または **詳細** にタッチしたあとは、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。

高速分岐案内表示の操作

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



番号	機能
1	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2	分岐点までの距離を表示。 (分岐点に近づくとともに右側のバーが短くなります。)
3	高速分岐案内画面を解除。 ● 高速分岐案内画面に戻るとき → 現在地 を押す。

- 高速分岐模式図自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.145)

知識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなる場合があります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。



5. 地図を呼び出す

地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所の地図をさまざまな方法で呼び出し、表示させることができます。

- 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。各呼び出し方法については、表（→ P.83）をご覧ください。

目的地の設定のとき

- 1 **MENU** または現在地画面（市街図を表示していないとき）→ **目的地**
→ 目的地画面（→ P.97）



>その他の方法
にタッチ
↔
<戻る
にタッチ



目的地の追加のとき

- 1 ルート変更画面（→ P.118）→ 目的地・通過目的地の **追加** →
目的地追加画面（→ P.119）



>その他の方法
にタッチ
↔
<戻る
にタッチ



- 目的地の設定と追加画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	87
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	89
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	90
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	90
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 ●メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。 (→P.126)	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	91
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	92
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 ●特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できません。(→P.127)	—
特別メモリ周辺 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 ●特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できません。(→P.127) ●目的地の追加を行うときのみ使用できます。	—

次のページに続く



5. 地図を呼び出す

項目 (スイッチ)	機能	ページ
履歴	<p>目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。 	93
自宅に帰る	<p>自宅を目的地としてルート探索を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。(→ P.98) 目的地の設定を行うときのみ使用できます。 	—
自宅周辺	<p>自宅周辺の地図を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅を登録しているときのみ使用できます。(→ P.127) 目的地の追加を行うときのみ使用できます。 	—

目的地の設定・追加以外するとき※

<自宅の登録>

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** →メモリ地点（自宅・特別メモリ含む）の **登録** → 自宅登録画面（→ P.36）

<特別メモリ登録>

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** →メモリ地点（自宅・特別メモリ含む）の **登録** → 特別メモリ登録画面（→ P.127）

<メモリ地点登録>

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** →メモリ地点（自宅・特別メモリ含む）の **登録** →メモリ地点登録画面（→ P.126）

<迂回メモリ登録>

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** →迂回メモリの **登録** → 迂回メモリ登録画面（→ P.127）

<販売店設定>

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メンテナンス** → **項目設定** → **販売店設定** → 販売店設定画面（→ P.41）



※ 画面はメモリ地点の登録時のものです。



5. 地図を呼び出す

- 目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 ● 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。 	93
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	87
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	89
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	90
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	90
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ● メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.126） 	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	91
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	92
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.127） 	—

名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→P.87）に表示された件数が多い場合は、エリア（→P.88）・ジャンル（→P.89）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称の読みで検索する

1 地図の呼び出し画面（→P.82）→

名称

2 名称を入力し、完了 にタッチ。



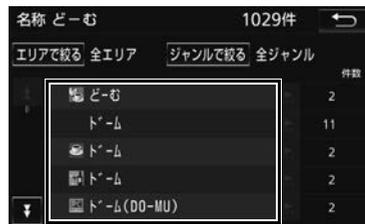
- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 3 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.87）

全国リストから検索する

1 地図の呼び出し画面（→P.82）→

名称 → (名称入力) → 完了

2 表示させる施設名称または地名にタッチすると、タッチした施設の地図が表示されます。



- エリア（→P.88）またはジャンル（→P.89）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- まとめて表示されたリストにタッチしたとき
 - ➔ 施設名称にタッチ。
 - ・ 施設名称のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
<input checked="" type="checkbox"/> 距離順 ※	📍から近い施設または地名の順
<input type="checkbox"/> 名称順	50音順

※ 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面 (→ P.87) →

エリアで絞る

2 エリアの指定方法にタッチ。

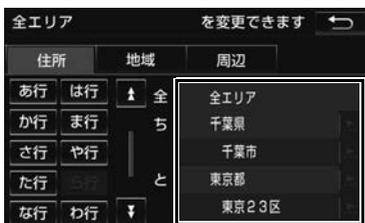


- 次の方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
住所	住所で絞り込む	88
地域	地域で絞り込む	88
周辺	周辺で絞り込む	88

住所選択時

1 都道府県名にタッチ。



- リスト画面に戻すとき
→ **全エリア** にタッチ。

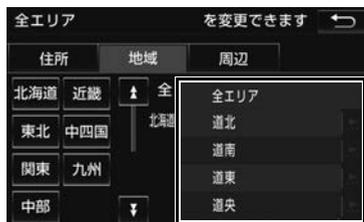
2 市区町村名にタッチ。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき

→ **〇〇全域** にタッチ。

地域選択時

1 地域名にタッチ。

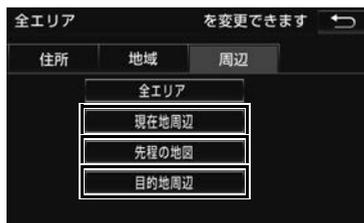


- リスト画面に戻すとき

→ **全エリア** にタッチ。

周辺選択時

1 **現在地周辺** ・ **先程の地図** ・ **目的地周辺** のいずれかにタッチ。



- リスト画面に戻すとき

→ **全エリア** にタッチ。

- 目的地を複数設定している場合に、

目的地周辺 にタッチしたとき

→ 目的地にタッチ。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面 (→ P.87) → ジャンルで絞る

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



- リスト画面に戻るとき
→ **全ジャンル** にタッチ。
- 地名 (住所) を入力したいときは、**その他** → **住所** の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

知識

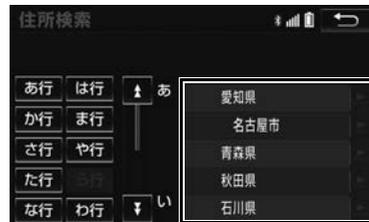
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

住所

2 住所を都道府県名から順にタッチ。



- 郡名は表示されません。
 - 「大字」や「字」の文字は省略して表示されます。(「大字〇〇」や「字〇〇」は「〇〇」と表示されます。)
 - **〇〇主要部** にタッチすると、広域図が表示されます。
- ## 3 **番地指定** にタッチ。
- ## 4 番地を入力し、**完了** にタッチ。

- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目 (字) の広域図が表示されます。

施設で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

施設

2 施設のジャンルにタッチ。



- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
→ **その他** にタッチし、施設のジャンルにタッチ。

3 都道府県名 (路線名) にタッチ。

- さらに市区町村名 (または路線名・販売会社名) が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名 (または路線名・販売会社名) にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。

全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。

4 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

電話番号

2 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき
→ 施設名称にタッチ。

知識

- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →**ジャンル****2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンル→完了の順にタッチ。**

- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
→ **選択解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

3 施設名称にタッチ。

- 施設のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	①または②から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知識

- **ルート沿い考慮** にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。(→ P.75)

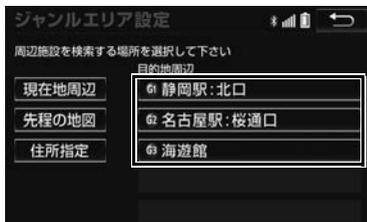


施設検索するエリアを変更する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

ジャンル → エリア

2 施設を検索したい地域にタッチ。



● **住所指定** にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。

・ 選択方法について

→ 「住所で地図を検索する」 (→ P.89) 手順 **2** へ。

3 **↑** にタッチして、検索したい地点まで **📍** を移動する。

4 **セット** にタッチ。

マップコードで地図を検索する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

マップコード

2 マップコードを入力し、**完了** にタッチ。



知識

● マップコード*とは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

* 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

● マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。

<http://www.e-mapcode.com>

● マップコードは、メモリ地点 (→ P.126) ・ 迂回メモリ地点 (→ P.127) を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面 (→ P.82) →

履歴

2 希望の目的地履歴にタッチ。



- **前回出発地** にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

- 目的地履歴を消去することができます。(→ P.148)



6. 検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ピンポイント検索されたとき



▶ピンポイント検索されなかったとき



知識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に  が表示されます。

地図の位置を変更する

- 1  にタッチして、地図を動かす。

施設の内容を表示する

- 1 **情報** にタッチ。



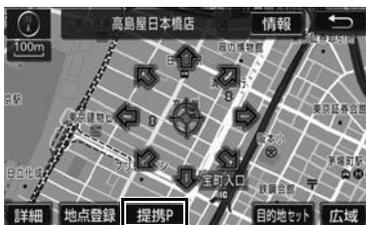
知識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチ。



- 提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称にタッチ。

- タッチした駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は **P** (青色)、提携駐車場は **P** (緑色) で表示されます。

知識

- **提携P** にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→P.37）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

- (1)「名称で地図を検索する」(〇〇県 〇〇市などで検索するとき)でリストから地名(住所)をタッチしたとき
- (2)「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチ。



2 地名にタッチ。

- タッチした地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないとき
→ **〇〇主要部** にタッチし、広域図を表示。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

- (1)「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき
- (2)「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 周辺住所 にタッチ。



2 番地にタッチ。

1. 目的地を設定してルートを探索する

目的地の設定について

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大 100 力所まで) 100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。(→ P.148)

目的地画面から目的地を設定する

- 1 **MENU** または現在地画面 (市街図を表示していないとき) → **目的地**
- 2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→ P.82、P.94)
- 3 **↑** にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、**目的地セット** にタッチ。



- **↑** の位置に目的地が **G** 記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.98)
- 設定した目的地を消去するとき
→ 「目的地を消去する」(→ P.120)

- すでに目的地が設定されているとき
→ 次のいずれかにタッチ。

新規目的地 : 新しく目的地を設定する

追加目的地 : 目的地を追加する[※]

[※] 以降の設定方法について

- 「目的地を追加する」(→ P.119) 手順 4へ。

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

- 1 地図上にタッチし、**目的地セット** にタッチ。
- 2 **↑** にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、**目的地セット** にタッチ。



- **↑** の位置に目的地が **G** 記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.98)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を設定した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

知識

- 現在地画面の **目的地** にタッチしたときは、地図を検索する機能を使用することができます。(→ P.82)



1. 目的地を設定してルートを探査する

自宅を目的地に設定する

1 **MENU** または現在地画面（市街図を表示していないとき） → **目的地**

2 **自宅に帰る** にタッチ。

自宅が登録されていないときは

1 **MENU** または現在地画面（市街図を表示していないとき） → **目的地**

2 **自宅に帰る** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

4 自宅の登録方法を選択する。

- 次の方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	93
住所指定	89

5 **セット** にタッチ。

6 **自宅に帰る** にタッチ。

ルート探索について

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→ P.99）

知識

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺的一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.115）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

ルート探索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、**現在地** を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→ P.104)
- 目的地案内開始後も全ルート図表示画面を表示することができます。(→ P.113)

画面の表示について

下の画面はすべて最終の目的地までのものです。



番号	表示	機能
1	IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
2	IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示する。
3	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 ● 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
4	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 ● 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。 ● 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示しません。
5	距離表示	出発地点から目的地までの距離を表示する。

次のページに続く

4. 目的地までの案内

1. 目的地を設定してルートを探索する

番号	表示	機能
6	残距離表示	表示されているルートの自転車位置から目的地までの距離を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。
7	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

全ルート図画面の操作

全ルート図表示画面で、次のことができます。



番号	スイッチ	機能	ページ
1	情報	案内道路情報を表示する。	102
2	IC 名称	出入口 IC を指定する。	122
3	案内開始／案内に戻る	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面に戻る。	104
4	ルート変更	ルート変更画面を表示する。	118
5	5 ルート	別のルートを表示して選択する。 <ul style="list-style-type: none"> • 目的地案内開始後は表示されません。 	103
6	到着予想時刻・残距離表示	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。(目的地を複数設定しているとき)	114

1. 目的地を設定してルートを探索する

知識

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.37）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.144）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所にはが表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。



4. 目的地までの案内

1. 目的地を設定してルートを探索する

ルートの表示について



- ルートの表示は、次の4種類あります。

表示色	内容
青色 ()	目的地を1カ所、または複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)の表示
白色 ()	目的地を複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)以外の表示
水色 ()	幅5.5m未満の道路表示(→P.102)
橙色 ()	季節規制区間の表示(→P.144)

- ルートの表示色の設定を変更することができます。(→P.138)

- ここでは、初期設定の表示色(青色)で説明しています。

幅5.5m未満の道路表示について

現在地または目的地周辺では、幅5.5m未満の道路を通るルートも探索します。



知識

- 交通規制(一方通行など)や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報を表示する(案内道路情報)

ルート探索終了後、ルート情報(道路名称・距離・料金・通過予想時刻)を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面(→P.99)→

情報

2 ルート情報画面が表示される。



- 入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
・それぞれの地点の地図を表示するとき
→ **地図** にタッチ。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に  が表示されます。

知識

- 現在地がルート上にない(ルートからはずれた)ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

1. 目的地を設定してルートを探索する

5つのルートから希望のルートを選ぶ

5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。(→ P.155)



1 全ルート図表示画面 (→ P.99) →

5ルート

2 表示したいルート名称にタッチ。



- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。

スイッチ

内容

別ルート 他の4つのルートとは別のルートで案内できます。

〔知識〕

- 以下のときは、5ルートを表示できません。
 - ・ 目的地を複数設定しているとき
 - ・ 通過する地点 (IC・通過道路) を指定しているとき
 - ・ 目的地案内開始後

5つのルートの詳細情報を表示する

5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全行程一覧表					
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	エコ度
推奨	508km	505km	13700円	6時間48分	●●●
有料優先	508km	505km	13700円	6時間48分	●●●
一般優先	550km	74km		17時間11分	●●●
距離優先	494km	326km	7500円	9時間48分	●●●
別ルート	549km	546km	13700円	7時間15分	●●●

1 全ルート図表示画面 (→ P.99) →

5ルート → 全行程一覧

- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。
- 燃費を設定している場合、エコ度が3段階の葉マークで表示されます。(→ P.155)

2. 目的地案内の開始

目的地案内を開始する

全ルート図表示画面 (→ P.99)

1 案内開始 にタッチ。



- 全ルート図が表示されたあと、**現在地** を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション (デモ) を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることが出来ます。



全ルート図表示画面 (→ P.99)

1 案内開始 を約 3 秒以上タッチ。

- デモを終了するとき
→ **現在地** を押す、または走行する。

知識

- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内を中止する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 案内中止 にタッチ。



- 再開するとき
→ **案内再開** にタッチ。

知識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

3. 目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



ポーン まもなく
右方向です

- ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

▶目印案内の例

リアル交差点（→ P.109）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

■有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

■連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→ P.108）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

■幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■首都高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です」

右（左）側 1 車線を走行してください」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です」

車線変更禁止区間にご注意ください」



目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

■目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

- 自動音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.147）
- 音声案内の音量は調節することができます。（→ P.37）

（知識）

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 首都高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いとき出力されない場合があります。
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
 - ・ 信号機のある交差点を走行しているとき
 - ・ 分岐する交差点までの距離が短いとき
 - ・ 分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→ P.147）

（知識）

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.147）

（知識）

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくると、レーンリスト図(→P.107)または交差点拡大図(→P.107)に切り替わります。また、ターンリスト図(→P.109)を表示させることもできます。

レーン(車線)リスト図の表示／解除

分岐する交差点の手前(約700m以内)では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを4つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

レーンリスト



- レーンリスト図を解除するとき

- ➔ **レーン解除** にタッチ。
・レーンリスト図に戻るとき
- ➔ **レーン表示** にタッチ。

- レーンリスト自動表示のする／しないを設定できます。(→P.146)

知識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図(→P.107)が自動的に表示されます。

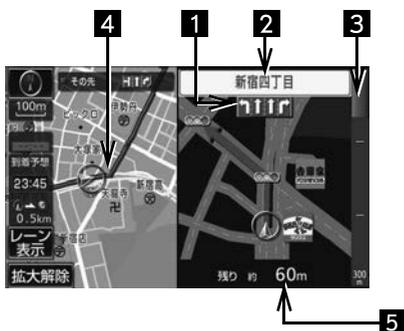
交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくると、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図が表示されます。

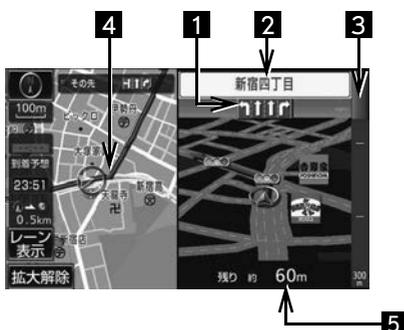
- ▶ 分岐しない交差点



▶分岐する交差点（交差点拡大図）



▶分岐する交差点（3D 交差点拡大図）



- 交差点拡大図の3D表示する／しないを設定できます。(→ P.143)
- 交差点拡大図自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.145)

知識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなる場合があります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。



知識

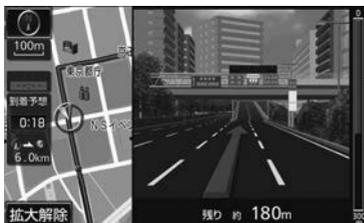
- 地図データに情報のある地点で表示します。

番号	機能
1	通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。 ● 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。
2	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3	交差点までの距離が表示されます。 ● 交差点に近づくとともに右側のバーが短くなります。
4	通過・分岐する交差点に表示されます。
5	交差点までの距離が表示されます。

立体的な拡大図の表示／解除

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶都市高速 IC 入口



▶立体交差点



▶リアル交差点



▶側道案内



- 拡大図表示を解除するとき

➔ **拡大解除** にタッチ。

・ 拡大図に戻るとき

➔ **現在地** を押す。

- 地図データに情報のある地点で表示されます。
- リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐がわかりづらい交差点で表示されます。

ターンリスト図の表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。



番号	機能
1	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

3. 目的地への案内について

- ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.146)
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、地図画面の **表示変更** → **地図表示** からターンリスト図を表示することができます。

知識

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図 (→ P.107)・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図 (→ P.107) が自動的に表示されます。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

■ ターンリスト図表示の解除

1 **地図表示中** → **表示変更** → **地図表示**

2 **ターンリスト解除** にタッチ。



- ターンリスト図に戻るとき → **ターンリスト表示** にタッチ。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面 (→ P.99) と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

- 到着予想時刻の表示 (アナログ/デジタル) を設定できます。(→ P.144)

知識

- 到着予想時刻は設定した平均車速 (→ P.144) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク (📍) になります。

料金案内について

目的地案内中の現在地画面で、料金通知がある場合、地図左上に料金が表示され、音声案内されます。

料金案内は、料金所手前または ETC ゲート通過時のどちらかで実施されます。

- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続していないとき
➔ 料金所手前で支払予定料金の案内をします。
- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続しているとき
➔ ETC ゲート通過時に支払った料金の案内をします。

■料金所手前での料金案内

目的地案内中の現在地画面で料金所に近づくとき、地図データ情報を利用して、支払予定料金の表示と音声案内をします。この地図データ情報を利用した料金案内は、次の場合に実施されます。

- ETC 車載器を接続していないとき
- ナビゲーション非対応 ETC 車載器を接続しているとき
- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続している場合、ETC カードを挿入していないとき

- 料金案内のする／しないを設定できます。(→ P.143)

知識

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報(→ P.148)のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETC による割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。
- 出発した地点がわからないとき(有料道路内で再探索をしたときなど)、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。



■ETC ゲート通過時の料金案内

販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続し、有効期限内の ETC カードを挿入している場合は、ETC 情報を利用した ETC 割込表示により、支払った料金が ETC ゲート通過時に案内されます。(→ P.373)

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ----- (破線) で表示されます。



- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

4. ルート案内中の操作

オンルートスクロール

出発した地点または目的地まで、ルートに沿って地図を自動で移動させることができます。

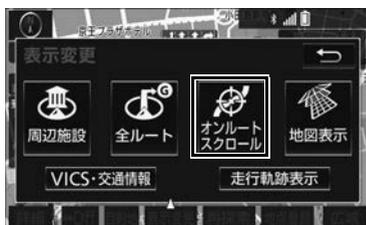
- ルート沿いの施設や VICS・交通情報を確認することができます。

知識

- 以下のときは、オンルートスクロールをさせることはできません。
 - ・表示していた地図にルートが表示されていないとき
 - ・高速路線マップ(→ P.79)を表示しているとき

1 地図表示中 → 表示変更

2 オンルートスクロール にタッチ。



3 スクロールの項目(▶G・S◀・▶G・S◀)にタッチ。

- 設定したスクロールの条件により、スクロールのしかたが異なります。(→ P.112)
 - ・スクロールの条件または施設を変更するとき
- 設定 にタッチ。

■スクロール画面

オンルートスクロール中に、次の操作をすることができます。

|| 一時停止

▶▶G または S◀◀ 早送り



オンルートスクロールの設定

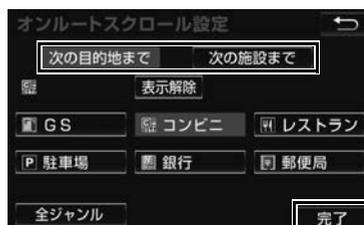
条件の選択

1 地図表示中 → 表示変更 →

オンルートスクロール

2 設定 にタッチ。

3 次の目的地まで または 次の施設まで にタッチし、完了 にタッチ。



■ 次の目的地まで

- ▶ **G** … 次の目的地まで地図を移動
- ▶ **S** ◀ … 出発した地点または前の目的地まで地図を移動
- ▶ **G** ◀ … 次の目的地の地図を表示
- ▶ **S** ◀ ◀ … 出発した地点または前の目的地の地図を表示

■ 次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

- ▶ **G** … 目的地方向で、最寄りの施設まで地図を移動
- ▶ **S** ◀ … 出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図を移動
- ▶ **G** ◀ … 目的地方向で、最寄りの施設の地図を表示
- ▶ **S** ◀ ◀ … 出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図を表示

〔知識〕

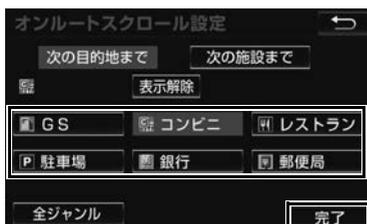
- 1/8 万図より広域の地図を表示していたときは、「次の施設まで」のスクロールをさせることはできません。

施設の選択

1 地図表示中 → 表示変更 →

オンルートスクロール → 設定

2 施設のジャンルにタッチし、完了にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
 - ・間違えたとき
 - ▶ **表示解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
 - ・表示されている以外のジャンルを選択するとき
 - ▶ **全ジャンル** にタッチ。
 - ・ **全ジャンル** にタッチしたとき
 - ▶ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
 - ・間違えたとき
 - ▶ **表示解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

〔知識〕

- オンルートスクロールでの施設の選択と、通常の地図画面での施設表示 (→ P.71) は別の設定のため、オンルートスクロールで施設を変更しても、通常の地図画面の施設は変更されません。

全ルート図を表示する

1 地図表示中 → 表示変更

2 全ルート にタッチ。



- 全ルート図表示画面について
 - ▶ 「ルート検索後の全ルート図表示について」 (→ P.99)

全ルート図表示縮尺に切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを表示し、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。



1 **広域** または **詳細** にタッチ。

2  にタッチ。



知識

- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。



到着予想時刻・残距離表示

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。



- 目的地が2カ所のときは、タッチすることにより各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

知識

- 状況により目的地までの表示が異なります。
 - ・ 現在地がルート上にあるとき
 - ➡ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
 - ・ ルートからはずれたとき
 - ➡ 目的地の方向と直線距離

5. ルートを再探索する

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

知識

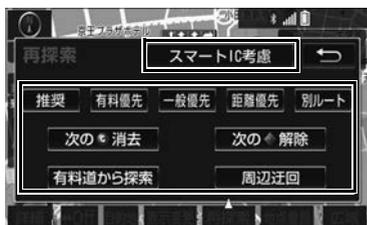
- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。
- 自動再探索のする／しないを設定できます。(→ P.144)

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

1 現在地 ▶ 再探索

2 再探索する項目にタッチ。



4. 目的地までの案内

5. ルートを再探索する

項目 (スイッチ)	機能
次の  消去	現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。
次の  解除	現在地の次の通過道路 () を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、 指定IC解除 にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をする。
スマート IC 考慮	目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索される。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索される。
推奨	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回 ^{※1}	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。) <ul style="list-style-type: none"> ● 目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／ 一般道から探索 ^{※2}	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 目的地案内開始前にはできません。

^{※1} ルートからはずれたときは表示されません。

^{※2} 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

^{※3} 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

知識

- 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- 「〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。



6. ルートを変更する

ルート変更画面を表示する

1 **MENU** ▶ **設定・編集** または
全ルート図表示画面 (→ P.99)

2 **ルート変更** にタッチ。

▶ 設定・編集画面



▶ 全ルート図表示画面



3 ルート変更画面が表示される。



- ルート変更画面では、次のことができません。

機能	ページ
探索条件の変更	119
目的地の追加	119
目的地の並び替え	120
目的地の消去	120
出入口 IC の指定・解除	122
通過道路の指定	122
通過道路の修正	123
通過道路指定の解除	124
季節規制区間の迂回ルート探索	124

- **探索開始** にタッチすると、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- **スマート IC 考慮** にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適切なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適切なスマート IC が無い場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。スマート IC 考慮が設定されているときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

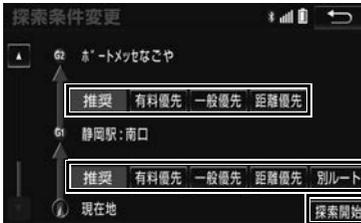
探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 ルート変更画面 (→ P.118) →

探索条件変更

2 それぞれの区間の探索条件 (ルート名称) → 探索開始 の順にタッチ。



知識

- 探索条件の特徴について
→ 「ルートの再探索方法を選ぶ」 (→ P.115)
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 ルート変更画面 (→ P.118) →

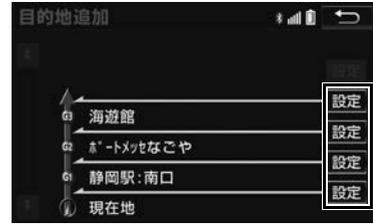
目的地・通過目的地の **追加**

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。(→ P.82、P.94)

3 目的地セット にタッチ。

- ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。(→ P.97)

4 目的地を追加する区間の **設定** にタッチ。



- ルート変更画面に戻ったとき
→ **探索開始** にタッチ。
- さらに追加して目的地を設定するとき
→ **追加** にタッチ。(手順 **2** の画面へ)

知識

- 5カ所まで設定することができます。
- 1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。(→ P.148)
- IC・通過道路 (→ P.122) を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並び替える

1 ルート変更画面 (→ P.118) →

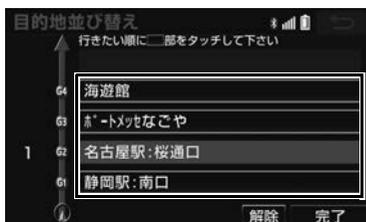
目的地・通過目的地の **並び替え**

- IC・通過道路 (→ P.122) を指定しているときは、メッセージが表示されます。

はい にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 行きたい目的地の順にタッチし、

完了 にタッチ。



- タッチした目的地の左側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたとき
→ **解除** にタッチ。
- 選択済みの目的地にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。
- 最終目的地の1つ手前の目的地を選択すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に最終目的地が決定され、手順**3**の画面が表示されます。
- すべての目的地にタッチしないで、**完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

3 **探索開始** にタッチ。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	121
目的地画面から消去する	121
地図画面から消去する	121

(知識)

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路 (→ P.122) を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

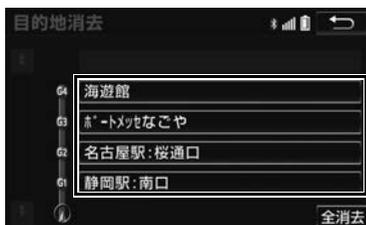
ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面 (→ P.118)

1 目的地・通過目的地の **消去** にタッチ。

- 1カ所のみ設定されていたとき
→ 手順 **3** へ。

2 消去したい目的地にタッチ。



- すべての目的地を消去したいとき
→ **全消去** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

- ルート変更画面に戻ったとき
→ **探索開始** にタッチ。

目的地画面から目的地を消去する

1 **MENU** または現在地画面 (市街図を表示していないとき) → **目的地**

2 **目的地消去** にタッチ。



- 複数目的地が設定されていたとき
→ 「ルート変更画面から目的地を消去する」 (→ P.121) 手順 **2** へ。
- 1カ所のみ設定されていたとき
→ 「ルート変更画面から目的地を消去する」 (→ P.121) 手順 **3** へ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 **情報** にタッチ。



3 **消去** にタッチ。

- 「ルート変更画面から目的地を消去する」 (→ P.121) 手順 **3** へ。

出入口 IC (インターチェンジ) を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

1 全ルート図表示画面 (→ P.99) またはルート変更画面 (→ P.118) → (IC 名称表示)

2 次のいずれかの操作をする。



▶ 左画面で指定する

- 左画面で指定したい IC 付近に地図を動かし、右画面に表示される IC 候補から (指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。

▶ 右画面で指定する

- ▲・▼ または 次路線 にタッチして IC を切り替え、(指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。
- 次路線 は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
- ルート変更画面に戻ったとき → 探索開始 にタッチ。

知識

- スマート IC (ETC 専用インターチェンジ) を選択することもできます。このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

1 全ルート図表示画面 (→ P.99) またはルート変更画面 (→ P.118) → (IC 名称表示)

2 出口解除 または 入口解除 にタッチ。



通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知識

- 2 カ所まで指定することができます。
- IC を指定しているとき (→ P.122)、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

1 ルート変更画面 (→ P.118) → 通過点 (通過道路指定) の **指定**2 通過道路を指定する位置に地図を動かして、**通過道路セット** にタッチ。3 **セット** にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
→ **次候補** にタッチ。
- 目的地を複数設定しているとき、またはIC・通過道路を指定しているとき
→ 通過道路を指定する区間の **設定** にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
→ **探索開始** にタッチ。

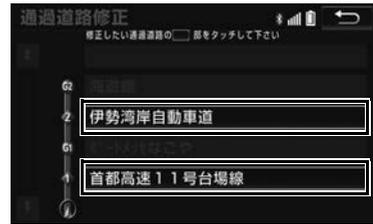
知識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

1 ルート変更画面 (→ P.118) → 通過点 (通過道路指定) の **修正**2 通過道路を指定する位置に地図を動かして、**通過道路セット** にタッチ。

- 通過道路が複数指定されていたとき
→ 道路または地名にタッチ。

3 **セット** にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
→ **次候補** にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
→ **探索開始** にタッチ。

知識

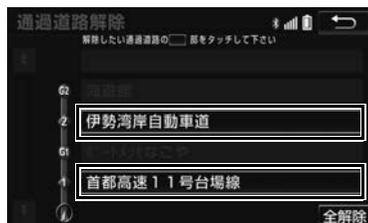
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路指定を解除する

1 ルート変更画面 (→ P.118) → 通過点 (通過道路指定) の **解除**

2 **はい** にタッチ。

- 通過道路が複数指定されていたとき
→ 道路または地名にタッチ。



- すべての通過道路指定を解除するとき
→ **全解除** にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
→ **探索開始** にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートを探 索する

1 ルート変更画面 (→ P.118) → **季節規制回避**

(知識)

- **季節規制回避** または **季節規制通過** は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき (規制区間に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど) は、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

1. メモリ地点を登録する

地点の登録について

検索した地点を本機に登録することができます。

地点を登録しておく、

- (1) 地図にマークで表示されます。
- (2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- (3) 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→ P.82)

地図画面から登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

- 1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし **地点登録** にタッチ。

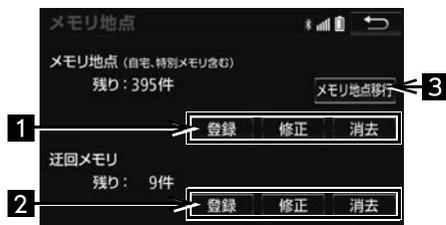
メモリ地点画面を表示する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集**

- 2 **メモリ地点登録編集** にタッチ。



- 3 メモリ地点画面が表示される。



- 以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

番号	機能	ページ
1	メモリ地点の登録、修正、消去を行う。	126
2	迂回メモリの登録、修正、消去を行う。	127
3	メモリ地点の取り込み・取り出しを行う。	132

知識

- 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

5. 地点の登録

1. メモリ地点を登録する

メモリ地点を登録する

1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
メモリ地点の **登録**

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→ P.82、P.94)

3 **セット** にタッチ。



4 **完了** にタッチ。

- 自宅・特別メモリ地点に登録したいとき
→ **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。(→ P.127)

メモリ地点を修正する

1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
メモリ地点の **修正**

2 修正したいメモリ地点にタッチ。

- メモリ地点のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
種類順	自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順
マーク順	マークの種類別
登録順	メモリ地点の登録順

3 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
自宅・特別メモリに種別変更	127
自宅・特別メモリに種別解除	127
マーク	129
名称	130
地図への名称表示	130
名称読み	130
位置	131
電話番号	131

4 **完了** にタッチ。

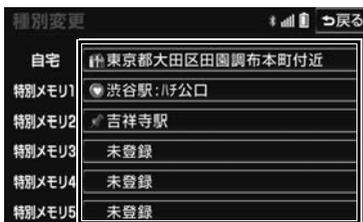
メモリ地点を消去する

- 1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
メモリ地点の **消去**
- 2 消去したいメモリ地点にタッチ。
- 3 **消去** にタッチ。
- 4 **はい** にタッチ。

自宅・特別メモリ地点に登録

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

- 1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
メモリ地点の **修正** → (メモリ地点)
- 2 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。
- 3 自宅または特別メモリ1~5のいずれかにタッチ。



- すでに自宅または特別メモリ地点が登録されているとき
→ 変更してよければ、**はい** にタッチ。
- 登録されていた地点は、メモリ地点になります。

自宅・特別メモリ地点の解除

自宅または特別メモリ地点に登録されている地点を、メモリ地点に変更することができます。

- 1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
メモリ地点の **修正** → (メモリ地点)
- 2 **自宅・特別メモリに種別解除** にタッチ。
- 3 **はい** にタッチ。



迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておく、そのエリアを迂回するルートを探します。

- 1 メモリ地点画面 (→ P.125) →
迂回メモリの **登録**
 - 2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→ P.82、P.94)
 - 3 **セット** にタッチ。
- 迂回範囲が黄色色の四角で表示されます。

1. メモリ地点を登録する

4 迂回範囲を設定し、**セット** にタッチ。

▲ : 迂回範囲を広くする

▼ : 迂回範囲を狭くする

- ▲・▼ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

5 **完了** にタッチ。**知識**

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、**✕**(迂回メモリ地点)に切り替えることができます。高速道路(都市高速・有料道路を含む)およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク(**✕**)で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

迂回メモリの修正、および解除、迂回エリアの変更ができます。

1 **メモリ地点画面** (→ P.125) → **迂回メモリの修正**

2 修正したい迂回メモリにタッチ。

3 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
名称	130
地図への名称表示	130
位置	131

- 迂回メモリの迂回機能を無効にしたいとき
➔ **無効** にタッチ。
- 迂回メモリの迂回機能を有効にしたいとき
➔ **有効** にタッチ。
- 迂回エリアを変更したいとき
➔ **迂回エリア変更** にタッチ。
▲・▼ で迂回範囲を設定し、**セット** にタッチ。

4 **完了** にタッチ。

迂回メモリを消去する

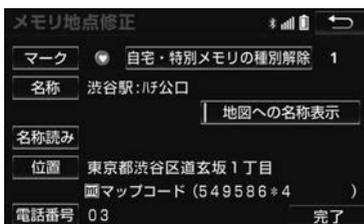
- 1 メモリ地点画面 (→ P.125) → 迂回メモリの **消去**
- 2 消去したい迂回メモリにタッチ。
- 3 **消去** にタッチ。
- 4 **はい** にタッチ。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

メモリ地点修正画面を表示する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **メモリ地点登録編集**
- 2 メモリ地点の **修正** にタッチするとメモリ地点修正画面が表示される。



マークを変更する

- 1 メモリ地点修正画面 (→ P.129) → **マーク**
- 2 **「マーク1」**、**「マーク2」**、**「マーク3」** または **音声付き** にタッチし、希望のマークを選ぶ。



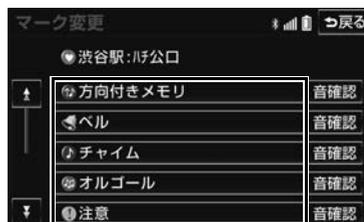
- マークが不要なとき
→ **「マーク3」** の **マーク無し** にタッチ。
- 3 **完了** にタッチ。

音声付きメモリを設定する

設定した地点の約 500m 付近で音が鳴ります。

- 1 メモリ地点修正画面の **マーク** (→ P.129) → **音声付き**

- 2 鳴らしたい音にタッチ。



- 鳴る音を確認するとき
→ **音確認** にタッチ。

5. 地点の登録

1. メモリ地点を登録する

3 **完了** にタッチ。

■音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 **メモリ地点修正画面** (→ P.129) →

マーク → **音声付き** →
方向付きメモリ

2 方向を指定し、**セット** にタッチ。



← : 反時計回り

→ : 時計回り

3 **完了** にタッチ。

■メモリ地点名称を入力する

1 **メモリ地点修正画面** (→ P.129) →

名称

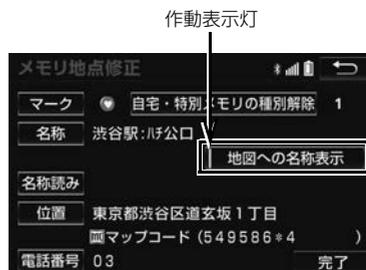
2 文字入力画面で名称を入力する。
(→ P.31)

3 **完了** にタッチ。

■地図にメモリ地点名称を表示する

メモリ地点修正画面 (→ P.129)

1 **地図への名称表示** にタッチ。



- 地図への名称表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき
→ **地図への名称表示** にタッチ。

(知識)

- 1/8 万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

■メモリ地点の名称読みを入力する

1 **メモリ地点修正画面** (→ P.129) →

名称読み

2 文字入力画面で名称読みを入力する。
(→ P.31)

3 **完了** にタッチ。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面 (→ P.129) →
位置

2 家アイコンにタッチして地点の位置を修正し、**セット** にタッチ。



3 **完了** にタッチ。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ P.90)

1 メモリ地点修正画面 (→ P.129) →
電話番号

2 市外局番から電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



3 **完了** にタッチ。



2. メモリ地点を取り込み・取り出する

メモリ地点の取り込みと取り出しについて

本機で登録したメモリ地点を、取り出したり、取り込んだりすることができます。

本機からメモリ地点を取り出すときには、パスワードの設定が必要になります。

- パスワードの初期化は「パスワードを初期化する」(→ P.132)を参照してください。
初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

知識

- メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

パスワードの設定

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
メモリ地点登録編集 →
メモリ地点移行

- 2 パスワードの **設定** にタッチ。



- 3 数字 4 桁のパスワードを入力し、**完了** にタッチ。

- すでにパスワードが設定されているとき
→ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

- 4 もう一度パスワードを入力し、**完了** にタッチ。

知識

- 設定したパスワードは、SDメモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
メモリ地点登録編集 →
メモリ地点移行

2 パスワードの **初期化** にタッチ。3 **はい** にタッチ。4 **はい** にタッチ。

メモリ地点の取り出し

本機で登録したメモリ地点を SD メモリカードに保存することができます。

1 Audio SD を挿入 (→ P.234) →

MENU ▶ **設定・編集** →

メモリ地点登録編集

2 **メモリ地点移行** にタッチ。3 保存の **SD** にタッチ。4 パスワードを入力し、**完了** にタッチ。

- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

5 **はい** にタッチ。6 **OK** にタッチ。

- 登録している全てのメモリ地点が保存されます。

〔知識〕

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。(→ P.132)
- メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SDメモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。データが破損する恐れがあります。
- 車両のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- メモリ地点移行画面 (3) の画面) で本体のスイッチを押しても、操作することができません。↵ にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする

メモリ地点の取り込み

SD メモリーカードに保存したメモリ地点の情報を、本機に取り込むことができます。

1 Audio SD を挿入 (→ P.234) →

MENU ▶ **設定・編集** →
メモリ地点登録編集

2 **メモリ地点移行** にタッチ。

3 読み込みの **SD** にタッチ。



4 パスワードを入力し、**完了** にタッチ。

- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

5 **はい** にタッチ。

6 **OK** にタッチ。

知識

- メモリ地点を取り込むには、保存したときに入力したパスワードが必要です。パスワードの変更や初期化をした場合でも保存したときに入力したパスワードで取り込んでください。
- メモリ地点を移すと、本機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SDメモリーカードに保存したメモリ地点、迂回メモリのデータに置き替えられます。
- メモリ地点を移すと、SDメモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SDメモリーカードの誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。

1. 自転車位置マークがずれているとき

補正について

地図上の自転車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

知識

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている（自転車位置マーク  がずれている）とき、自転車位置マーク  の位置と向いている方向を修正することができます。1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → **ナビ補正** → **現在地修正**

2  にタッチして現在地を修正し、**セット** にタッチ。

3 方向を修正し、**セット** にタッチ。



 : 反時計回り

 : 時計回り

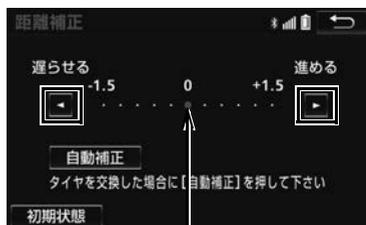
距離を補正する

走行中、地図上の自転車位置マーク  の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自転車位置マーク  の進み方を修正することができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → **ナビ補正** → **距離補正**

2 補正をして、 にタッチ。

- 実際より遅く進むとき
→  (進める) にタッチ。
- 実際より早く進むとき
→  (遅らせる) にタッチ。



初期状態の位置

1. 自転車位置マークがずれているとき

- **自動補正** にタッチすると、GPS 情報を利用してしながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。
- **初期状態** にタッチすると、自転車位置マーク  を適切な位置に表示できるように自動で補正します。(●の位置が初期状態 (0 の位置) に戻ります。)

知識

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マーク  の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

2. ナビの詳細を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 ナビ詳細設定 にタッチ。



3 設定したい項目にタッチ。



4 各項目を設定する。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。

項目	ページ
地図表示設定	138
案内表示設定	143
ルート系設定	144
自動表示切替設定	145
音声設定	147
その他	148

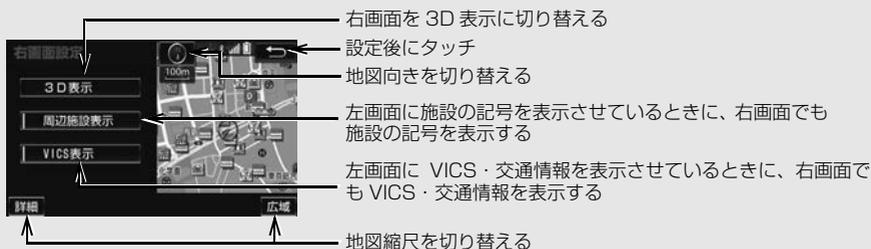
- 初期設定の状態に戻すとき
➔ 初期状態 にタッチ。



地図表示設定をする

右画面設定

地図を2画面表示にしたときの、右画面表示を設定できます。



2D 時フロントワイド

2D 表示（ノースアップ）時のフロントワイド表示のする／しないを選択できます。

- 「する」を選択すると、進行方向の地図が広く表示されます。



右画面の地図で表示

地図 2 画面表示（ノースアップ）時の右画面のフロントワイド表示のする／しないを選択できます。

- 「する」を選択すると、右画面の進行方向の地図が広く表示されます。



2D  時のフロントワイド

2D 表示（ヘディングアップ）時のフロントワイド表示のする／しないを選択できます。

- 「する」を選択すると、進行方向の地図が広く表示されます。



右画面の地図で表示

地図 2 画面表示（ヘディングアップ）時の右画面のフロントワイド表示のする／しないを選択できます。

- 「する」を選択すると、右画面の進行方向の地図が広く表示されます。

3D  時のルート方向アップ

目的地案内中は、ルートを表示している方向の地図を広く表示する／しないを選択することができます。

- 「する」を選択すると、（方位マーク）が青色になります。



3D 地図表示設定

3D 表示の角度を設定することができます。



角度を上げる

角度を下げる

初期設定の状態に戻す

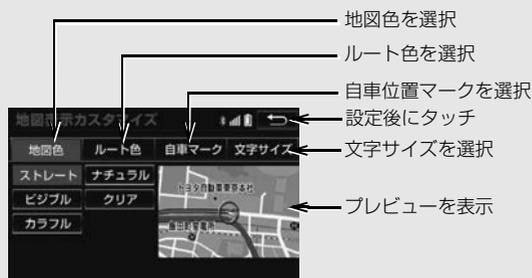
次のページに続く



2. ナビの詳細を設定する

地図表示カスタマイズ

地図をカスタマイズすることができます。



▶ 地図色

地図の表示色を **ストレート**、**ナチュラル**、**ビジブル**、**クリア**、**カラフル** の中から選択できます。



▶ ルート色

ルートの表示色を青色、緑色、赤色、水色、黄色の中から選択できます。



▶ 自車マーク

自車位置マークを5種類（、、、、）の中から選択できます。



▶文字サイズ

地図上に表示される地名などの文字サイズを **大**、**中**、**小** の中から選択できます。



ビジュアルシティマップ表示

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示する／しないを選択できます。

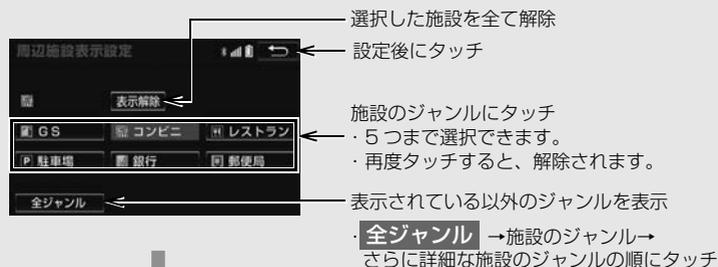


地図色切り替えタイミング設定

昼画と夜画の切り替えタイミングを **時刻連動** または **ライト連動** で選択できます。(→ P.45)

周辺施設表示

コンビニなどの施設マークを地図上に表示することができます。



次のページに続く



立体ランドマーク表示

立体的な施設マークの表示する／しないを選択できます。



← 立体ランドマーク表示

- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)

シーズンレジャーランドマーク表示

桜や紅葉の季節名所の表示する／しないを選択できます。



← シーズンレジャーランドマーク表示

- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)
- マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

地図スクロール時の地名表示

地図を動かしたときの地名を表示する／しないを選択できます。(→ P.66)

知識

- 立体ランドマーク表示 / シーズンレジャーランドマーク表示について
 - ・ 地図データに情報のない施設 / 名所は、表示されません。
- ルート色設定について
 - ・ ルート色が変わるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

案内表示設定をする

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中にメッセージを画面に表示する／しないを選択できます。

- 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
 - ・「施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません」
 - ・「施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません」
 - ・「VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません」

料金案内

目的地案内中に料金通知がある場合、料金の表示および音声案内をする／しないを選択できます。(→ P.111)

県境案内

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。



← 県境案内マーク

3D 交差点拡大図

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。



次のページに続く



2. ナビの詳細を設定する

到着予想時刻表示

到着予想時刻の表示を、アナログまたはデジタルに設定できます。

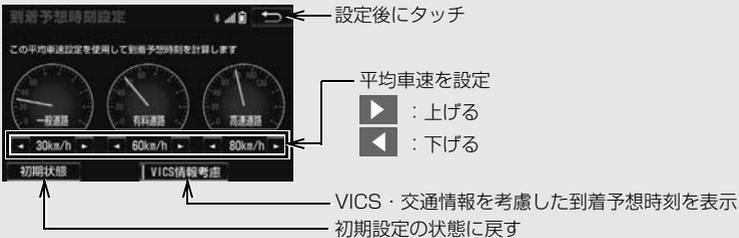
▶ デジタル



▶ アナログ



- **設定** にタッチすると、ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を設定できます。



知識

- 県境案内について
 - ・ 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

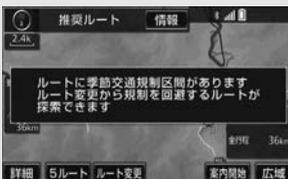
ルート系設定をする

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動で再探索をする／しないを選択できます。(→ P.115)

季節規制メッセージ表示

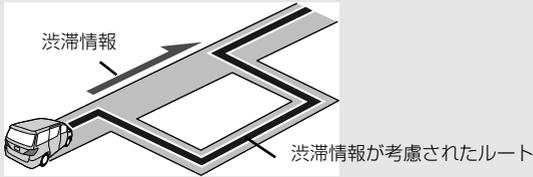
冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが  (オレンジ) で表示されます。



- 季節規制区間を迂回するルートを探したいとき
 - ➔ 「季節規制区間の迂回ルートを探る」(→ P.124)

渋滞考慮探索

受信した現況 VICS 情報および統計情報を利用して、渋滞・規制情報を考慮したルートを探
索する／しないを選択できます。



- 渋滞情報を考慮したルートは、統計情報を利用して探索を行います。
- 通行止めなどの規制情報を考慮したルートは、現況 VICS 情報を利用して探索を行います。

知識

- 季節規制メッセージ表示について
 - ・ 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されませ
ん。

自動表示切替設定をする

交差点拡大図自動表示

分岐する交差点の約 300m 手前で、交差点拡大図を表示する／しないを選択できます。(→
P.107)



高速分岐モード図自動表示

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づいたときの高速分岐案内を表示
する／しないを選択できます。(→ P.80)



次のページに続く

レーンリスト自動表示

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）で、レーンリスト図を表示する／しないを選択できます。（→ P.107）



レーンリスト

ターンリスト自動表示

ターンリスト（分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号）を表示する／しないを選択できます。（→ P.109）



ターンリスト

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.107）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.107）が自動的に表示されます。

知識

- ターンリスト自動表示について
 - ・ 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声自動発声

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。（→ P.171）

自動音声案内

自動で音声案内をする／しないを選択できます。（→ P.105）

細街路での音声案内

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。（→ P.106）

他モード時の案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。（→ P.106）

ハートフル音声

以下の例のような、通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力する／しないを選択できます。

▶ ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」
- ナビゲーション画面が表示されるとき
「今日は○月○日○曜日です」

エコドライブインフォメーション

エコ運転のアドバイスを音声案内する／しないを選択できます。（→ P.157）

知識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声について
 - ・ 音声案内はあくまでも参考としてください。
 - ・ 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
 - ・ 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- ハートフル音声について
 - ・ 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。



その他の設定をする

スイッチ表示設定

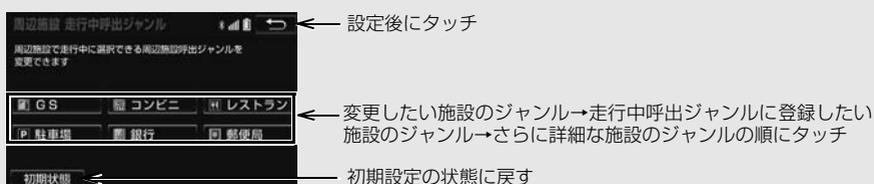
地図画面の **Off** にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定ができます。

- 文字または記号が灰色のスイッチは、**Off** にタッチしたとき表示されません。



周辺施設 走行中呼出ジャンル

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

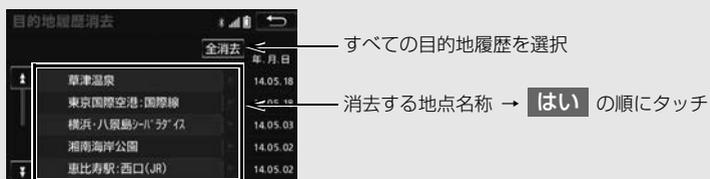


車両情報設定

料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更することができます。(→ P.37)

目的地履歴の消去

目的地設定した地図の地点を削除できます。



- 目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されません。

時計表示

地図画面に時計を表示する／しないを選択できます。(→ P.57)

地図のステータスバー表示

地図画面にステータスバーを表示する／しないを選択できます。(→ P.57)

ナビ補正

自転車位置マーク  の位置と方向、進み方を修正できます。(→ P.135)

QUICK SETUP

QUICK SETUP の設定や設定した内容を修正することができます。(→ P.25)

知識

- 時計表示について
 - ・ 時計表示の時刻は、GPS 電波を利用して自動調整します。(操作することはできません。)



3. 安全・快適走行の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「運転支援」

2 安全・快適走行設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。



● 詳しくは、次の表をご覧ください。

一時停止案内

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク (▼) と音声で案内する／しないを選択できます。

踏切案内 (道路形状案内)

踏切に近づくと、案内マーク (◀▶) と音声で案内する／しないを選択できます。

合流案内 (道路形状案内)

合流道路に近づくと、案内マーク (▶▲, ▲▶) と音声で案内する／しないを選択できます。

カーブ案内 (道路形状案内)

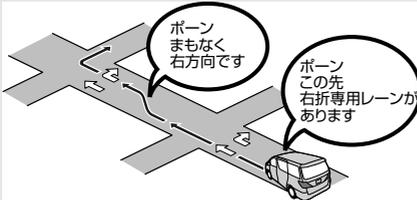
急カーブに近づくと、案内マーク (⚡, ⚡, ⚡, ⚡) と音声で案内する／しないを選択できます。

レーン警告（道路形状案内）

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。

●右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

▶右折・左折専用レーン警告の例



●直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン警告はされません。この場合は「ボーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

●一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（）が表示されます。1/5 千図～1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

●高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内

学校に近づくと、案内マーク（）と音声で案内する／しないを選択できます。

●案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校です。

※ 専有校舎物件のみ。

 警告

- 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。



3. 安全・快適走行の設定をする

知識

- 一時停止案内について
 - ・ 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
 - ・ 地図データに情報のない地点
 - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
 - ・ 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
 - ・ 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
 - ・ 一時停止交差点が連続するとき
 - ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき
 - ・ 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
 - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
 - ・ 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点が変わったなど）
- 道路形状案内について
 - ・ 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
 - ・ 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 再探索直後
 - ・ 目的地周辺
 - ・ 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
 - ・ 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
 - ・ 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

知識

- 学校存在案内について
 - ・ 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
 - ・ 地図データに情報のない地点
 - ・ 土曜日、日曜日
 - ・ 午後 7 時～午前 7 時
 - ・ 自宅登録時の自宅周辺
 - ・ 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
 - ・ 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
 - ・ 案内表示中に別の学校に近づいたとき
 - ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき

4. エコ機能

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。

また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集することができます。

知識

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット (0km) されます。

1 MENU ▶ 情報 → 燃費

2 データ入力 にタッチ。

3 給油量入力 にタッチ。

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、**走行距離リセット** → **はい** の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

4 給油量を入力し、**完了** にタッチ。



- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

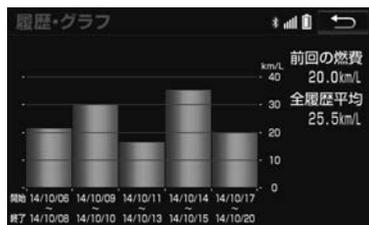
知識

- 走行距離の表示は、0.0km から 9999.9km になります。
- 入力できる給油量は、最大 99.9L、最小 0.1L です。



履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



1 MENU ▶ 情報 → 燃費

2 燃費・グラフ にタッチ。

- 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。
- 過去 5 回分の燃費がグラフで表示されます。

知識

- グラフの表示は、最大 40km/L になります。
- 数値の表示は、最大 99.9km/L、最小 0.1km/L になります。

履歴の編集

計算された燃費は、履歴に最大 100 件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

1 MENU ▶ 情報 → 燃費 → 履歴一覧

2 編集したい履歴（期間）を選択する。



3 修正・入力をする。

- 前の履歴（期間）を表示したいとき
➡ 前へ にタッチ。
- 次の履歴（期間）を表示したいとき
➡ 次へ にタッチ。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
開始日の編集	38
終了日の編集	38
走行距離の編集	38
給油量の編集	153

履歴の削除

履歴が100件をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な履歴を選択して消去することもできます。

1 MENU ▶ 情報 → 燃費 →
履歴一覧

2 削除したい履歴（期間）を選択する。



● 全ての履歴を消去したいとき
→ 全消去 にタッチ。

3 本履歴を削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

ルート案内時の燃費設定

燃費を設定すると、5ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンを表示することができます。また、全行程一覧表画面にはルートごとにエコ度を3段階で表示することができます。

▶ 5ルート同時表示画面



▶ 全行程一覧表示画面

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	エコ度
推奨	64km	60km	900円	1時間 16分	🍃🍃
有料優先	64km	60km	900円	1時間 16分	🍃🍃
一般優先	61km	8.4km		2時間 4分	🍃
距離優先	47km	0.0km		1時間 36分	🍃
別ルート	60km	56km	900円	1時間 9分	🍃🍃🍃

燃費を設定する

履歴・グラフ(→P.154)に表示されている平均燃費などを参考に燃費を設定することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費設定 にタッチ。

3 燃費を設定する。



- 燃費を上げたいとき
→▶ にタッチ。
- 燃費を下げたいとき
→◀ にタッチ。

知識

- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 入力できる燃費設定は、0.1km/L ~ 99.9km/L の範囲です。

4 ◀▶ にタッチ。

エコ情報の表示

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。

エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

最新評価の表示

1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図&車両情報 にタッチ。



- エコ運転評価は5段階で表示されます。
- 評価に合わせて、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

知識

- 評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

■ 評価履歴の表示

1 **MENU** ▶ **情報**

2 **エコ運転評価履歴** にタッチ。



- 評価履歴を消去したいとき
→ **履歴消去** → **はい** の順にタッチ。

■ エコ運転アドバイスの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

▶ エコ運転アドバイス音声の例

- 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
- エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
- 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

- エコ運転アドバイスをする／しないを設定できます。(→ P.147)

(知識)

- エコ運転アドバイスの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ハートフル音声(→ P.147)とエコ運転アドバイスの音声が重複した場合、ハートフル音声が優先されます。その場合、エコ運転アドバイスは、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに発話されます。

5. GPS について

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置 (緯度・経度など) を知ることができるものです。

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき (米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。)
- デジタル式携帯電話 (1.5GHz) を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っています。人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。

この誤差は、補正などによってなくすることはできません。

6. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、 自宅周辺 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。(→ P.36)
自宅が登録されていません 自宅の登録を行いますか？	自宅が登録されていないときに、 自宅に帰る にタッチしたため。	自宅を登録するときは、 はい にタッチしてください。(→ P.98) 自宅の登録をしないときは、 いいえ にタッチしてください。
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ~ 5 または特別メモリに行く 1 ~ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。(→ P.127)
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を検索したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(現在地画面から地点登録するときを除く)	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(1/8 万図以下)で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を動かして、道路付近に通過道路を指定してください。



次のページに続く

6. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を道路付近に動かして、 セット にタッチし、目的地を設定してください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(→ P.126)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点(自宅・特別メモリ地点含む)を400カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。(→ P.127)
セットで◆を乗降ICに設定します 次候補で別の出入口を探します	指定したICに出口(入口)が複数あるため。	希望の出口(入口)のときは、 セット にタッチしてください。 希望の出口(入口)でないときは、 次候補 にタッチしてください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC指定を続けますか？	指定したICに時間規制があるため。	指定を続けるときは、 はい にタッチしてください。 指定をやめるときは、 いいえ にタッチしてください。
指定された出入口ICは規制があります ご注意ください	時間規制のあるICを利用時、時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ (高速道路、有料道路など)	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、 設定する にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、 他の道路 にタッチしてください。
指定された区間の前後に乗降ICまたは通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降ICまたは通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、 はい にタッチしてください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、 いいえ にタッチしてください。

メッセージ	原因	処置
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を動かすか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図 SD が差し込まれていませんか。	地図 SD を差し込んでください。(→ P.16)
	地図 SD がロックされていませんか。	地図 SD のロックを解除してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(→ P.63)
自転車位置マーク  が表示されない。		
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的の案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(→ P.104)
	案内の音量が小さく(音声 OFF に)なっていませんか。	音量を大きくしてください。(→ P.37)

次のページに続く



6. 知っておいていただきたいこと

症状	考えられること	処置
<p>実際の現在地と異なる場所に 自転車位置マーク📍が表示 されている。 (自転車位置マーク📍がずれて いる。)</p>	<p>人工衛星の状態、車両の状態 (走行場所や運転条件) など により、自転車位置マーク 📍がずれることがあります。 また、新設道路など、地図 データが実際の道路形状と異 なる道路を走行すると、自転 車位置マーク📍がずれること があります。</p>	<p>しばらく走行すると、マップ マッチングや GPS 情報が利 用されて、現在地が自動的に 修正されます。(場合によっ ては、数分程度かかることが あります。) GPS 情報が利用されず、現 在地が自動的に修正されな いときは、安全な場所にいた ん停車して、現在地の修正を 行ってください。 (→ P.135)</p>
<p>地図の画面上部が青色にな る。</p>	<p>3D 表示にて、「空 (ソラ)」 が表示されており、それが青 色になっていませんか。 3D 表示の 1.6k スケール以 上で「空 (ソラ)」が表示さ れます。</p>	<p>「空 (ソラ)」の青色が気にな るようでしたら、2D 表示に する (→ P.69) か、3D 表 示で 1.6k スケールより詳細 なスケールにしてください。 (→ P.66)</p>
<p>渋滞情報が表示されない。</p>	<p>VICS 情報を 非表示 に設定 していませんか。</p> <p>FM-VICS 選局が マニュアル に設定され、現 在地エリアの FM-VICS 放送 局が選局されていないと FM-VICS 放送を受信できま せん。</p>	<p>VICS 情報を表示させる設定 になっているかご確認ください。 (→ P.170)</p> <p>現在地エリアの FM-VICS 放 送局を選局するか、オート を選択してください。(→ P.173)</p>
<p>FM-VICS が受信できない。</p>	<p>周辺機器に FM トランス ミッターを使用していません か。</p> <p>車両のラジオアンテナを最大 まで伸ばしていますか。</p>	<p>FM トランスミッターの使用 を中止してください。</p> <p>車両のラジオアンテナを最大 まで伸ばしてください。</p>

ナビの精度について

知識

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→P.135)

■ 以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク  が表示されている（自車位置マーク  がずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マーク  が表示されることがあります。
- 走行中の道路の近くに別の道路が並走している場合、隣の道路に自車位置マーク  が表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マーク  やルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マーク  が表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マーク  が移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マーク  を手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- 12V バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき

- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- ルーフキャリアを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■ 探索条件や走行場所により、以下のよう
に適切な目的地案内が行われない
ことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。



6. 知っておいていただきたいこと

- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ ルート再探索時、以下のようなことがあります。

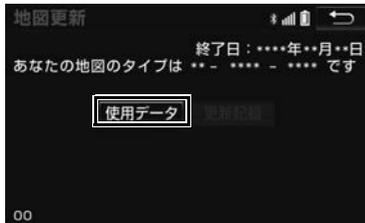
- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

データベースの情報を見る

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

2 使用データ にタッチ。



地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。



1. 地図について

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。

差分更新：パソコン（地図 SD）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→ P.186）をご覧ください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認番号平25情使、第460-001号）

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

（測量法第44条に基づく成果使用承認12-040T）

©2007 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エイ・ダブリュ（株） & ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタ マップマスター



■交通規制データの出典

- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先

- このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点

- 地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■道路交通情報データ

- 道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

1.VICS・交通情報の表示について

地図上に VICS 記号 (→ P.177) を表示することができます。以下は表示例です。

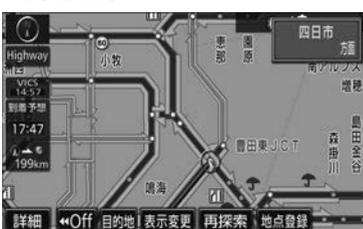
▶ 通常の地図



▶ ハイウェイモード



▶ 高速路線マップ



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	(赤色)	(橙色)	(水色)
統計情報	(赤色)	(橙色)	(水色)

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

〔知識〕

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新 (→ P.186) などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。

現況情報について

■ 現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

〔知識〕

- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

〔知識〕

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

タイムスタンプにタッチすると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→P.171)



タイムスタンプ

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去され、[-:-:-]の表示になります。
現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[-:-:-]になります。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは、[-:-:-]の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上(約10km以内)に現況情報があると色が変わります。

スイッチ	内容
赤色 (8:00)	渋滞情報
橙色 (8:00)	混雑情報
黄色 (8:00)	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」と表示します。

知識

- 現況 VICS 情報が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

- 1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。



1. VICS・交通情報の表示について

知識

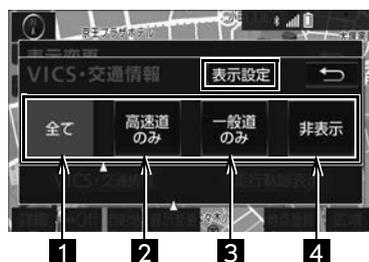
- VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

1 地図表示中 → 表示変更 →

VICS・交通情報

2 VICS・交通情報を表示する道路にタッチ。



スイッチ	内容
1	高速道路・一般道路に表示
2	高速道路のみに表示
3*	一般道路のみに表示
4	交通情報を表示しない

※ ハイウェイモード (→ P.77) では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 地図表示中 → 表示変更 →

VICS・交通情報 → 表示設定

2 表示する VICS・交通情報 → 完了の順にタッチ。



- 表示する項目が選択されているときは、作動表示灯が点灯します。

スイッチ	内容
渋滞・混雑*	渋滞・混雑している道路の表示
空き道*	空いている道路の表示
規制情報	事象・規制がある道路の表示
駐車場	駐車場情報の表示

※ 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

2. VICS・交通情報を活用する

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

▶VICS表示がある地点

「およそ1km先 渋滞があります」

▶VICS記号のある地点

「およそ5km先 電気工事のため 車線規制中です」

- 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→P.147）

知識

- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

1 タイムスタンプにタッチ。



- 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが点灯し、操作することができます。

知識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

1 **MENU** ▶ **情報** → **VICS** →
FM 図形 または **FM 文字**

2 情報の番号（**1**・**2**・**3**…）にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
→ **文字** または **図形** にタッチ。

3 **▲**・**▼** または **自動送り** にタッチ。

- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るとき
→ **▲**・**▼** にタッチ。
- **自動送り** にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するとき
→ **停止** にタッチ。
- 自動送り中に **▲**・**▼** にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
→ **文字** または **図形** にタッチ。



2. VICS・交通情報を活用する

- **目次** にタッチすると、VICS 情報目次画面が表示されます。(手順 **2**の画面)

(知識)

- VICS 画面で **割込情報** にタッチすると、受信された割込情報を表示することができます。

渋滞考慮探索

受信した現況 VICS 情報および統計情報を利用して、渋滞・規制情報を考慮したルートを探索します。

- 渋滞情報を考慮したルートは、統計情報を利用して探索を行います。
- 通行止めなどの規制情報を考慮したルートは、現況 VICS 情報を利用して探索を行います。
- 渋滞考慮探索のする／しないを設定できます。(→ P.145)

3. VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

1 **MENU** ▶ **情報** → **VICS** →
VICS 選局

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶ 自動選択時



▶ 手動選択時



自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 **オート** にタッチ。

- 通常は、**オート** にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局または放送エリアを選択してください。

(知識)

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。周波数選択時は、**▲**・**▼** にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

- 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 **戻る** にタッチ。



4. VICS について

VICS (Vehicle Information and Communication System : 道路交通情報通信システム) は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会 (TMT) が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された  のロゴマークは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS のメディアについて

本機では FM 多重放送を利用して VICS 情報を受信します。

FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局 (NHK-FM) から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、AM1 : 00 ~ 5 : 00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象情報他」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

本機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されません。

知っておいていただきたいこと

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。(提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。)
- 電波がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報 (渋滞や混雑の矢印など) の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
 - ・ トンネルの中にいるとき
 - ・ 高層ビルの谷間にいるとき
 - ・ 高架道路の下にいるとき
 - ・ 盆地にいるとき
 - ・ 大型車とすれちがったとき

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権および VICS 過去データについて

- お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。
- お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。



VICS の問い合わせ先について

トヨタ販売店への問い合わせについて

■以下の内容は、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

VICS センターへの問い合わせについて

■以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

【窓口】 運用管理室

電話番号（受付時間 …9：30 ～
17：45、土曜、日曜、祝日、年末
年始を除く）

0570-00-8831（PHS/IP
電話からはご利用できません）

FAX 番号

03-3562-1719(24時間受付)

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。

<http://www.vics.or.jp/>

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。
ご了承ください。

VICS 記号・表示について

記号	道路の種類
 * (黒色)	通行止めの区間
 (赤色)	渋滞している道路
 (橙色)	混雑している道路
 (水色)	すいている道路

* 夜画のときは白色で表示されます。

記号	交通情報
 (青色)	駐車場 (空車)
 (橙色)	駐車場 (混雑)
 (赤色)	駐車場 (満車)
 (黒色)	駐車場 (不明)
	駐車場 (閉鎖)
 (青色)	SA・PA (空車)
 (橙色)	SA・PA (混雑)
 (赤色)	SA・PA (満車)
 (黒色)	SA・PA (不明)
	SA・PA (閉鎖)

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
 (青色)	注意
 (黒色)	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪

記号	規制情報
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

知識

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。



1. スマートフォンナビ連携について

動作確認済のスマートフォン*を本機に接続して、地図の操作や、目的地の設定、オーディオ操作をすることができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーション (NaviCon または smart nAVViLink) をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」または「Google Play™」のヘルプをご覧ください。

* 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/>) でご確認ください。

※専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

本機に接続するスマートフォンは、次の仕様に対応したスマートフォンである必要があります。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver. 1.1 以上 (Ver.3.0+EDR を推奨)

■対応 Profile

- HFP (Hands Free Profile) : Ver.1.0 以上 (Ver.1.6 を推奨)
- SPP (Serial Port Profile) Ver.1.1



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります)
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

知識

- スマートフォンナビ連携機能を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。(→P.180)
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 接続対応スマートフォンについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに iPhone を接続し、オーディオソースを iPod にした場合、スマートフォンナビ連携を使用することができません。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.

Made for



iPod iPhone

- "Made for iPhone," mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPhone may affect wireless performance.
- 「NaviCon」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
- 「smart nAVVi Link」はアイシン・エイ・ダブリュ株式会社の商標または登録商標です。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
- この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。



1. スマートフォンナビ連携について

ペースメーカーやその他の医療
用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

 **警告**

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

スマートフォンを登録する

スマートフォンナビ連携を使用するためには、まず本機にスマートフォンを登録することが必要です。
(→ P.42)

スマートフォンを接続する

スマートフォンの本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

 **知識**

- スマートフォン側の操作については、スマートフォンに添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの操作後にスマートフォンの接続を行った場合、接続できないことがあります。また、スマートフォンの接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

スマートフォンを自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の自動接続 (→ P.418) および、機器詳細設定のスマートフォン連携 (→ P.182) を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認表示 (→ P.418) で「する」を選択しているときは、スマートフォンが Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

スマートフォンナビ連携機能を使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→ P.386)

1. スマートフォンナビ連携について

知識

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にした後、スマートフォンと Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
- 自動接続した場合、スマートフォンの機種によっては表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、スマートフォン本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。)

自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
(→ P.181)

スマートフォンを手動で接続する

スマートフォンの自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときには、手動で Bluetooth 接続操作をします。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →

Bluetooth → **機器登録・接続**

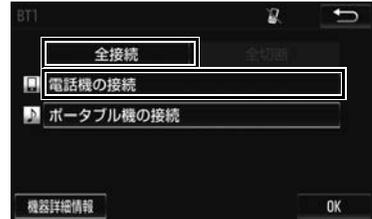
2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用するスマートフォンにタッチ。



- **全接続** にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

4 **全接続** または **電話機の接続** にタッチ。



5 Bluetooth 接続画面が表示される。



- 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 Bluetooth 接続状態表示を確認する。

知識

- スマートフォンの状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

1. スマートフォンナビ連携について

スマートフォンの接続を切る

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**
- 2 接続を切るスマートフォンにタッチ。



- 3 **全切断** または **電話機の切断** にタッチ。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

〔知識〕

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.181)

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

スマートフォン側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	181
改めてスマートフォンを選択する	183

スマートフォンナビ連携を利用する

スマートフォンナビ連携機能が利用できるように設定します。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**
 - 2 使用するスマートフォンにタッチ。
 - 3 **機器詳細情報** にタッチ。
 - 4 **スマートフォン連携する** にタッチし、**スマートフォン連携する** にタッチ。
 - 5 **☞** にタッチ。
- DS を接続している場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、スマートフォンナビ連携が使用できます。

1. スマートフォンナビ連携について

使用するスマートフォンを選択する

スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。複数のスマートフォンを使用するときは、必要に応じてスマートフォンを選択します。

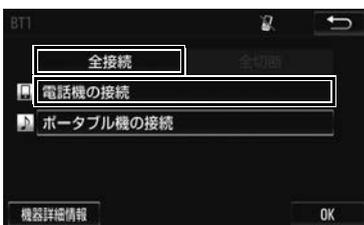
1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**

- 2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。
- 3 使用するスマートフォンにタッチ。



-  にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

- 4 **全接続** または **電話機の接続** にタッチ。



- 他の Bluetooth 機器が接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ **はい** にタッチします。

- 接続完了のメッセージが表示されたら、スマートフォンナビ連携が使用できます。

知識

- 携帯電話や DS を接続している場合、スマートフォンを追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

スマートフォン機器詳細情報を表示する

本機に登録されているスマートフォンに関する情報の表示と設定をすることができます。

- 情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

本機に表示されるスマートフォンの名称です。任意の名称に変更することができます。(→ P.184)

接続方法

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。(→ P.297)

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

自局電話番号

スマートフォンの電話番号です。

スマートフォン連携

スマートフォンナビ連携機能が利用できるように設定できます。(→ P.182)

対応プロファイル

スマートフォンで対応しているプロファイルで、変更することはできません。



1. スマートフォンナビ連携について

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**

2 情報を表示したいスマートフォンにタッチ。

3 **機器詳細情報** にタッチ。

4 各項目の設定・確認をする。



- 初期設定の状態に戻すとき
→ **初期状態** にタッチ。

スマートフォン機器の名称を変更する

本機に表示されるスマートフォンの名称を、任意の名称に変更することができます。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続** →
(名称変更したいスマートフォン) →
機器詳細情報

2 **機器名称** にタッチ。

3 文字入力画面で入力する。

4 **↩** にタッチ。

(知識)

- 本機で機器名称を変更しても、スマートフォンに登録されている機器名称は変更されません。

スマートフォン機器の登録を削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続** →
削除
- 2 削除したいスマートフォンにタッチ。
- 3 **はい** にタッチ。

スマートフォンナビ連携アプリについて

スマートフォンナビ連携はスマートフォンやパソコンからも情報確認や各種設定ができます。

スマートフォンナビ連携アプリ（無料）を下記 URL からダウンロードします。

- URL : <http://tconnect.jp/spappdl/>
- QR コード :



- App Store または Google Play™ で「T-Connect」と検索すると表示されます。

警告

- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。
- スマートフォンナビ連携アプリの機能紹介などの詳細説明については、次のサイトをご覧ください。
URL : <http://tconnect.jp>

ID 発行・ログイン

初めてご利用いただく際は、スマートフォンナビ連携アプリ起動後に表示されるログイン画面で、ID を発行してください。

- ID は、パソコンサイトログイン時にもご利用いただけます。
- smart G-BOOK アプリをご利用いただいていた方は、ID・パスワードを引き続きご利用いただけます。



1. 地図を更新する

差分更新（マップオンデマンド）と全更新について

地図データの更新には、「差分更新（マップオンデマンド）」と「全更新」があります。

■差分更新（マップオンデマンド）について

差分更新はインターネットと地図 SD を使用して、部分的に地図データを更新する方法です。

■全更新について

全更新は、最新版地図ソフトを使用して、全国の地図データを更新する方法です。最新版地図ソフトの購入は、トヨタ販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

差分更新の対象について

差分更新（マップオンデマンド）では、全都道府県の差分地図データを更新します。（全国的高速道路、有料道路施設、著名な施設（3D ランドマーク相当）も同時に更新されます。）

※ 市街図、音声案内データについては、更新対象外です。

更新方法と費用について

■更新方法について

マップオンデマンドダウンロードサイト (<http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx>) より、地図データをダウンロードし、地図 SD に書き込みます。

1 回の更新で、全都道府県の地図データを更新することができます。

※ 差分更新をするには、専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする必要があります。（→ P.187）

■費用とサービス期間について

本機を購入後 3 年間は、インターネットにかかる実費を除いて更新にかかる費用は無料です。4 年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、購入日から 2 年間サービスを利用することができます。

■差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

- 1 地図 SD を本機から取り出す。（→ P.17）
- 2 パソコンに専用アプリケーションソフトをインストールする。（→ P.187）
- 3 マップオンデマンドダウンロードサイト (<http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx>) から地図データをパソコンにダウンロードする。

- 4 インストールした専用アプリケーションソフトを使って、地図データを地図 SD に書き込む。
- 5 地図 SD を本機へ挿入する。(→ P.16)

専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新のほかに、地図リカバリー（地図データを出荷状態に戻すこと）や、使用中の専用アプリケーションソフトのバージョンアップ※などができます。
※ サーバーからダウンロードします。

専用のアプリケーションソフトの動作環境

動作環境

- OS :
Microsoft WindowsXP(Home/Professional) / Microsoft Windows Vista(32bit/64bit) / Microsoft Windows 7(32bit/64bit) / Windows 8(32bit/64bit)
- メモリ : 256MB 以上 (OS が規定している容量以上)
- HDD : 1 ユーザーあたり約 18GB 以上の空き容量 (最大 10 ユーザーまで登録可能)

必要なもの

- SDHC メモリーカードリーダー /ライター
- 地図 SD (製品同梱)
- DVD-ROM ドライブ
- インターネット接続可能な環境

専用のアプリケーションソフトをインストールする

知識

- インストールを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。
 - インストールを実行する前に、すべての Windows プログラムを終了してください。
 - 掲載している Windows の画面は、Windows 7 の画面を使用しています。操作説明に使用している画面は実際の画面と異なることがあります。また、お客様が使用されている OS やアプリケーションソフトのバージョンによっても画面が異なることがあります。
- ※ Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。

1 専用のアプリケーションソフトのディスクを挿入する。

- インストールが開始されない場合は、専用のアプリケーションソフトのディスクが挿入されている DVD ドライブを選択し、「setup.exe」を実行します。
- 既に最新バージョンの専用のアプリケーションソフトがインストールされているときは、「インストール済みです」と表示されます。

2 次へ をクリック。



1. 地図を更新する

- 3 利用規約の内容を確認したあと、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックし、**次へ** をクリック。



- 4 インストール先を選択し、**次へ** をクリック。



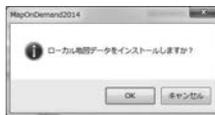
- 5 ショートカット作成場所をチェックして、**次へ** をクリック。



- 6 **完了** をクリック。



- 7 **OK** をクリック。



- 8 **OK** をクリック。

**知識**

- 最新版地図ソフトをご購入されたお客様は、同梱の専用のアプリケーションソフトのディスクを使って再度インストールを行ってください。

専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトの使い方については、画面のヘルプを参照してください。

知識

- Windows Vista/7/8をご使用のお客様は、管理者権限を持つユーザーとしてログオンし、専用のアプリケーションソフトを使用してください。

3

オーディオ&ビジュアル

1 はじめに

- 1. 知っておいて
 いただきたいこと..... 192
 使用できるメディアについて..... 192
 DVD プレーヤーについて..... 195
 文字情報の表示について..... 195
- 2. 基本操作をする..... 196
 - 基本操作スイッチ..... 196
 - オーディオソース選択画面の操作..... 198
 - 音の設定をする..... 199
 - 画面モードについて..... 207

2 ラジオを聞く

- 1. ラジオを操作する.....208
 - 交通情報を受信する..... 210

3 DVDプレーヤーの操作

- 1. はじめに.....211
- 2. ディスクの出し入れ.....212
 - ディスクを入れる..... 212
 - ディスクを取り出す..... 212
- 3. 音楽再生中の操作.....214
- 4. 映像再生中の操作.....218
 - 設定画面について..... 221
- 5. 知っておいて
 いただきたいこと.....228
 - DVD 再生中の操作について..... 228
 - DVD について..... 228

4 Audio SDの操作

- 1. お使いになる前に.....233
 - Audio SD について.....233
- 2. Audio SDの出し入れ.....234
 - Audio SD を入れる.....234
 - Audio SD を取り出す.....235
- 3. Audio SDに録音する.....237
 - データベースについて.....237
 - 録音についての注意.....239
 - 録音する.....240
 - 録音を中止する.....241
 - 録音の設定を変更する.....242
 - 録音したデータ容量を確認する.....242
- 4. 音楽ファイル再生中の操作.....243
- 5. 本機で記録したデータを
 編集する.....247
 - サウンドライブラリ
 編集メニュー画面について.....247
 - お気に入りの楽曲集（マイベスト）
 を作成する.....247
 - マイベストを編集する.....248
 - アルバム情報を編集する.....250
 - タイトル情報を削除する.....252
 - アルバムを削除する.....253
 - トラックを削除する.....253
 - タイトル情報を個別に取得する.....254



5 デジタルテレビを見る

1. 地上デジタルテレビの操作について.....255
miniB-CAS カードについて255
miniB-CAS カードの出し入れ256
2. テレビの操作260
EPG(電子番組表)を見る262
データ放送の操作について264
緊急警報放送 (EWS) について266
3. テレビの設定をする267
設定画面について267
4. 知っておいて
いただきたいこと273

6 VTRの操作

1. VTRの操作274
各種切替画面について275
VTR 音声入力を切り替える275

7 USBメモリの操作

1. はじめに276
USB メモリについて276
2. 音楽ファイル再生中の操作277

8 iPodの操作

1. はじめに280
2. 音楽ファイル再生中の操作282
3. 動画ファイルを再生する284
各種切替画面の操作286
4. iPodの設定をする287
iPod カバーアートを表示する287
iPod ビデオ音声入力の設定を
変更する287

9 Bluetoothオーディオの操作

1. はじめに288
Bluetooth オーディオについて288
各種表示について288
Bluetooth 機器使用上の
注意事項について289
2. Bluetoothオーディオ
再生中の操作291
3. Bluetoothオーディオを
設定する294
ポータブル機を接続する294
使用するポータブル機を選択する296
ポータブル機の詳細情報を
表示する297
本機の Bluetooth 設定を変更する298
ポータブル機の接続を切る299
ポータブル機の登録を削除する299

10 ステアリングスイッチの操作

1. ステアリングスイッチで
操作する 300

11 後席ディスプレイ

1. リモコンでの操作 302
後席ディスプレイについて 302
オーディオ共通の操作をする 303
再生中の曲を操作する 305
ラジオ・デジタルテレビを
操作する 306
DVD プレーヤーを操作する 307
iPod の映像を操作する 309

12 DSモード

1. DSモードの操作 310
DSモードについて 310
DSを登録する 310
DSを接続する 311
DSで目的地を設定する 313
DSとの通信を切断する 313
DSの登録を削除する 313

13 オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

1. オーディオ&ビジュアルで
使用できるメディア／
データについて 315
メディアについて 315
データの仕様について 319
Bluetooth について 322

14 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 323
オーディオ共通 323
AM / FM 323
ディスク (音楽 CD / MP3 /
WMA / AAC) 324
テレビ 324
iPod 325
Audio SD 325
DS 326



1. 知っておいていただきたいこと

使用できるメディアについて

オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア※については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→P.315)をご覧ください。

※メディアとは、CD・DVD・SDメモリーカード・USBメモリなどの記憶媒体や本機に接続することができる外部機器の総称です。

本書では一部を除き、記憶媒体や外部機器をメディアという表現で説明しています。

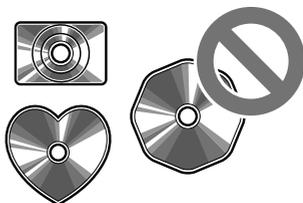
ディスクについて

注意

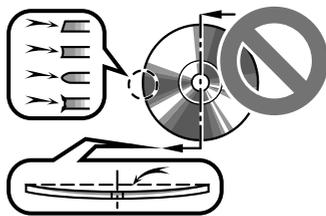
- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持つか、両端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。

注意

- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- 直径 12cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

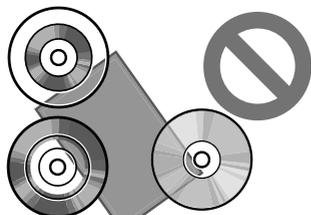


- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

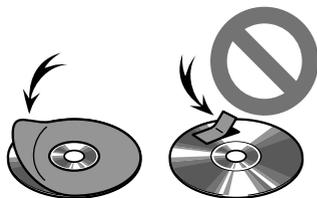


注意

- 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。

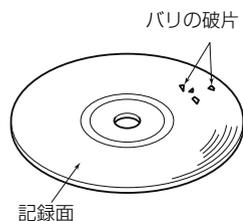
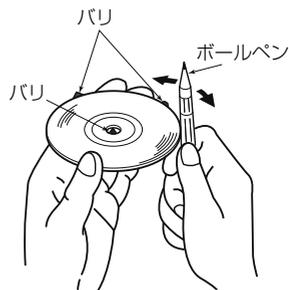


- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



注意

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。



1. 知っておいていただきたいこと

注意

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となることがあります。



- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CD リング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなくなったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。



- プリンタブルディスク（ラベル印刷面に対応したディスク）は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

SD メモリーカードおよびアダプタについて

注意

- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってある SD メモリーカードおよびアダプタは使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードおよびアダプタが使用できなくなることがあります。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- SD メモリーカードの再生中、録音中は、SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。SD メモリーカードの取り出し方法については、「SD メモリーカードを取り出す」(→ P.235) をご覧ください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

DVD プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。



2. 基本操作をする

基本操作スイッチ

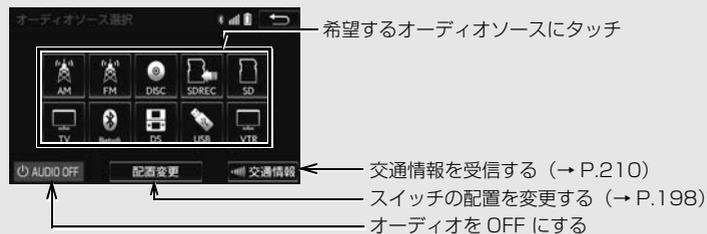
エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できません。



▶ 画面スイッチ

ソース選択

オーディオソースを切り替えることができます。



音設定

音の設定をします。(→ P.199)

▶ 本体のスイッチ

VOL+, VOL-

押すごとに音量が切り替わります。

- 押し続けると連続して音量が切り替わります。

AUDIO

押すとオーディオ操作画面を表示します。

1 秒押し続けるごとに、オーディオの ON / OFF が切り替わります。

オーディオ操作画面表示中に押すと、オーディオソース選択画面を表示します。オーディオソースを切り替えることができます。詳しくは、**ソース選択** スイッチ (→ P.196) の内容をご覧ください。

 警告

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

 知識

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- 音量を上げすぎると、スピーカーからの振動により、ビビリ音などの異音が発生する場合があります。適度な音量でお聞きください。



オーディオソース選択画面の操作

オーディオソースを再生／受信するには、オーディオソースを選択します。オーディオソースを選択するときは、オーディオソース選択画面を表示させてから操作します。



スイッチ	内容
AM	AM ラジオを受信する。
FM	FM ラジオを受信する。
DISC	CD または DVD を再生する。
SD REC	本機で CD から Audio SD に録音した音楽ファイルを再生する。
SD	パソコンなどで Audio SD に記録した音楽ファイルを再生する。
TV	デジタルテレビを受信する。
Bluetooth	Bluetooth オーディオを再生する。
DS	DS モードを使用する。
USB (iPod)	USB メモリに記録した音楽ファイルを再生する。
VTR	VTR 機器を再生する。
交通情報	交通情報を受信する。

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
 - ・ ディスクが挿入されていないとき (DISC モード)
 - ・ Audio SD が挿入されていないとき (SD REC、SD モード)
 - ・ 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに機器が接続されていないとき (USB/iPod モード)
- **USB** は販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが接続されていないと表示されません。
- iPod を接続すると、**USB** が **iPod** に切り替わります。
- **VTR** は販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが接続されていないと表示されません。

スイッチの配置を変更する

1 オーディオソース選択画面 →

配置変更

2 移動したいオーディオソースにタッチ。



- 3 << または >> にタッチして、スイッチを移動させる。
 ※ この時点でアイコンの配置変更が確定します。

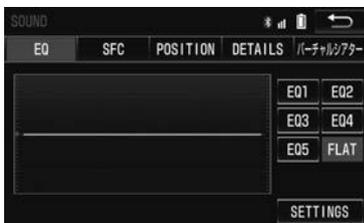


音の設定をする

1 各オーディオ操作画面 (→ P.196)

→ **音設定**

2 各項目を設定する。



- 音設定画面から次の項目が設定できます。

	項目	ページ
イコライザの設定	パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ)	199
音場の設定	SFC (音場) の設定	201

	項目	ページ
音量バランスの設定	ダイレクトポジションの設定	202
	車種の設定	203
	FADER BALANCE の設定	203
音質の詳細設定	HARMONIZER の設定	204
	E-EVOLUTION の設定	204
	LOUDNESS の設定	205
	ASL の設定	205
バーチャルシアターの設定	ツイーターの設定	206
	低音レベルの設定	206
	音場レベルの設定	206

パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ)

車室内では音が乱反射し、周波数特性に特定の高低差が生まれます。パラメトリックイコライザは、中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。

1 各オーディオ操作画面 (→ P.196)

→ **音設定** → **EQ**



2 イコライザを設定する。



- イコライザカーブを選択するとき
→「イコライザカーブの選択」
(→ P.200)
- イコライザカーブを調整するとき
→「イコライザカーブの調整」
(→ P.201)

■イコライザカーブの選択

保存しておいたイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定することができます。

1 EQ1 ~ EQ5 のいずれかにタッチ。

- 選択された音質モードのイコライザカーブが表示されます。
- 音質補正をしない場合、**FLAT** にタッチします。

スイッチ	イコライザカーブ
EQ1	<p>高域を強調したパターン</p>
EQ2	<p>低域高域を強調したパターン</p>

スイッチ	イコライザカーブ
EQ3	<p>低域を強調したパターン</p>
EQ4	<p>低域高域を少し強調したパターン</p>
EQ5	<p>ボーカル帯域を強調したパターン</p>
FLAT	<p>EQ 補正なし</p>

■イコライザカーブの調整

イコライザカーブの中心周波数、レベル、Qカーブ（帯域幅）をそれぞれ任意に調整することができます。

1 **SETTINGS** にタッチ。

2 調整したいバンドの周波数にタッチ。



● ◀ または ▶ にタッチして、各バンドの中心周波数を変更します。

▶ : 中心周波数を高くする

◀ : 中心周波数を低くする

バンド	中心周波数 (Hz)
1	63 ↔ 80 ↔ 100
2	125 ↔ 160 ↔ 200
3	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
4	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
5	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
6	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
7	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

3 ▲ または ▼ にタッチして、レベルを調整する。

● ▲ : レベルを上げる

● ▼ : レベルを下げる

4 **Q1** ~ **Q3** にタッチして、Qカーブを調整する。

● **Q1** : Qカーブ（帯域幅）を広くする

● **Q2** : **Q1** と **Q3** の中間のQカーブ（帯域幅）にする

● **Q3** : Qカーブ（帯域幅）を狭くする

5 各バンドごとに、手順 2 ~ 4 の操作を繰り返す。

● 調整したイコライザカーブを記憶するとき

→ **EQ1** ~ **EQ5** のいずれかに“ピーツ”と音がするまでタッチし続ける。

● 調整したイコライザカーブをリセットするとき

→ **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチし続ける。

知識

● 周波数レベルは-10~+10の21段階です。

● 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが-10~+10の範囲を超えた値になることがあります。

● 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

SFC（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.196）

→ **音設定** → **[SFC]**



1. はじめに

2. 基本操作をする

2 音場モードにタッチ。



スイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

- SFC (音場) の調整、記憶をするとき
→ 「SFC (音場) の調整、記憶」
(→ P.202)

知識

- SFC (音場) レベルを調整中に、別の SFC (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。
- SFC はバーチャルシアターと同時に設定できません。
- 走行中は操作できません。

■ SFC (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各 SFC (音場) モードのレベルを調整、記憶することができます。

- 1 調整したい音場モードで、▲ または ▼ にタッチ。

2 調整した音場モードを "ピーツ" と音がするまでタッチ。



- 調整した音場レベルをリセットするとき
→ **OFF** を "ピーツ" と音がするまでタッチし続ける。

知識

- 調整レベルは -5 ~ +5 の 11 段階です。

音量バランス (POSITION) の調整

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

1 各オーディオ操作画面 (→ P.196)

→ 音設定 → 「POSITION」

2 音場の中心にしたいポジションにタッチ。



- 設定したポジションを解除するとき
→ **OFF** にタッチ。
- CAR TYPE の設定をするとき
→ 「CAR TYPE の設定」 (→ P.203)

- FADER BALANCE の設定をするとき
➔ 「FADER BALANCE の設定」
(→ P.203)

知識

- POSITION (ポジショニングセレクター) は、FADER BALANCE (音量バランス) と同時に設定できません。

■ CAR TYPE の設定

- 1 音場の中心にしたいポジションにタッチ。

- 2 **CAR TYPE** にタッチ。

- 3 **CAR BODY TYPE** にタッチし、車種にタッチ。

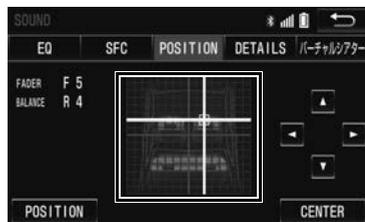


- 4 **TWEETER** にタッチし、**Yes** または **No** にタッチ。

■ FADER BALANCE の設定

- 1 **FADER BALANCE** にタッチ。

- 2 音場の中心にしたいポイントにタッチ。



- ▲、▼、◀、▶ にタッチすると、ポイントを微調整することができます。
- ▲、▼、◀、▶ にタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、タッチすると微調整することができます。
- 設定を解除するとき
➔ **CENTER** にタッチ。

知識

- FADER BALANCE (音量バランス) は、POSITION (ポジショニングセレクター) と同時に設定できません。
- 調整レベルはF (フロント) 側、R (リヤ) 側、L (左) 側、R (右) 側各 15 段階です。



音質の詳細設定

1 各オーディオ操作画面 (→ P.196)

→ 音設定 → 「DETAILS」

2 各種設定をする。



- HARMONIZER の設定をするとき
→ 「HARMONIZER の設定」 (→ P.204)
- E-EVOLUTION の設定をするとき
→ 「E-EVOLUTION の設定」 (→ P.204)
- LOUDNESS の設定をするとき
→ 「LOUDNESS の設定」 (→ P.205)
- ASL の設定をするとき
→ 「ASL の設定」 (→ P.205)

知識

- 走行中は操作できません。

HARMONIZER の設定

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動再生する音質補強レベルを設定することで、クリアなサウンドを楽しむことができます。

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA/AAC 音楽データを再生しているときおよびソースが iPod、USB メモリ、SD REC、SD、Bluetooth オーディオのときに効果があります。

- 1 **HARMONIZER** にタッチし、**Hi**、**Low**、**Off** のいずれかにタッチ。

E-EVOLUTION の設定

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動的に調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。

E-EVOLUTION 機能は、MP3/WMA/AAC 音楽データを再生しているとき、およびソースが iPod、USB メモリ、SD のときに効果があります。

E-EVOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。

- 1 **E-EVOLUTION** にタッチし、**On** または **Off** にタッチ。



- 2 **インジケータ** にタッチし、**On** または **Off** にタッチ。

- **On** に設定している場合、再生している曲の補正レベルをインジケータで表示します。(例：E-VOL+2)

- 補正レベルは -5 ~ +5 の 11 段階です。



- 3 **補正音量レベル** にタッチし、**Hi** ・ **Mid** ・ **Low** のいずれかにタッチ。

- 補正する音量レベルを設定



- 4 **反応速度** にタッチし、**Fast** ・ **Mid** ・ **Slow** のいずれかにタッチ。

- 補正レベルを設定



知識

- E-VOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
- 本機能は曲の出だしで補正レベルを算出します。レベルを算出後は音量レベルを下げる方向に補正します。
- 音源や早送り／早戻しのタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

LOUDNESS の設定

オーディオを小音量で聞いているときなど、低音・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 **LOUDNESS** にタッチし、**On** または **Off** にタッチ。

知識

- AM ラジオおよび交通情報を聞いているときは、LOUDNESS を ON してしても音の変化はありません。

ASL の設定

走行時の車速に応じて、音質や音量を自動で補正するレベルを設定することができます。

ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

- 1 **ASL** にタッチし、**Hi** ・ **Mid** ・ **Low** ・ **Off** のいずれかにタッチ。



バーチャルシアターの設定

車両に搭載されているスピーカーや車室内の状況により、低音や音の広がり感、音場定位を補正することができます。

知識

- 走行中は操作できません。
- バーチャルシアターは SFC と同時に設定できません。
- ラジオ・DS モードでは効果を得られません。

1 各オーディオ操作画面 (→ P.196)

→ **音設定** → **バーチャルシアター**

- 2 **バーチャルシアター** にタッチし、**On** または **Off** にタッチ。



- 3 **TWEETER** にタッチし、**Yes** または **No** にタッチ。

- ツィーターありの場合は **Yes** に設定してください。

- 4 **BASS** にタッチし、**Hi**・**Mid**・**Low** のいずれかにタッチ。

- 低音レベルを設定

Low < **Mid** < **Hi**
 低音レベル小 ←→ 低音レベル大

- 5 **FIELD** にタッチし、**Hi**・**Mid**・**Low** のいずれかにタッチ。

- 音場レベルを設定

Low < **Mid** < **Hi**
 音場レベル小 ←→ 音場レベル大

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード (Normal)

入力映像をよこ 4 : たて 3 (デジタルテレビは、よこ 16 : たて 9) の割合で表示します。



ワイド 1 画モード (Wide1 / Wide)

標準画モード (Normal) の映像を左右方向に均等に拡大して表示します。テレビの場合は、ディスプレイのサイズに合わせて拡大表示します。



ワイド 2 画モード (Wide 2)

標準画モード (Normal) の映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、下記ページをご覧ください。

映像	ページ
DVD	221
デジタルテレビ	267
VTR	275
iPod ビデオ	286



1. ラジオを操作する



知識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

プリセットスイッチ

記憶されている放送局を受信します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピー”と音がするまでタッチすると、その周波数を記憶します。

AUTO.P

“ピー”と音がするまでタッチすると、自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度タッチすると、解除されます。

- AUTO.P スイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「AUTO.P」の表示が出ます。

エリア

ナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示します。(GPSの自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)再度タッチすると、解除されます。

- エリアスイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「エリア .P」の表示が出ます。

< TUNE >

タッチするごとに周波数が切り替わります。

“ピッ”と音がするまでタッチすると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度タッチすると、止まります。

知識● **AUTO.P** スイッチについて

- ・ 自動で周波数を記憶させても、**AUTO.P** スイッチにタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させたチャンネルは消去されません。
- ・ 受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- ・ 同じ放送局からの受信でも、**< TUNE >** スイッチで選択し、記憶させた周波数と**AUTO.P** スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- ・ **AUTO.P** スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっても、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

● **エリア** スイッチについて

- ・ プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
- ・ AM放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

● **< TUNE >** スイッチについて

- ・ ショートカット+コントロール画面からも同様の操作ができます。（→ P.22）
- ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。



1. ラジオを操作する

交通情報を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送を受信することができます。

オーディオソース選択画面
(→ P.196)

1 **交通情報** にタッチ。

● 解除するとき

→ **ソース選択** →オーディオソースの順にタッチ。

記憶されている周波数を変更する

1 AM放送で記憶したい周波数を選択する。(→ P.208)

2 オーディオソース選択画面(→ P.196)に切り替える。

3 **交通情報** に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

知識

- 初期設定では 1620kHz にセットしてあります。
- 交通情報受信中は、周波数の切り替えはできません。

1. はじめに

この項目では、以下の操作方法を説明しています。

- 音楽ディスク（音楽 CD、MP3/WMA/AAC ディスク）
- 映像ディスク（DVD ビデオ、DVD-VR で記録したディスク）

警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

知識

- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。



2. ディスクの出し入れ

本機で利用できるディスクについては、「オーディオ&ビジュアルで利用できるメディア/データについて」(→P.315)をご覧ください。

ディスクを入れる

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

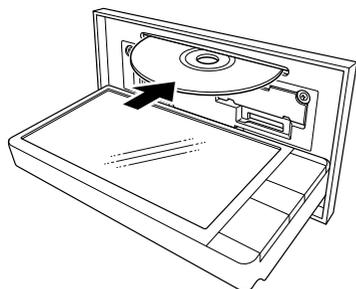
2 **▲ DISC** にタッチ。



● ディスプレイが開きます。

3 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。

● 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、ディスプレイが閉じます。



ディスクを取り出す

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

2 **▲ DISC** にタッチ。



3 ディスクを取り出したあと、
CLOSE にタッチ。

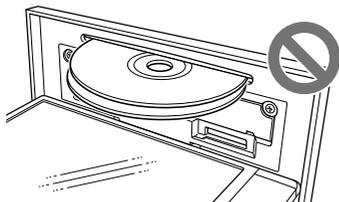
● 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を押してもディスプレイは閉じます。

⚠ 注意

- ディスクの差し込み途中に、**CLOSE** にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- ディスクを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- 挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・**6**位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
 - ・ A/T車はディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラム A/T車の場合は P または N レンジで操作してください。）
 - ・ M/T車はディスクを取り出す際、1・3・5・**6**ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

注意

- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびする恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- ディスクが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知識

- **▲ DISC** にタッチしても CD または DVD が取り出せない場合は、**AUDIO** を 5 秒以上押しと取り出すことができます。



3. 音楽再生中の操作

本機で使用できるディスクやMP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。



知識

- 再生している CD にアーティスト名などの情報が収録されていない場合、地図 SD のデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

▶▶ (ファイル/トラック名)

タッチすると、次のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

◀◀ (ファイル/トラック名)

ファイル/トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ファイル/トラック名

▶ 音楽 CD の場合
トラックリストを表示します。



← 再生したいトラックにタッチ

• ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

▶ MP3/WMA/AAC ディスクの場合
ファイルリストを表示します。



← 再生したいファイルにタッチ

• ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイルが再生されます。

< / > (フォルダ名) (MP3/WMA/AAC ディスクのみ)

フォルダが切り替わります。

次のページに続く



フォルダ名 (MP3/WMA/AAC ディスクのみ)

フォルダリストを表示します。



- フォルダにタッチと、フォルダ内の先頭のファイルが再生されます。
- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダ内のファイルが再生されます。

録音開始 (音楽 CD のみ)

Audio SD への録音を開始します。(→ P.240)

RAND (ランダム)

▶ 音楽 CD の場合

タッチするたびに、ランダム再生 (RAND) →ランダム解除が切り替わります。

▶ MP3/WMA/AAC ディスクの場合

タッチするたびに、フォルダ内でランダム再生 (RAND) →全フォルダからランダム再生 (FLD.RAND) →ランダム解除の順に切り替わります。

RPT (リピート)

▶ 音楽 CD の場合

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生 (RPT) →リピート解除が切り替わります。

▶ MP3/WMA/AAC ディスクの場合

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生 (RPT) →再生中のフォルダをリピート再生 (FLD.RPT) →リピート解除の順に切り替わります。

|| (一時停止) / ▶ (再生)

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

知識

- ◀◀ / ▶▶ (ファイル名/トラック名) スイッチについて
・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) から同様の操作ができます。

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3、WMA または AAC 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけしないでください。

知識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RW、シースルーディスクはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。(消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。)
- パケットライト記録ディスクには対応していません。(例えば、DirectCD などで作成したディスクには対応していません。)
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)



4. 映像再生中の操作

以下の映像を再生することができます。

- DVD ビデオ (ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む)
- DVD-VR (ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW)

詳しくは、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

- 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に⊗が表示されると、その操作を行うことはできません。

▶ DVD ビデオ再生時



▶ DVD-VR 再生時



警告

- DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎる場合がありますので、注意してください。

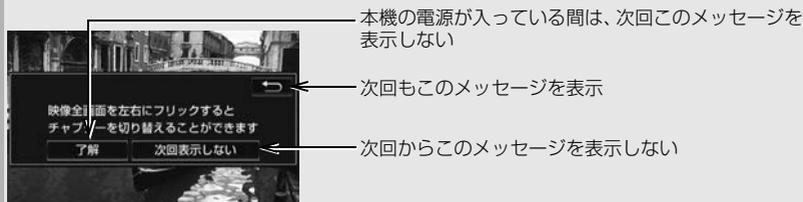
音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

知識

- ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにディスクモードにすると、ディスク読み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。
- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ディスクによっては読み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- メニュー項目の画面など音声が入録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で DVD をご覧になることができます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて **全画面** または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。**了解** ・ **次回表示しない** ・ **↶** のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、チャプターが切り替わります。(→ P.20)



次のチャプターに切り替わります。

タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。



映像を一時停止します。再度タッチすると、停止した位置から再生します。



映像を止めます。再度タッチすると、再生します。



チャプターの頭出しをします。連続してタッチすると、前のチャプターに切り替わります。

タッチし続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

次のページに続く



TITLE ▲ / TITLE ▼ (DVD-VR 再生時のみ)

プログラムまたはプレイリストが切り替わります。

各種切替

各種設定の切り替えをします。(→ P.221)

トップメニュー / メニュー (DVD ビデオ再生時)

ディスク特有のメニュー項目を操作できます。



← 選んだ項目を実行

メニュー項目を選択

- ディスクによっては、再生がはじまると、メニューが表示されます。
- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
→ **選択** にタッチ。
- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。

知識

- **⏮** / **⏭** スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) からともチャプターの切り替えや早送り/早戻しの操作ができます。
 - ・ ディスクにより、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。
- **トップメニュー** / **メニュー** スイッチについて
 - ・ 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。(表内の画面は一例です。)
- **■** (停止) / **▶** (再生) スイッチについて
 - ・ ディスクにより、停止位置から再生する機能 (レジューム再生) に対応していない場合があります。

設定画面について

DVD に関する設定は、各種切替画面、初期設定画面から変更できます。

各種切替画面について

DVD 操作画面 (→ P.218)

- 1 **各種切替** にタッチ。
- 2 各項目を設定する。

▶DVD ビデオ再生時



▶DVD-VR 再生時



- **DVD 初期設定** にタッチすると、初期設定画面が表示されます。(→ P.225)



サーチ

タイトル番号を入力し **完了** にタッチすると、そのタイトル番号の映像を再生します。



リターン (DVD ビデオのみ)

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

ページ送り (DVD-VR のみ)

静止画が収録されているディスクの場合、タッチすることにより静止画が切り替わります。

音声

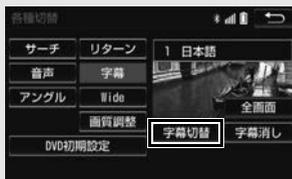
音声複数収録されているディスクの場合、**音声切替** にタッチすることにより、音声切り替わります。



- 現在選択中の音声は、DVD-VR 再生時には表示されません。

字幕

字幕複数収録されているディスクの場合、**字幕切替** にタッチすることにより、字幕言語が切り替わります。



- 字幕消し** にタッチすると、字幕が消えます。再度タッチすると、表示されます。
- 字幕消し** および現在選択中の字幕は、DVD-VR 再生時には表示されません。

アングル (DVD ビデオのみ)

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、**アングル切替** にタッチすることにより、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク (→ P.225) が表示されます。



Wide

Normal ・ **Wide1** ・ **Wide2** のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」(→ P.207) をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」(→ P.44) をご覧ください。

音声モード (DVD-VR のみ)

音声多重で収録されているディスクを再生中、**主/副** にタッチすることにより、主音声→副音声→主・副音声→主音声の順に切り替わります。



次のページに続く



再生モード (DVD-VR のみ)

ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。



- **プレイリスト** または **プログラム** にタッチします。

DVD 初期設定

プレーヤーをお好みの設定に変更します。(→ P.225)

知識

- ディスクにより、操作できなったり、異なる動作をすることがあります。

初期設定画面について

各種切替画面で、**DVD 初期設定** にタッチすると表示されます。



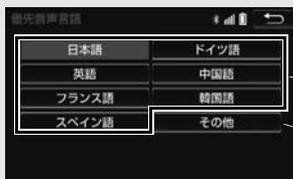
- 初期設定の状態に戻るとき

→ **初期状態** にタッチ。

※ 視聴制限以外の項目が初期設定の状態に戻ります。

音声

優先して聞きたい音声の言語を設定します。

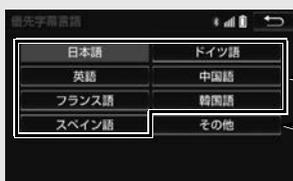


出力させる音声言語にタッチ

言語コード (→ P.227) を指定する場合は、**その他** → 言語コードを入力 → **完了** の順にタッチ

字幕

優先して表示したい字幕の言語を設定します。

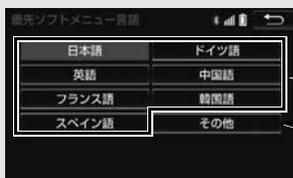


表示させる字幕言語にタッチ

言語コード (→ P.227) を指定する場合は、**その他** → 言語コードを入力 → **完了** の順にタッチ

ソフトメニュー

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。



表示させるメニュー言語にタッチ

言語コード (→ P.227) を指定する場合は、**その他** → 言語コードを入力 → **完了** の順にタッチ

次のページに続く



4. 映像再生中の操作

マルチアングルマーク

マルチアングル (→ P.231) で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを表示する／しないを選択できます。



← マルチアングルマーク

視聴制限

視聴制限レベル (→ P.231) を設定します。



← 4桁の暗証番号を入力

← 入力後にタッチし、続けて視聴制限レベルの選択

- 暗証番号が未設定のとき (「—」が表示されているとき) は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 暗証番号入力時、**修正** に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化 (未設定の状態) にすることができます。

オートスタート (DVD ビデオのみ)

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生する／しないを選択できます。

音声ダイナミックレンジ

音声の最大値と最小値の比を、**MAX** ・ **STD** ・ **MIN** の中から選択できます。

- **MAX** : 最大ダイナミックレンジ
- **STD** : 標準ダイナミックレンジ
- **MIN** : 最小ダイナミックレンジ

映像出力切替

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

- **16:9 (ワイド)** : 通常のワイドサイズで表示されます。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、左右両端が黒表示または左右に伸びて表示されます。
- **4:3 (レターボックス)** : 上下両端が黒く表示された映像です。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。
- **4:3 (パンスキャン)** : 左右両端がカットされた映像です。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

知識

- **オートスタート** スイッチについて
 - ・ ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。
- **映像出力切替** スイッチについて
 - ・ 後席ディスプレイなどの別のディスプレイを接続した場合、本機で設定した画面サイズにより、後席ディスプレイで表示されるサイズは異なります。

■ 言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ベルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モンダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブジャリア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフカース語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタル語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウイ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ポラビュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語



5. 知っておいていただきたいこと

DVD 再生中の操作について

DVD ではディスクのソフト作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

暗証番号入力画面が表示されたときは

▶ DVD ビデオ

再生保護や視聴年齢制限が設定されているディスクは、挿入時や操作画面で **全画面** や **暗証番号入力** にタッチしたときに再生プロテクト解除画面が表示されます。

- 1 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

DVD について

再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード) について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域 (国) を表す地域番号が表示されているものがあります。地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」(日本を含む番号) が含まれていない、または「ALL」(全世界向け) と表示されていないディスクは、この DVD プレーヤーで再生させることができません。このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC/PAL	カラーテレビの方式。
	音声のトラック数。 • 数字が収録されている音声数。
	字幕の言語数。 • 数字が収録されている言語数。
	アングルの数。 • 数字が収録されているアングル数。
	選択することができる画面モード。 • 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面。
	
	再生可能な地域番号。 • ALL は全世界向け、数字は地域番号。
	



ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■CHAPTER

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数の CHAPTER で構成され、それぞれの CHAPTER に順につけられた番号をいいます。

知識

- ディスクによっては、再生中にタイトル番号、CHAPTER 番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD プレーヤーの用語について

より正しく有効に DVD を利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」(エムペグ2)が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能のひとつです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

DVD ビデオでは、1 から 8 のレベルで視聴制限を設定することができます。

- レベル 1: 子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
(一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- レベル 2 ~ 7: 子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。
(成人向けのディスクを再生させることはできません。)

- レベル 8: すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル(カメラの位置)で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ(多言語)

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号(リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョンコード)が設けられています。再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について」をご覧ください。(→ P.228)

音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオ・AAC に対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する(ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch) 完全ディスクリット(分割)方式です。



5. 知っておいていただきたいこと

Manufactured under license from
Dolby Laboratories.

Dolby and the double-D symbol are
trademarks of Dolby Laboratories.



■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz / 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは

48kHz / 16bit ~ 96kHz / 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

■AAC (Advanced Audio Coding)

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。

リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. お使いになる前に

Audio SD について

Audio SD で次のファイルを再生することができます。

- パソコンで記録した音楽ファイル
- 本機で録音した音楽ファイル

パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

Audio SD に記録された音楽ファイル (MP3、WMA、AAC) を再生することができます。

本機で利用できる音楽ファイル (パソコンで記録した場合) については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

知識

- 音楽ファイルを Audio SD に記録する場合、本機で音楽 CD を録音したときに作られる録音用フォルダ (SDA) に記録すると、その音楽ファイルは再生することができます。

本機で記録した音楽ファイルの再生について

音楽 CD を Audio SD に録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

本機で利用できる Audio SD については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

知識

- 録音のしくみについて
 - ・ 本機は音楽 CD を AAC (Advanced Audio Coding) 圧縮技術で圧縮して録音します。
- Audio SD に録音できるデータは、CD (アルバム / 8 cm ディスクを除くシングルディスク) の音楽データのみです。ただし、次のディスクは録音できません。
 - ・ オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW、録音が禁止されている CD^{*1}、^{*2}
 - ・ MP3・WMA・AAC を記録した CD-R や CD-RW
 - ・ DTS-CD
- ^{*1} SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しているため
- ^{*2} パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトの仕様に依存されます。
- 録音できる曲数について
 - ・ 最大 9999 曲まで録音できます。ただし、録音する Audio SD の容量や曲の長さによっては、最大 9999 曲まで録音することができません。
 - ・ 録音すると、録音データ管理用として約 100MB が使用されます。そのため、実際の容量よりも録音可能なデータが少なくなることがあります。
- 録音したデータについて
 - ・ 本機で音楽 CD を録音すると、Audio SD 内に録音用フォルダ (SDA) ができます。録音用フォルダ (SDA) 内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。
 - ・ 録音された音楽データはパソコンに保存することができますが、暗号化されたデータであるため、パソコンや他の機器で再生することはできません。パソコンに保存した録音データを再生する場合、録音したときと異なる Audio SD にデータをコピーしないでください。録音したときと同じ Audio SD に同じフォルダ構成で保存してください。



2. Audio SD の出し入れ

本機で使用できる Audio SD については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

Audio SD を入れる

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット+コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

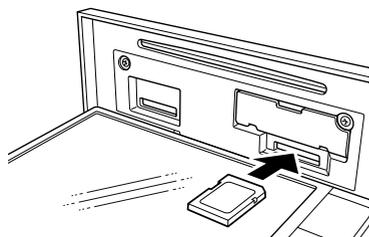
2 **▲ AUDIO SD** にタッチ。



● ディスプレイが開きます。

3 挿入口に Audio SD を挿入する。

● ラベル面を上にして、挿入口にまっすぐ
奥まで挿入します。



4 **CLOSE** にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を
押してもディスプレイは閉じます。

Audio SD を取り出す

1 メニュー画面 (→ P.21) または
ショートカット + コントロール画面
(→ P.22) → **TILT・EJECT**

2 **AUDIO SD** にタッチ。



3 Audio SD を軽く押し取り出す。

4 **CLOSE** にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ (→ P.12) を押してもディスプレイは閉じます。

警告

- Audio SD を取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- Audio SD を本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがする恐れがあります。
- Audio SD の差し込み途中に、**CLOSE** にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- Audio SD は ▶ マークを奥にして、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込みませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に Audio SD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー (“P” 位置) もしくはシフトレバー (1・3・5・R 位置) やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。



注意

- Audio SD を取り出す際、下記に注意してください。
 - ・ A/T 車は Audio SD を取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A/T 車の場合は P または N レンジで操作してください。)
 - ・ M/T 車は Audio SD を取り出す際、1・3・5・**R** ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 本機から Audio SD 取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。Audio SD を破損する恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- Audio SD が押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、Audio SD を傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、Audio SD を挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

3. Audio SD に録音する

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、地図 SD に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote®メディアデータベースについて

- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。
- Gracenote, Inc. 提供のCD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



知識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。



Gracenote®メディアデータ ベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

- 本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的处理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用してのお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとしません。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。

Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。

Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとしません。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present
Gracenote

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。したがって、本機で録音した SD メモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「一般社団法人日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- 車両のエンジンスイッチを ACC にして録音する場合、エンジンスイッチを ON にすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間の無音部分が無い CD）を録音する場合、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。
- 一度車両のバッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約 2 分間は録音ができません。



録音する

- 1 Audio SD を挿入する。(→ P.234)
- 2 録音したい CD を挿入する。
- 3 CD 操作画面を表示する。(→ P.214)
- 4 **録音開始** にタッチ。



- 再生している CD の録音を開始します。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

- 1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。(→ P.242)
 - 2 録音したい CD を挿入する。
- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

- 1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。(→ P.242)
- 2 録音したい CD を挿入する。
- 3 CD 操作画面を表示する。(→ P.214)
- 4 **録音開始** にタッチ。
- 5 録音したい曲にタッチ。



- 走行中は曲を選択することはできません。
- 選択を解除するとき
➔ 選択されている曲にタッチ。

- 6 **完了** にタッチ。

知識

- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。

知識

- 録音が完了した後、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなどが原因で録音が完了していない場合、トラックリスト画面 (→ P.244) に  が表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、約 5 秒間音楽が停止します。
- Audio SD の容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。
- 通常の数で再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「REC」と赤字で表示されます。
- 録音中は、**RPT**、**RAND**、トラック名の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しもできません。
- 録音中の選曲は、録音済の曲のみ操作できます。
- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
 - ・ エンジンスイッチを OFF (LOCK) にしたとき
 - ・ オーディオの電源を OFF にしたとき
 - ・ CD を取り出したとき
 - ・ 録音した曲数が 9999 曲になったとき
 - ・ Audio SD の容量がいっぱいになったとき
- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

知識

- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、**RPT**、**RAND**、トラック名の各スイッチは操作できません。他のオーディオソースに切り替えてから再度 DISC モードに切り替えると操作できるようになります。

録音を中止する

1 CD 操作画面を表示する。
(→ P.214)

2 **録音停止** にタッチ。

**知識**

- 録音中は、操作画面に「♪ AAC」と表示されます。



録音の設定を変更する

CD の再生と同時に自動的に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「オーディオ」 → **CD ⇒ SD 録音設定**

2 録音方法にタッチ。



- 自動録音を設定するとき
→ **自動録音** にタッチし、**する** または **しない** にタッチ。
- 選んで録音を設定するとき
→ **自動録音** にタッチし、**しない** にタッチ。**選んで録音** にタッチし、**する** にタッチ。

知識

- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

録音したデータ容量を確認する

今までに Audio SD 内に録音した曲数や、アルバム数を表示することができます。

1 **MENU** ▶ **情報** → **データ管理**

2 Audio SD を挿入する。
(→ P.234)

3 **確認** にタッチ。

- Audio SD の容量が表示されます。

知識

- データ管理画面の円グラフで表示される空き領域は、Audio SD の空き容量と異なることがあります。そのため、画面で空き領域が表示されていても録音できない場合や、空き領域の表示がなくても録音できる場合があります。

4. 音楽ファイル再生中の操作

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」（→P.315）をご覧ください。

▶パソコンで記録した音楽再生時



▶本機で録音した音楽再生時



知識

- 本機で録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「(NO DATA)」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK 1、TRACK 2…と表示されます。



4. 音楽ファイル再生中の操作

▶▶ (ファイル/トラック名)

タッチすると、次のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

◀◀ (ファイル/トラック名)

ファイル/トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ファイル/トラック名

ファイル/トラックリストを表示します。



再生したいファイル/トラックにタッチ

- ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイル/トラックが再生されます。

< / > (フォルダ/アルバム名)

フォルダ/アルバムが切り替わります。

フォルダ (パソコンで記録した音楽再生時のみ)

フォルダリストを表示します。



フォルダ/アーティスト/アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダやアルバム内のファイルが再生されません。

アルバム名（本機で録音した音楽再生時のみ）

アルバムリストを表示します。



- アルバム選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるアルバム内のトラックが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

||（一時停止） / ▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

知識

- ◀◀ / ▶▶（ファイル名／トラック名）スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面（→P.22）からも同様の操作ができます。
- フォルダリストについて
 - ・ 「**アルバム**」、 「**アーティスト**」 については、タグ情報（→P.319）があるファイルのみ分類して表示されます。
- アルバムリストについて
 - ・ 「**マイベスト**」 は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→P.247）
 - ・ トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（ 「**アーティスト**」、 「**録音日順**」、 「**ジャンル**」 ）を変更すると再生順が変わります。



MP3/WMA/AAC の再生について

Audio SD に MP3/WMA/AAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC ファイルを表示できないことがあります。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけないでください。

知識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)

5. 本機で記録したデータを編集する

本機で Audio SD に音楽を録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などを行うことができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

Audio SD の編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集

2 各項目の編集・確認をする。



- サウンドライブラリ編集メニュー画面から次のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	247
マイベストの編集	248
・マイベストの名称修正	248
・トラックの追加	248
・トラックの並び替え	249
・トラックの削除	249
・マイベストの削除	250

項目	ページ
アルバム情報の修正	250
・アルバムタイトル、アルバム読み修正	250
・アーティスト名、アーティスト読み修正	250 251
・ジャンル修正	251
・トラックタイトル、トラック読み修正	251
・タイトル情報の再取得	252
・タイトル情報の削除	252
アルバムの削除	253
トラックの削除	253
タイトル情報の取得	254

知識

- 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集を行うことができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 新規作成

2 マイベストの名称を入力する。

3 **完了** にタッチ。

5. 本機で記録したデータを編集する

4 登録したい曲の含まれているアルバムにタッチ。

- 「アーティスト」 、 「録音日順」 、 「ジャンル」 、 「マイベスト」 から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 登録したい曲にタッチ。

- 選択を解除するとき
→ 選択されている曲にタッチ。

6 「登録」 にタッチ。



7 「完了」 にタッチ。

- 続けて曲を追加するとき
→ 「追加」 にタッチ。(手順 4へ)
・ 同様の手順で追加できます。

知識

- 同じ名称は重複して登録できません。
- マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

作成したマイベストの修正や削除をすることができます。

マイベストの名称を修正する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 名称修正 →
(修正したいマイベスト)

2 名称を入力する。



3 「完了」 にタッチ。

知識

- 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 編集 →
(追加したいマイベスト) →
トラックを追加

2 追加したい曲が含まれているアルバムにタッチ。

- 「アーティスト」**】**、「録音日順」**】**、「ジャンル」**】**、「マイベスト」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 追加したい曲にタッチ。

- 選択を解除するとき
→ 選択されている曲にタッチ。

4 「登録」にタッチ。



5 「完了」にタッチ。

- 続けて曲を追加するとき
→ 「追加」にタッチ。(手順 2へ)
- 同様の手順で追加できます。

知識

- 1つのマイベストには99曲まで登録できます。

曲を並び替える

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの編集 →
(並び替えをしたいマイベスト) →
トラックを並び替え

2 移動したい曲にタッチ。

3 移動したい場所の「挿入」にタッチし、「完了」にタッチ。



曲を削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの編集 →
(消去したい曲が含まれているマイベスト)
→ **トラックを削除**

2 削除したい曲にタッチし、「削除」にタッチ。



- 選択を解除するとき
→ 選択されている曲にタッチ。

3 「はい」にタッチ。



5. 本機で記録したデータを編集する

マイベストを削除する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
 「オーディオ」 →
 サウンドライブラリ編集 →
 マイベストの 編集 →
 (消去したいマイベスト) →
 このマイベストを削除

- 2 はい にタッチ。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
 「オーディオ」 →
 サウンドライブラリ編集 →
 アルバムの 修正

- 2 編集したいアルバムにタッチ。

- 「アーティスト」、 「録音日順」、 「ジャンル」 から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

- 3 各項目を編集する。



アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
 「オーディオ」 →
 サウンドライブラリ編集 →
 アルバムの 修正 → アルバムを選択
 → アルバム または アルバム読み

- 2 アルバムまたはアルバム読みを入力し、完了 にタッチ。



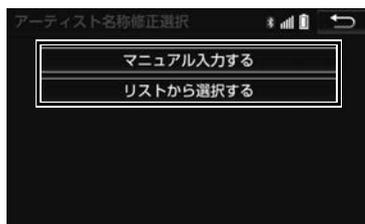
知識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を変更する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
 「オーディオ」 →
 サウンドライブラリ編集 →
 アルバムの 修正 → アルバムを選択
 → アルバムアーティスト

- 2 編集方法にタッチ。



■ マニュアル入力するときは

- 1 **マニュアル入力する** にタッチ。
- 2 アーティスト名を入力し、**完了** にタッチ。

■ リストから選ぶときは

- 1 **リストから選択する** にタッチ。
- 2 アーティスト名にタッチ。

知識

- リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

■ アーティスト読みを変更する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → **アルバムを選択**
→ **アルバムアーティスト読み**
- 2 アーティスト読みを入力し、**完了** にタッチ。



知識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

■ ジャンルを変更する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → **アルバムを選択**
→ **ジャンル**
- 2 ジャンルを選択し、**完了** にタッチ。



■ トラックタイトル、トラック読みを変更する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → **アルバムを選択**
→ **トラック名を修正** →
(修正したいトラック) → **トラック**
または **トラック読み**
- 2 トラックまたはトラック読みを入力し、**完了** にタッチ。

知識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。



5. 本機で記録したデータを編集する

タイトル情報を再取得する

録音時に地図 SD のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択
→ SD で検索

- 複数候補があるとき
→ タイトルにタッチ。

- 2 登録 にタッチ。



知識

- 再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

- CD タイトル検索画面は、CD タイトルを検索しているときに表示されます。



- ・ 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
- ・ 中止するとき
→ 中止 にタッチ。

タイトル情報を削除する

録音時に地図 SD カードのデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、その情報を削除することができます。タイトル情報が削除された音楽データについては、専用のアプリケーションを使用して、個別にタイトル情報を取得することができます。(→ P.254)

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択
→ タイトル情報を削除

- 2 はい にタッチ。

アルバムを削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの削除

2 削除したいアルバムにタッチ。

- **「アーティスト」**、**「録音日順」**、**「ジャンル」** から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 **このアルバムを削除** にタッチ。



4 **はい** にタッチ。

知識

- 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

トラックを削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの削除

2 削除したい曲の含まれているアルバムにタッチ。

- **「アーティスト」**、**「録音日順」**、**「ジャンル」** から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 **トラックを削除** にタッチ。



4 削除したい曲にタッチ。

- 選択を解除するとき
 → 選択されている曲にタッチ。

5 **削除** にタッチ。

6 **はい** にタッチ。

知識

- 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。



5. 本機で記録したデータを編集する

タイトル情報を個別に取得する

タイトル情報が付与されていない音楽データは、専用のアプリケーションを使用して、個別にタイトル情報を取得し、付与することができます。
 ※ 専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

タイトル情報をダウンロードする

- 1 タイトル情報が付与されなかった Audio SD を取り出す。(→ P.235)
- 2 パソコンで専用サイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/cddb.html>) にアクセスし、専用のアプリケーションをインストールする。
- 3 専用のアプリケーションを使用して、タイトル情報をダウンロードする。

タイトル情報を取得する

- 1 タイトル情報をダウンロードした Audio SD を挿入する。(→ P.234)
- 2 **MENU** を押す。
- 3 **設定・編集** にタッチ。
- 4 **オーディオ** にタッチ。
- 5 **サウンドライブラリ編集** にタッチ。

6 **SD から取得** にタッチ。

- タイトル情報の取得が終わると自動的に画面が切り替わります。
- 中止するとき
 ➔ **中止** にタッチ。

1. 地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面とTV局リスト画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけに なります。)

注意

- miniB-CAS カードを本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがするおそれがあります。

注意

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

知識

- デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

miniB-CAS カードについて

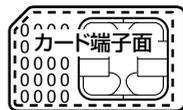
miniB-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ず miniB-CAS カードを本機に挿入してください。(→ P.256)

- miniB-CAS カードの動作確認について
→ 「設定画面について」
(→ P.267)

取り扱いについての注意

より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ (<http://www.b-cas.co.jp>) をご覧ください。

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく挿入してください。
- miniB-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。(ワンセグ放送は視聴することができません。)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- カード端子面には手を触れないでください。



- カード端子面を手で触れた場合、手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。



1. 地上デジタルテレビの操作について

- 端子面に触れてしまい、カードの読み取り不良が発生した場合には、工業用アルコール（純度の高いエタノール）を染み込ませた綿棒で、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

miniB-CAS カードの交換・廃棄について

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。

カードの故障や本機の廃棄などにより miniB-CAS カードの交換、廃棄が必要になったときは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。

電話番号 0570-000-250

受付時間 AM10:00～PM8:00
(年中無休)

miniB-CAS カードの出し入れ

miniB-CAS カードの入れかた

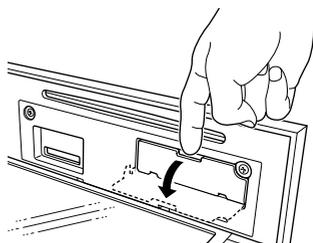
1 メニュー画面（→ P.21）または
ショートカット+コントロール画面
（→ P.22）→ **TILT・EJECT**

2 **▲ AUDIO SD** にタッチ。



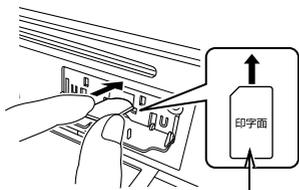
- ディスプレイが開きます。

3 フタを開ける。



4 miniB-CAS カードスロットに
miniB-CAS カードを挿入する。

- miniB-CAS カードを差し込むときはカード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。
- miniB-CAS カードは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



miniB-CAS カードは印字面を上、端子面を下にしてください。

5 フタを閉めて、**CLOSE** にタッチ。

- miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。(→ P.267)

miniB-CAS カードの取り出し方

1 メニュー画面 (→ P.21) またはショートカット + コントロール画面 (→ P.22) → **TILT・EJECT**

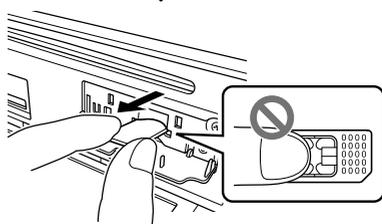
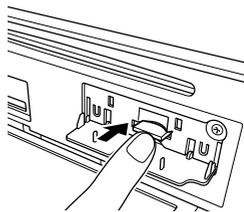
2 ▲ **AUDIO SD** にタッチ。



- ディスプレイが開きます。

3 フタを開ける。

4 miniB-CAS カードを軽く押して (1 回)、ゆっくりと miniB-CAS カードを引き出す。



- miniB-CAS カードは水平方向に引き出してください。
- miniB-CAS カードを取り出すときは、端子面に指が被らないようにつまみ、半分まで引き出してください。その後、カード側面を挟むように持って引き出してください。

5 フタを閉める。

6 **CLOSE** → **ディスプレイを Close する** の順にタッチ。



1. 地上デジタルテレビの操作について

警告

- miniB-CAS カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- miniB-CAS カードの出し入れの途中に、**CLOSE** にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- miniB-CAS カードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
- miniB-CAS カードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
- miniB-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。
- ご使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。

注意

- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・**Ⓔ** 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- miniB-CAS カードを取り出す際、下記に注意してください。
 - ・ A/T 車は miniB-CAS カードを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。（コラム A/T 車の場合は P または N レンジで操作してください。）
 - ・ M/T 車は miniB-CAS カードを取り出す際、1・3・5・**Ⓔ** ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 本機から miniB-CAS カードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。miniB-CAS カードを破損する恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- miniB-CAS カードが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、miniB-CAS カードを傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、miniB-CAS カードを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

初回起動時の設定

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

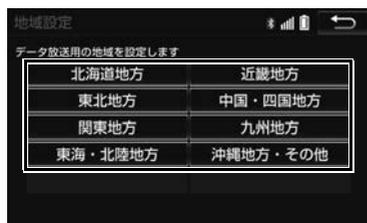
オーディオソース選択画面 (→ P.196)

- 1 **TV** にタッチ。
- 2 **開始** にタッチ。
- 3 郵便番号を入力し、**次へ** にタッチ。



- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

4 地域にタッチ。



- 東京都島部 (伊豆・小笠原諸島) と鹿児島県島部 (南西諸島の鹿児島県域) にお住まいの方
→ **沖縄地方・その他** にタッチ。

5 都道府県にタッチし、**次へ** にタッチ。

6 地域にタッチ。

7 都道府県にタッチし、**スキャン** にタッチ。



- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき
→ **キャンセル** にタッチ。
- 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

8 **OK** にタッチ。

9 **完了** にタッチ。

(知識)

- プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。(→ P.272)
- 受信する地域により、放送局を表示するまで約 5 分程度かかる場合があります。
- 引越などでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。(→ P.272)



2. テレビの操作



知識

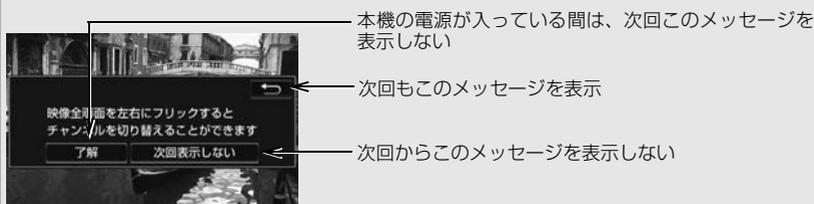
- 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を次に説明します。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・ トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組 (AAC5.1ch 放送) を放送していることがあります。本機は AAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席でテレビをご覧になることができます。

プリセットスイッチ

記憶されているチャンネル放送局を受信します。

全画面／映像

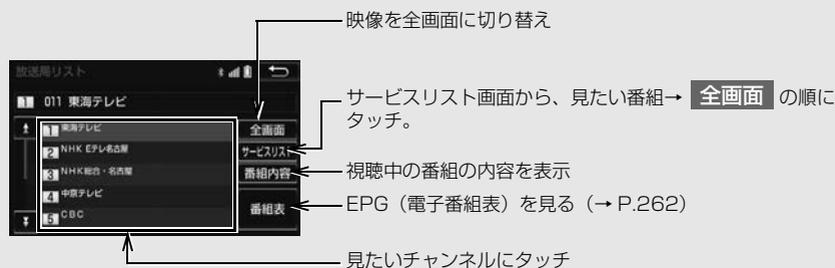
本機の電源を入れたあと、初めて **全画面** または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。**了解** ・ **次回表示しない** ・ **↶** のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。(→ P.20)

放送局リスト

放送局リスト画面を表示します。



設定

設定画面を表示します。(→ P.267)

d 操作

データ放送操作画面を表示します。(→ P.264)



2. テレビの操作

知識

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切替がON(する)に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。(→ P.267)
- 地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル(放送局)で複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
- ショートカット+コントロール画面(→ P.22)で◀◀または▶▶にタッチしてもチャンネルを切り替えることができます。

EPG(電子番組表)を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。



1 デジタルテレビ操作画面

(→ P.260) → 放送局リスト → 番組表

知識

- TV番組表画面から次の操作が可能です。
 - ・ DTV映像画面の表示：(番組名) → 全画面 の順にタッチ。
 - ・ チャンネルの切り替え：(放送局名) にタッチ。
- TV番組表画面は現在から最大7日分表示することができますが、放送局の番組数によっては7日分表示されないことがあります。

番組の情報を見る

番組表から見たい番組の情報を見ることができます。

1 見たい番組名にタッチする。

- **表示切替** にタッチするごとに、ラテ欄表示とリスト表示が切り替わります。

▶ 番組表画面（ラテ欄表示）



▶ 番組表画面（リスト表示）



- 番組表画面（ラテ欄表示）表示中、番組

数が多くて表示できない場合は、**↓** が表示されます。その時間枠にタッチすると、番組がリスト表示されます。見たい番組にタッチすると、番組内容画面（**2**の画面）が表示されます。

- 日付を切り替えるとき

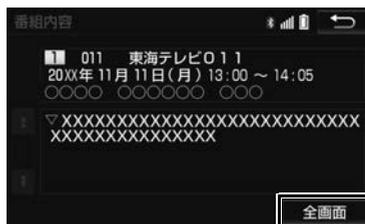
➡ 日付スイッチの **<** または **>** にタッチ。

- 時間帯を切り替えるとき

➡ 時間帯スイッチの **▲** または **▼** にタッチ。

- 他のチャンネルの番組表を見たいとき
➡ チャンネルスイッチの **<** または **>** にタッチ。

2 **全画面** にタッチ。



データ放送の操作について

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。



デジタルテレビ操作画面（→ P.260）

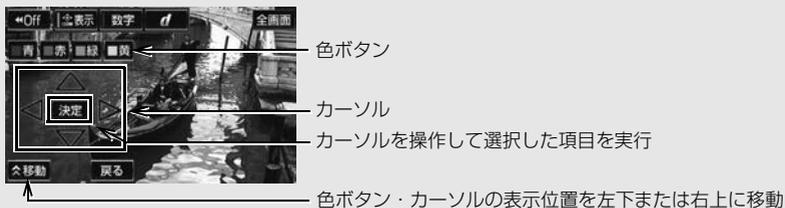
- 1 **d 操作** にタッチ。
- 2 **d** にタッチ。
 - データ放送が表示されます。
 - データ放送画面を解除するとき
→ 再度 **d** にタッチ。

◀ Off

スイッチの表示を消します。

 表示

色ボタンとカーソルでデータ放送を操作します。



数字

10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。



戻る

データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知識

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に **d** が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。



緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。**OK** にタッチすると、緊急警報放送を見ることができます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

3. テレビの設定をする

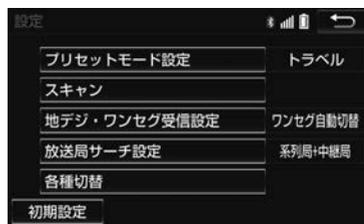
設定画面について

テレビに関する設定は、設定画面、各種切替画面、初期設定画面から変更できます。

1 デジタルテレビ操作画面

(→ P.260) → **設定**

2 各項目を設定する。



- **各種切替** にタッチすると、各種切替画面が表示されます。(→ P.269)
- **初期設定** にタッチすると、初期設定画面が表示されます。(→ P.270)

プリセットモード設定

プリセットモード（ホーム／トラベル／エリア）を切り替えます。

- **ホーム**：ホームプリセットで記憶したチャンネル（→ P.259、P.271）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
- **トラベル**：旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。トラベルに設定した後、“ピッ”と音がするまで **スキャン** にタッチし続けると、選局を開始します。選局後、**OK** にタッチすると、チャンネルが記憶されます。
- **エリア**：自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

地デジ・ワンセグ受信設定

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ放送を切り替えます。

- **ワンセグ自動切替**：地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
- **地デジ**：地上デジタルテレビ放送に固定します。
- **ワンセグ**：ワンセグ放送に固定します。

次のページに続く

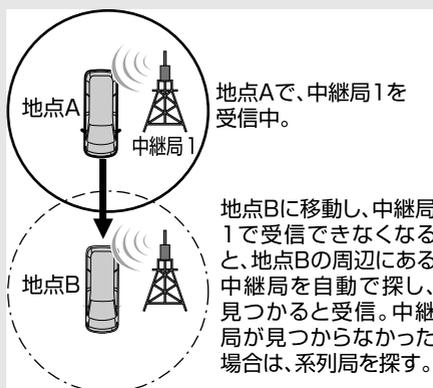


3. テレビの設定をする

放送局サーチ

走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。

- **系列局 + 中継局** : 受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。中継局が見つからない場合は、系列局をサーチします。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- **中継局** : 受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- **OFF** : 放送局のサーチを行いません。



各種切替

各種切替画面を表示します。(→ P.269)

知識

- **地デジ・ワンセグ受信設定** スイッチについて
 - ・ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
 - ・放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - ・自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
 - ・ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替をON(する)にしても、ワンセグ放送に切り替わりません。
- **放送局サーチ** スイッチについて
 - ・放送局サーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。
 - ・系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
 - ・放送局のサーチ中、後席ディスプレイに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
 - ・プリセットモードで「エリア」を選択しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。

各種切替画面について

設定画面で **各種切替** にタッチすると表示されます。次の項目を設定することができます。



映像

地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。タッチするごとに、映像が切り替わります。

音声

地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。タッチするごとに、音声が切り替わります。

主/副

タッチするごとに、主音声→副音声→主/副音声の順に切り替わります。

文字スーパー

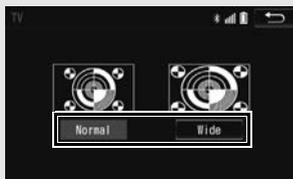
地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。タッチするごとに、日本語→英語→表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

字幕

地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。タッチするごとに、日本語→英語→字幕なしの順に字幕が切り替わります。

Wide

Normal または **Wide** にタッチすると、画面モードが切り替わります。



• 画面の表示については「画面モードについて」(→ P.207) をご覧ください。



次のページに続く

3. テレビの設定をする

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

● 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」(→ P.44)をご覧ください。

知識

- **映像** スイッチについて
・ 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。
- **主/副** スイッチについて
・ 副音声または主/副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

初期設定画面について

設定画面で **初期設定** にタッチすると表示されます。次の項目を設定することができます。



ホームプリセット設定

ホームプリセットの設定をします。(→ P.271)

地域設定

居住地域の設定をします。(→ P.272)

B-CAS カード情報

miniB-CAS カードの情報を確認できます。

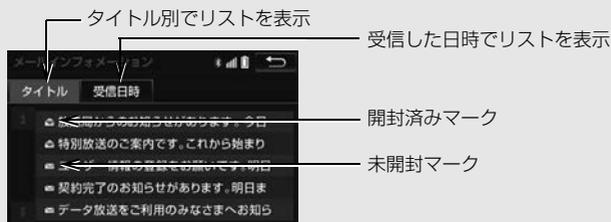


← miniB-CAS カードの動作確認をする

- 動作確認後、**OK** にタッチ。
- 異常を検出したときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

メールインフォメーション

放送局から受信したメールを確認できます。



- 見たいメールを選択すると、メール詳細画面が表示されます。

ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの2種類があります。

知識

- 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

チャンネルをスキャンをする

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.260）

→ 設定 → 初期設定 →
ホームプリセット設定

- 2 **初期スキャン** にタッチまたは **追加スキャン** に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。



- **初期スキャン** にタッチしたとき
 - ➔ 地域→都道府県→ **スキャン** の順にタッチ。
 - 初期スキャン中画面または追加スキャン中画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。
 - 受信を中止したいとき
 - ➔ **キャンセル** にタッチ。
- 3 **OK** にタッチ。
 - 4 **完了** にタッチ。



3. テレビの設定をする

■プリセットスイッチの内容を変更する

1 デジタルテレビ操作画面 (→ P.260)

→ **設定** → **初期設定** →
ホームプリセット設定

2 変更したいプリセットスイッチにタッチ。

3 記憶したい放送局を選択し、**完了**にタッチ。

- 後ろの放送局を選択するとき
→ **>** にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき
→ **<** にタッチ。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

1 デジタルテレビ操作画面表示中

(→ P.260) → **設定** → **初期設定**
→ **地域設定**

2 郵便番号入力し、**次へ**にタッチ。

- 間違えたとき
→ **修正** にタッチ。

3 地域にタッチ。

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
→ **沖縄地方・その他** にタッチ。

4 都道府県選択し、**完了**にタッチ。

4. 知っておいていただきたいこと


 こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、 故障しています ご確認ください	miniB-CAS カードの動作確認 (→ P.267) で、異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
B-CAS カードが正常に動作しませんでした カード端子面を清掃の上、 ご確認ください	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。(→ P.267) 異常を検出したときは、miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	使用できない miniB-CAS カードが挿入されているため。(エラーコード: A1FF、A102)	miniB-CAS カードを挿入してください。
	miniB-CAS カードを交換する必要があるため。(エラーコード: 6400)	miniB-CAS カードを交換してください。
	miniB-CAS カード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。(エラーコード: A104)	
放送を受信できません	有効な条件を満たしていない miniB-CAS カードが挿入されているため。(エラーコード: EC01、EC02)	
	デジタルテレビの受信エリア外にいるため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン (→ P.271)、またはプリセットモードの切り替え (→ P.267) をしてください。
B-CAS カードが挿入されていません B-CAS カードをお確かめください	miniB-CAS カードを挿入していないため。	miniB-CAS カードを挿入してください。



1. VTR の操作

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した VTR 機器を再生することができます。

VTR 機器の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

- 接続後、接続した機器の電源を入れてください。



警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

知識

- VTR モード中にミニプラグを抜いたり、接続する機器側の VTR ケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 接続する VTR 機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声聞き取りにくくなったりする場合があります。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で VTR をご覧になることができます。

全画面 / 映像

操作画面を解除し、映像を全画面表示します。

各種切替

各種設定の切り替えをします。(→ P.275)

☆印はオプションです。

各種切替画面について

操作画面で、**各種切替** にタッチすると表示されます。



Wide

Normal、**Wide1**、**Wide2** にタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」(→ P.207) をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」(→ P.44) をご覧ください。

VTR 音声入力を切り替える

接続した VTR 機器の音声出力方式に合わせて切り替えることができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「オーディオ」 → **VTR 設定**

2 **VTR 音声入力** にタッチ。

3 **VTR** または **USB** にタッチ。



1. はじめに

USB メモリについて

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した USB メモリ内の音楽ファイル (MP3、WMA、AAC) を再生することができます。

本機で利用できる USB メモリや USB メモリに記録できるデータについては、「オーディオ & ビジュアルで利用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

USB メモリの接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。「USB メモリについて」(→ P.318) に該当していても、ご利用の USB メモリによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

知識

- 使用できる USB メモリや、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱されている USB メモリ接続用ケーブル以外のケーブルを使用すると、正しく認識できない、または正しく再生できない場合があります。
- 再生中に USB メモリを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 同じ USB メモリ (内容が変更されていないもの) が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- USB メモリまたは iPod を接続しているときに本機が過電流を検知すると、「USB 機器が規定電流を超えたため電源を停止しました」のメッセージが表示され、オーディオの電源が OFF になります。再度 USB メモリまたは iPod を再生するときは、一度エンジンスイッチを OFF (LOCK) にし、再度エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリを操作しないでください。

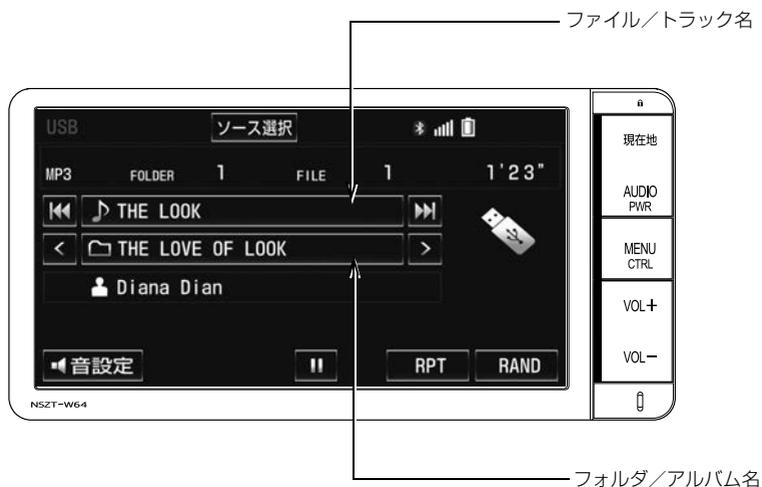
注意

- USB メモリを車室内放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリが接続されているときに、USB メモリの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- USB メモリ端末の差込口に USB メモリ端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

☆印はオプションです。

2. 音楽ファイル再生中の操作

この項目では、USB メモりに記録した音楽ファイルの操作方法を説明しています。本機で使用できる USB メモリや USB メモりに記録できる音楽データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→P.315)をご覧ください。



▶▶ (ファイル/トラック名)

タッチすると、次のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

◀◀ (ファイル/トラック名)

ファイル/トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル/トラックに切り替わります。

タッチし続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

次のページに続く



2. 音楽ファイル再生中の操作

ファイル/トラック名

ファイル/トラックリストを表示します。



← 再生したいファイル/トラックにタッチ

- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

< / > (フォルダ/アルバム名)

フォルダ/アルバムが切り替わります。

フォルダ/アルバム名

フォルダリストを表示します。



← フォルダ/アーティスト/アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダやアルバム内のファイルが再生されます。

RAND (ランダム)

タッチするたびに、フォルダ内でランダム再生 (RAND) → 全フォルダ/アルバムからランダム再生 (FLD.RAND/ALB.RAND) → ランダム解除の順に切り替わります。

RPT (リピート)

タッチするたびに、再生中のファイルをリピート再生 (RPT) → 再生中のフォルダ/アルバムをリピート再生 (FLD.RPT/ALB.RTP) → リピート解除の順に切り替わります。

|| (一時停止) / ▶ (再生)

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

(知識)

- **⏮ / ⏭** (ファイル/トラック名) スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) から同様の操作ができます。
- フォルダリストについて
 - ・ **「アルバム」**、**「アーティスト」** については、タグ情報 (→ P.319) があるファイルのみ分類して表示されます。

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されている USB メモリを接続すると、最初に USB メモリ内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

USB メモリ内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけしないでください。

知識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)



1. はじめに

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した iPod を再生することができます。

iPod の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。

警告

- 安全のため、運転中は運転中に iPod を操作しないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけに なります。)

注意

- iPod を車室内放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- iPod 端末の差込口に iPod 端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

知識

- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとときや iPod を再接続したときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに iPhone を接続し、オーディオソースを iPod にした場合、スマートフォンナビ連携を使用することができません。
- Lightning コネクタを使用する場合は、Apple 純正ケーブルを使用してください。
- iPod を販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続している場合、iPod 機器 (iPod/iPhone) によっては操作できない場合があります。
- iPod を本機に接続する前と取り外した後は、シャッフルやリピートなどの設定が変わることがあります。
- サンプルレートが 44.1kHz 以外の曲の場合、iPod の種類によっては正しく再生されないことがあります。

☆印はオプションです。

商標・設計認証情報



- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

- “Made for iPod” , “Made for iPhone” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K. Lightning is a trademark of Apple Inc.
- The Lightning connector works with iPhone 5, iPod touch (5th generation), and iPod nano (7th generation).
- The 30-pin connector works with iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch (1st through 4th generation), iPod classic, and iPod nano (1st through 6th generation).



2. 音楽ファイル再生中の操作

この項目では、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した iPod (ミュージック) の操作方法を説明しています。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。



▶▶ (ファイル名)

タッチすると、次のファイルに切り替わります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

◀◀ (ファイル名)

ファイルの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイルに切り替わります。

タッチし続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ファイル名

ファイルリストを表示します。



← 再生したいファイルにタッチ

• ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

選曲

選曲リストを表示します。



← プレイモードにタッチ

- リスト選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。
完了にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるプレイモード内のファイルが再生されます。

RAND (ランダム)

タッチするたびに、アルバム内でランダム再生 (RAND) → 全アルバムからランダム再生 (ALB.RAND) → ランダム解除の順に切り替わります。

RPT (リピート)

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生 (RPT) → リピート解除が切り替わります。

|| (一時停止) / ▶ (再生)

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

ビデオ

iPod ビデオの再生に切り替わります。(→ P.284)

知識

- ◀◀ / ▶▶ (ファイル名) スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) から同様の操作ができます。
- 選曲 スイッチについて
 - ・ ファイルはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード (「プレイリスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「曲」、「Podcasts」、「オーディオブック」、「ジャンル」、「作曲家」) を変更すると再生順が変わります。



3. 動画ファイルを再生する

この項目では、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した iPod (ビデオ) の操作方法を説明しています。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。



知識

- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で iPod ビデオをご覧になることができます。

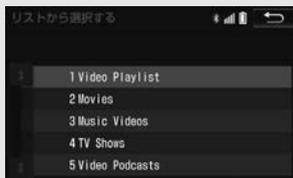
ビデオ名

ビデオリストを表示します。



アルバム名

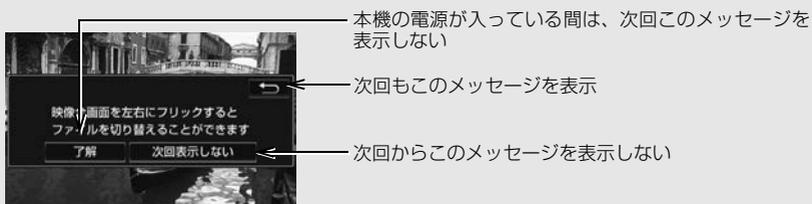
ビデオ選択リストを表示します。



- リスト選択後、再生したいビデオにタッチすると、タッチしたビデオが再生されます。
完了にタッチすると、操作画面に戻ります。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて **全画面** または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。**了解**・**次回表示しない**・**→** のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ビデオが切り替わります。(→ P.65)



タッチすると、次のビデオに切り替わります。

タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。



ビデオの頭出しをします。連続してタッチすると、前のビデオに切り替わります。

タッチし続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ミュージック

iPod ミュージックの再生に切り替わります。(→ P.282)

各種切替

各種設定の切り替えをします。(→ P.286)

知識

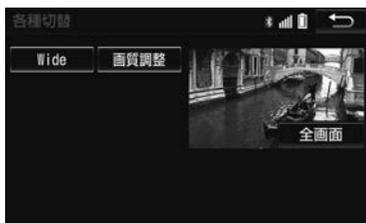
- **⏮** / **⏭** スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) から同様の操作ができます。



3. 動画ファイルを再生する

各種切替画面の操作

操作画面で、**各種切替** にタッチすると表示されます。**全画面** にタッチすると映像を全画面で表示します。



Wide

Normal ・ **Wide1** ・ **Wide2** のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」(→ P.207) をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」(→ P.44) をご覧ください。

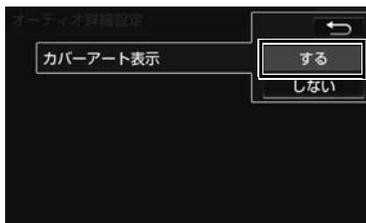
4. iPod の設定をする

iPod カバーアートを表示する

iPod カバーアート表示のする／しないを設定できます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ → **オーディオ詳細設定**
 → **カバーアート表示**

2 **する** にタッチ。



知識

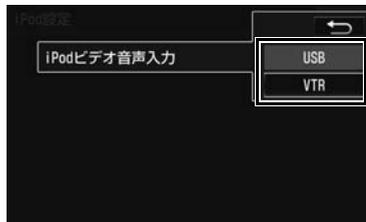
- カバーアートは、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより表示できない場合があります。
- カバーアートの表示には時間がかかることがあります、その間操作はできません。
- JPEG 形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

iPod ビデオ音声入力の設定を変更する

iPod ビデオ再生時の音声入力を「VTR」または「USB」に変更することができます。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
オーディオ → **iPod 設定** →
iPod ビデオ音声入力

2 **USB** または **VTR** にタッチ。



1. はじめに

Bluetooth オーディオについて

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー ※ (以下「ポータブル機」) を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「オーディオ&ビジュアルで利用できるメディア/データについて」(→ P.315) をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、お買い上げの販売店または <http://toyota.jp/> でご確認ください。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

各種表示について

電池残量表示について

電池残量表示



表示



残量

無 少 ← → 多

知識

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
- 外部電源が接続されているときは残量表示は  で表示されます。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

Bluetooth 接続状態表示について

Bluetooth 接続状態表示



表示	接続状態
 (青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
 (青色)	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。赤い斜線が表示されなくなるまで、ポータブル機を移動してご使用ください。
 (灰色)	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機を選択をご確認ください。(→ P.296) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.42)

知識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
 - ・ポータブル機がディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
 - ・ポータブル機が金属製のものに接したり、覆われているとき
 ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

1. はじめに

知識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

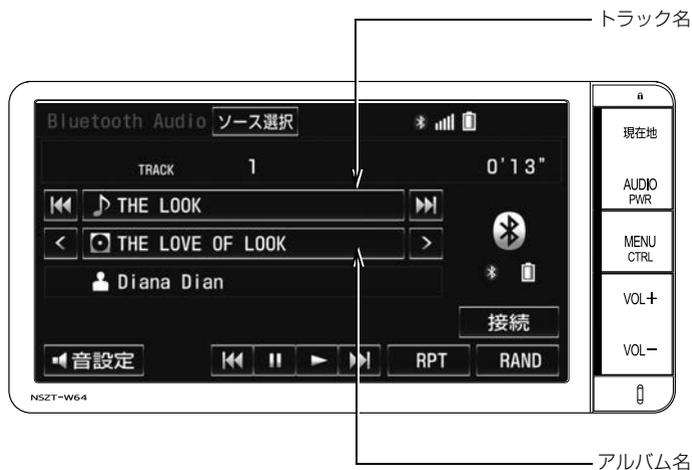
- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

ハンズフリーと同時に使用する とき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
 - ・ ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
 - ・ ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
 - ・ ポータブル機の動作が遅くなる場合があります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。(→ P.42)



知識

- 接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示やアルバムの < > などのスイッチが表示されないことがあります。
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - ・ 本機で操作できない。
 - ・ 動作や音量が異なる。
 - ・ 本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - ・ 再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→ P.294)

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

▶▶ (トラック名)

タッチすると、次のトラックに切り替わります。

接続した機器によっては、タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

◀◀ (トラック名)

トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のトラックに切り替わります。

接続した機器によっては、タッチし続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

トラック名

トラックリストを表示します。



← 再生したいトラックにタッチ

- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

< / > (アルバム名)

アルバムが切り替わります。

アルバム名

アルバムリストを表示します。



- アルバム選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。

接続

ポータブル機が Bluetooth 接続されていないときに接続します。(→ P.294)

RAND (ランダム)

タッチするたびに、アルバム内でランダム再生 (RAND) → 全アルバムからランダム再生 (ALB.RAND) → ランダム解除の順に切り替わります。

RPT (リピート)

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生 (RPT) →再生中のアルバムをリピート再生 (ALB.RPT) → リピート解除の順に切り替わります。

▶ (再生)

一時停止しているときにタッチすると、再生します。

- 接続した機器によっては、再生中に  にタッチすることで、一時停止する場合があります。

|| (一時停止)

再生を一時停止します。

- 接続した機器によっては、一時停止時に  にタッチすることで、再生する場合があります。

知識

-  /  (トラック名) スイッチについて
 - ・ ショートカット+コントロール画面 (→ P.22) から同様の操作ができます。
 - ・ 接続した機器によっては、画面の下側にも同様のスイッチが表示されます。



3. Bluetooth オーディオを設定する

ポータブル機を接続する

ポータブル機の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

知識

- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

自動接続が「する」に設定されているとき（→ P.298）、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 接続確認表示が「する」に設定されているとき（→ P.298）、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示させることができます。使用するときには、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示



- ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

知識

- Bluetooth 接続状態は、Bluetooth オーディオ操作画面でも確認できます。（→ P.289）
- 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
 - ・ 自動接続しない。この場合、手動で接続してください。（→ P.294）
 - ・ エンジンスイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになる。この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。（設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。）
 - ・ 「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

自動接続できなかった場合

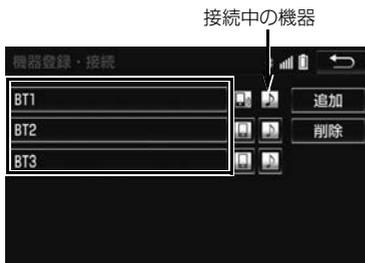
自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.294）

手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続を「しない」に設定しているとき（→ P.298）、Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面 (→ P.291)

- 1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。
- 2 **接続** にタッチ。
- 3 接続したいポータブル機にタッチ。



-  にタッチするとポータブル機の接続を開始します。
- 4 **全接続** または **ポータブル機の接続** にタッチ。
- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知識

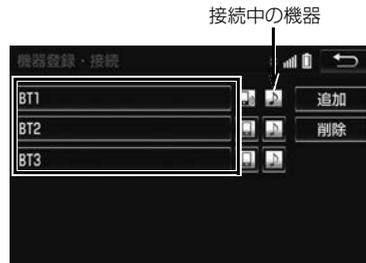
- ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき (→ P.297) は、ポータブル機を操作して接続します。

Bluetooth オーディオ操作画面 (→ P.291)

- 1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。
- 2 **接続** にタッチ。
- 3 接続したいポータブル機にタッチ。



-  にタッチするとポータブル機の接続を開始します。
- 4 **全接続** または **ポータブル機の接続** にタッチ。
 - 5 ポータブル機を操作して、接続する。



- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。



3. Bluetooth オーディオを設定する

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続 (→ P.418) が「する」に設定されていると、自動的に再接続処理を行います。

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.294)
ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
 - ・ 手動で接続する (→ P.294)
 - ・ 改めてポータブル機を選択する (→ P.296)

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が本機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

知識

- ポータブル機は本機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのはポータブル機選択で選択された機器のみです。

1 Bluetooth オーディオ操作画面

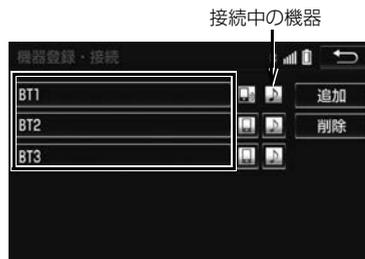
(→ P.291) → **接続** または

MENU ▶ **設定・編集** →

Bluetooth → **機器登録・接続**

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機にタッチ。



-  にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 **全接続** または **ポータブル機の接続** にタッチ。

- Bluetooth 接続中の機器がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
切断してよければ、**はい** にタッチします。

ポータブル機の詳細情報を表示する

本機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、本機との接続方法を変更することができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (詳細情報を表示したいポータブル機) → 機器詳細情報

2 各項目を確認／変更する。



- 機器詳細情報画面から次の項目の確認／変更ができます。

機器名称

本機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。



- 文字入力画面で入力します。
- 本機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

接続方法

ポータブル機と本機の接続を、本機側から接続する方法 (車載機から)、またはポータブル機側から接続する方法 (ポータブル機から) に切り替えることができます。

- 「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。接続方法についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「自動接続」(→ P.298) を「する」にしていても自動接続は行いません。

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

スマートフォン連携

スマートフォンナビ連携を有効にする／しないを選択することができます。(→ P.178)

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルを表示しており、変更することはできません。



3. Bluetooth オーディオを設定する

本機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 →
Bluetooth → Bluetooth 詳細設定

2 各項目を確認／変更する。

- 初期設定の状態に戻すとき

→ 初期状態 にタッチ。



- Bluetooth 詳細設定画面から次の項目の確認／変更ができます。

ACC ON 時の自動接続

する にタッチすると、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は登録 (選択) したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。



- 文字入力画面で入力します。
- 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。

PIN コード

ポータブル機を本機に登録する際のパスワードです。4 ~ 8 桁の任意の数字に変更することができます。



機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

ポータブル機の接続確認表示

する にタッチすると、Bluetooth 接続されたとき、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

対応プロフィール

ポータブル機が対応しているプロフィールを表示しており、変更することはできません。

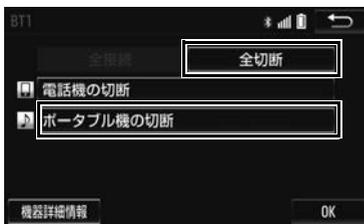
ポータブル機の接続を切る

- Bluetooth オーディオ操作画面
(→ P.291) → **接続** または
MENU ▶ **設定・編集** →
「Bluetooth」 → **機器登録・接続**

- 接続を切るポータブル機にタッチ。



- 全切断** または **ポータブル機の切断** にタッチ。



ポータブル機の登録を削除する

- Bluetooth オーディオ操作画面
(→ P.291) → **接続** または
MENU ▶ **設定・編集** →
「Bluetooth」 → **機器登録・接続** →
削除

- 削除するポータブル機にタッチ。



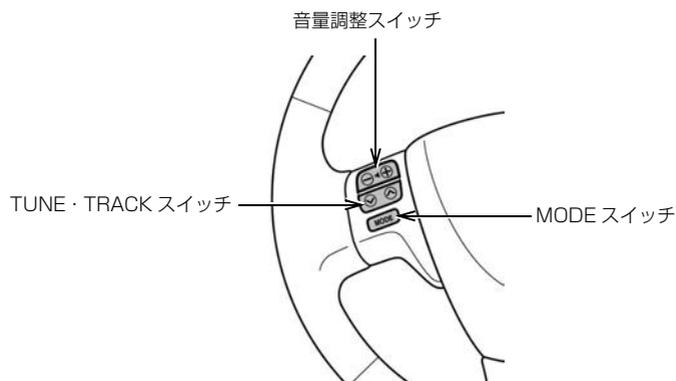
- はい** にタッチ。

- 削除するポータブル機がデータ通信中のときは、確認のメッセージが表示されます。中止してよければ、**はい** にタッチします。



1. ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで、各オーディオの操作をすることができます。



スイッチ	モード	機能
音量調整 スイッチ ⊖・⊕	全モード	<p>＋：音量が大きくなります。</p> <p>－：音量が小さくなります。</p> <p>● 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。</p>
TUNE・ TRACK スイッチ ⊙・⊗	ラジオ (AM・FM)	<p>プリセットスイッチに登録されている周波数が順番に切り替わります。</p> <p>“ピッ”と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を選択します。再度押すと、選択を停止します。</p>
	デジタルテレビ	プリセットスイッチに登録されているチャンネルが順番に切り替わります。
	DVD プレーヤー SD REC SD USB Bluetooth オーディオ	<p>ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。</p> <p>“ピッ”と音がするまで押すと、フォルダ・アルバムが切り替わります。</p> <p>● フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。</p>
	iPod	ファイルが切り替わります。

1. ステアリングスイッチで操作する

スイッチ	モード	機能
MODE MODE	全モード	<p>押すと次の順番でオーディオソースが切り替わります。 [FM → (DVD プレーヤー) → (SD REC) → (SD) → デジタルテレビ → Bluetooth オーディオ → DS → (USB/iPod) → (VTR) → AM → FM]</p> <p>※ () 内のモードは、ディスクが挿入されていないなど再生することができないときは選択できません。</p> <p>● オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更 (→ P.198) すると、切り替わる順番も変わります。</p>
	ラジオ (交通情報) デジタルテレビ VTR DS	1 秒以上押し続けると、消音します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。
	DVD プレーヤー SD REC SD USB iPod Bluetooth オーディオ	1 秒以上押し続けると、再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。

警告

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

知識

- TUNE・TRACK スイッチについて
 - ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数/チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
 - ・ ディスクや接続している機器により、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。



1. リモコンでの操作

後席ディスプレイについて

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。後席ディスプレイは、走行中、停車中に関わらず映像をご覧になることができます。

後席ディスプレイに付属のリモコンで映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。詳しい説明や、後席ディスプレイ本体の取り扱いについては後席ディスプレイに同梱の取扱書をご覧ください。

■後席ディスプレイに表示される画面

本機に次の画面が表示されている場合、後席ディスプレイにも同じ画面が表示されます。

- デジタルテレビ
- DVD
- VTR※
- iPod ビデオ ※

※ 映像をご覧になる場合、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが必要です。

その他のオーディオの画面が表示されている場合、黒い画面が表示されます。

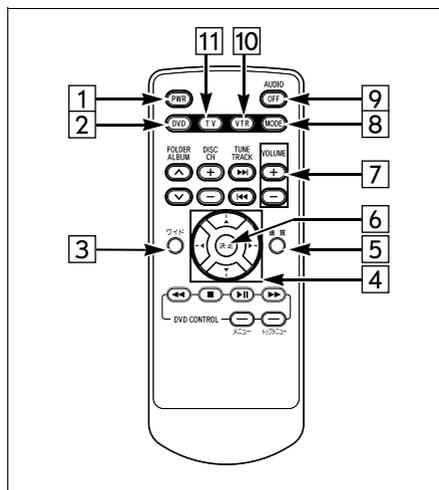
警告

- 事故防止のため、リモコンの電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

- リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
- リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
- リモコンを分解しないでください。
- リモコンの電池を交換する場合、+極と-極を必ず正しい向きにして取り付けてください。

オーディオ共通の操作をする



番号	名称	機能
1	電源スイッチ	<p>押すごとに、後席ディスプレイの電源の ON/OFF が切り替わります。</p> <p>1 秒以上押し続けるごとに、後席ディスプレイにある LED ライトの ON/OFF が切り替わります。^{※1}</p>
2	ディスクモード切り替えスイッチ	押すと、DVD プレーヤーに切り替わります。
3	ワイドモード切り替えスイッチ	押すごとに、後席ディスプレイのワイドモードが、ノーマル→ワイド1→ワイド2の順に切り替わります。 ^{※2}
4	項目選択スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、明るさやコントラストなどの調整項目が切り替わります。
5	画質調整スイッチ	<p>押すと、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。^{※3}</p> <p>1 秒以上押すごとに、オートディマー機能の ON/OFF が切り替わります。</p>
6	項目決定スイッチ	<p>後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、調整内容が決定されます。</p> <p>後席ディスプレイのワイドモードを切り替えた場合、押すと、選択したモードに決定されます。</p>

次のページに続く



1. リモコンでの操作

番号	名称	機能
7	音量スイッチ	押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。押し続けると音量が連続して変わります。
8	オーディオモード切り替えスイッチ	スイッチを押すごとに、次の順に切り替わります。 FM → (DVD プレーヤー) → (SD REC) → (SD) → デジタルテレビ → Bluetooth オーディオ → DS → (USB/iPod) → (VTR) → AM → FM ^{※4} • オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更 (→ P.198) すると、切り替わる順番も変わります。
		オーディオがラジオ (交通情報)、デジタルテレビ、VTR、DS の場合、1 秒以上押し続けると、消音します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。
		オーディオが DVD プレーヤー、SD REC、SD、USB、iPod、Bluetooth オーディオの場合、1 秒以上押し続けると、再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。
9	オーディオ OFF スイッチ	押すと、オーディオの電源が OFF になります。
10	VTR 切り替えスイッチ	押すと、VTR に切り替わります。
11	TV 切り替えスイッチ	押すと、デジタルテレビに切り替わります。

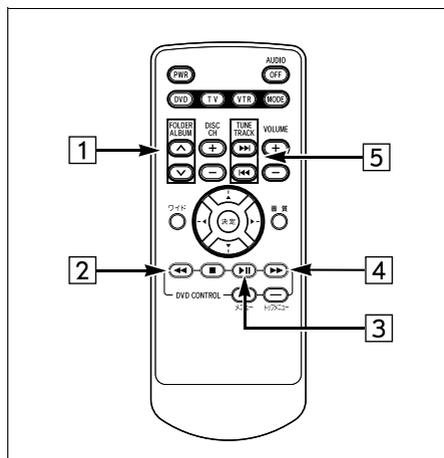
※1 車両のライト点灯時のみ

※2 オーディオが DVD、VTR、iPod ビデオの場合のみ

※3 オーディオが DVD、デジタルテレビ、VTR、iPod ビデオの場合のみ

※4 () 内のモードは、再生または視聴できない場合は切り替わりません。

再生中の曲を操作する

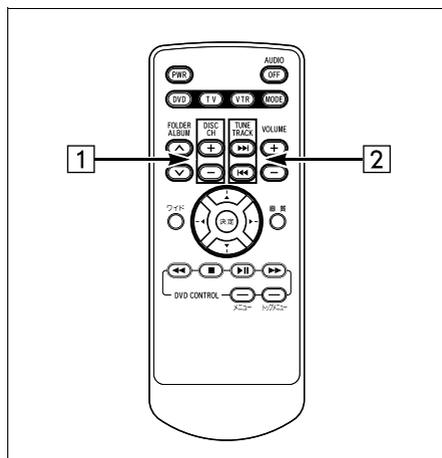


番号	名称	機能
1	フォルダ / アルバム切り替えスイッチ (上側) ※	押すと、次のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
	フォルダ / アルバム切り替えスイッチ (下側) ※	押すと、前のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
2	早戻しスイッチ	押し続けている間、曲が早戻しされます。
3	一時停止 / 再生スイッチ	再生中に押すと、曲が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、曲が再生されます。
4	早送りスイッチ	押し続けている間、曲が早送りされます。
5	選曲スイッチ (上側)	押すと、次の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。
	選曲スイッチ (下側)	押すと、曲の頭出し、連続で押すと、前の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早戻しされます。

※ DISC (MP3/WMA/AAC)、SD REC、SD、USB、Bluetooth オーディオの場合のみ



ラジオ・デジタルテレビを操作する



番号	名称	機能
1	放送局 / チャンネル切り替えスイッチ	押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局やチャンネルを順に呼び出します。
2	周波数切り替えスイッチ ※1	押すごとに、1 ステップずつ周波数が切り替わります。1 秒以上押し続けると、自動選局を開始します。
	チャンネル切り替えスイッチ ※2	押すと、プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを順に呼び出します。

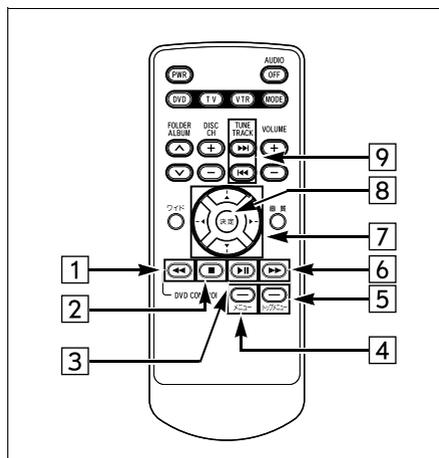
※1 ラジオの場合

※2 デジタルテレビをご覧の場合

知識

- 放送局やチャンネルを切り替える場合、あらかじめプリセットスイッチに記憶します。その場合、本体側で操作します。(→ P.208、259)
- ラジオの放送局を自動受信する場合、受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

DVD プレーヤーを操作する



番号	名称	機能
1	早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
2	停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
3	一時停止 / 再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、映像が再生されます。
4	メニュースイッチ	押すと、DVD メニューが表示されます。
5	トップメニュースイッチ	押すと、DVD トップメニューが表示されます。
6	早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。 一時停止中に押し続けると、スロー再生されます。
7	項目選択スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで項目が選択されます。
8	項目決定スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで選択した項目が決定されます。
9	チャプター切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
	チャプター切り替えスイッチ（下側）	押すと、チャプターの頭出し、連続で押すと前のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。

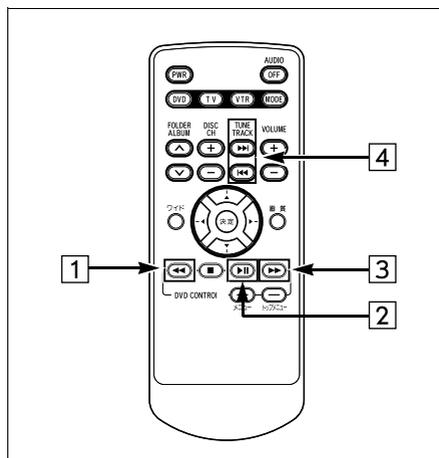


1. リモコンでの操作

知識

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容に従って再生されるため、操作したとおりに機能しないことがあります。

iPod の映像を操作する



番号	名称	機能
1	早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
2	一時停止／再生スイッチ	再生中に押すと、曲が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、曲が再生されます。
3	早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
4	ファイル切り替えスイッチ (上側)	押すと、次の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
	ファイル切り替えスイッチ (下側)	押すと、映像の頭出し、連続で押すと、前の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。



1. DS モードの操作

DS モードについて

別売のニンテンドー DS ソフト「クルマで DS」を本機に接続して、ニンテンドー DS と連動したゲームをお楽しみいただけます。

ゲームの内容や操作方法については、DS ソフトの取扱説明書をご覧ください。

警告

- 安全のため、運転手は走行中に DS を操作しないでください。
- 走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、運転中の操作は処罰の対象になります。
- 運転手が DS を操作する時は車を安全な場所に停車させてから操作してください。その際は禁止された場所に駐車しないでください。
- 安全のため、車を乗り降りする時は DS の電源を切るか、DS を閉じてください。また、まわりに注意して乗り降りしてください。
- 万一、ゲームが運転の妨げになる場合は、ゲームを停止する、または安全な場所にいったん停車してナビの音量を下げてください。DS を閉じるとゲームを停止することができます。
- 夜間の車内などでは、DS の画面が明るく感じることがありますので、輝度を調整してください。
- 乗物酔いの際は使用を中止してください。

DS 本体、または DS ソフトを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

DS を登録する

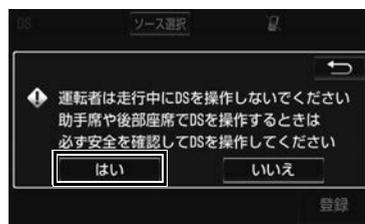
DS モードを使用するためには、はじめに DS ソフトを本機に登録することが必要です。

1 オーディオソース選択画面 (→ P.196) → **DS**

2 DS 未登録画面で **登録** にタッチ。



3 **はい** にタッチ。



- **はい** にタッチすると、メッセージの内容に同意されたものとみなし、本機能を使用することができます。
- すでに他の機器を接続している場合、携帯電話またはポータブル機の接続を切断する必要があります。画面の指示にしたがって、機器を切断してください。

☆印はオプションです。

- 4 登録待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。



- DS本体に複数の機器アドレスが表示されている場合、本機の画面に表示されている機器アドレスを選択してください。
- DSの登録操作は、必ずこの登録待ち受け画面を表示させてから行ってください。
 - ・ 中止するとき
 - ➔ **中止** にタッチ。

- 5 接続が完了したとき

➔メッセージが表示され、DSの音声
が車のスピーカーから出力されたら
接続完了。



■接続失敗画面が表示されたとき

「DSの接続に失敗しました」のメッセージが表示されたときは、もう一度はじめからやり直してください。

〔知識〕

- DSの接続に失敗したときは、手順4の登録待ち受け画面が表示されていることを確認し、もう一度DSの登録操作を行ってください。
- DSソフトがすでに登録されていると、別のDSソフトを登録することができません。別のDSソフトを使用するときは、DSソフトの登録を削除してからDSソフトを登録し直してください。登録の削除については、「DSの登録を削除する」(→P.313)をご覧ください。

DSを接続する

ゲームをはじめするには、本機とDS本体を操作してDSを接続してください。ゲームを中断したり、他のオーディオソースに切り替えると、DSとの接続が切断されます。ゲームを再開するときは、再度接続してください。

- 1 オーディオソース選択画面 (→ P.196) → **DS**

- 2 DS未接続画面で **接続** にタッチ。



1. DSモードの操作

- スマートフォン連携を「する」に設定していると、メッセージが表示されます。

はい にタッチして、スマートフォン連携の設定を「しない」に設定してください。(→ P.182)

- すでに他の機器を接続している場合、携帯電話またはポータブル機の接続を切断しなければならない場合があります。画面の指示にしたがって、機器を切断してください。

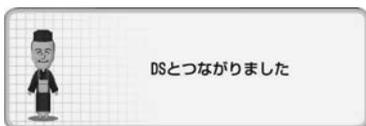
3 接続待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。



- 中止するとき
→ **中止** にタッチ。

4 接続が完了したとき

- ➔ メッセージが表示され、DSの音声から車のスピーカーから出力されたら接続完了。



DS 接続済み画面



■ 接続失敗画面が表示されたとき

「DSの接続に失敗しました」のメッセージが表示されたときは、もう一度はじめからやり直してください。

DS 未接続画面



(知識)

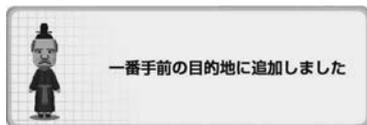
- 本機に登録しているDSソフトのみ接続することができます。別のDSソフトを使用するときは、すでに登録してあるDSソフトを削除してから登録し直してください。登録の削除については、「DSの登録を削除する」(→ P.313)をご覧ください。
- DSを使用中に他のBluetooth機器を使用する場合、確認のメッセージが表示されません。DSとの通信を切断してよければ、**はい** にタッチします。

■ DSの自動接続

エンジンスイッチをOFF (LOCK)にする前にDSモードを使用していた場合、再度エンジンスイッチをACCまたはONにしてDS本体で接続操作をすると、本機を操作することなく自動で接続されます。

DS で目的地を設定する

DS を使って目的地や経由地を設定することができます。設定すると、本機にメッセージが表示されます。



- 目的地や経由地に設定するとき
→ **案内開始** にタッチ。

DS との通信を切断する

- 1 オーディオソース選択画面 (→ P.196) → **DS**

- 2 DS 接続済み画面で **切断** にタッチ、またはオーディオソースを切り替える。



DS の登録を削除する

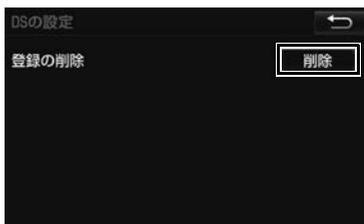
登録した DS を削除することができません。別の DS ソフトを使用するときは、今使用している DS の登録を削除してから登録し直してください。登録については、「DS を登録する」(→ P.310) をご覧ください。

- 1 オーディオソース選択画面 (→ P.196) → **DS**

- 2 **設定** にタッチ。



- 3 **削除** にタッチ。



- 4 **はい** にタッチ。

- DS を使用しているときは、確認のメッセージが表示されます。DS の登録を削除してよければ、**はい** にタッチします。



1. DS モードの操作

- DS の登録が削除されると、DS 未登録画面が表示されます。



知識

- DS の登録を削除しても、DS ソフトに登録されている本機の情報には削除されません。

ニンテンドー DS・ディーエス／DS は任天堂の登録商標または商標です。DS モードに含まれるコンテンツの一部の著作権は、任天堂株式会社に帰属します。

1. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるディスク、SD メモリーカードなどの仕様は、下記の通りです。

ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD  	CD-R/RW  
DVD	DVD ビデオ  	DVD-R/RW/R DL   
		DVD+R/RW/R DL   

- "DVD Logo" is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- ビデオモード（ビデオフォーマット）および VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD±R/RW/R DL の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW/R DL の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW/R DL は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。
- 8cm ディスクには対応していません。

DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（SECAM）対応のディスクは再生することができません。
- ドルビーは 2ch 対応です。



1. オーディオ&ビジュアルで利用できるメディア／データについて

SD メモリーカードについて

次の SD メモリーカードが使用できます。

項目	使用できる SD メモリーカード	容量	SD スピードクラス
音楽用 (本機で録音)	  	4GB ~ 32GB	Class 4 ~ 10
音楽用 (パソコンで記録)	  	SD メモリーカード： 8MB ~ 2GB SDHC カード： 4GB ~ 32GB	Class 2 ~ 10
オープニング 画像用	  		Class 2 ~ 6
メモリ地点の 移行用	  		

- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-4C, LLC.
SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- FAT ファイルシステム (SD:FAT16/SDHC:FAT32) のみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- 本機で音楽を録音する場合、上記容量の SDHC メモリーカードをご使用ください。上記以外の SD メモリーカードには録音できません。
- 転送速度が遅いなど SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なったり、録音した音楽が音飛びすることがあります。
- miniSD カード、miniSDHC カード、microSD カード、microSDHC カードを使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 地図 SD には録音できません。

■SD メモリーカードのフォーマット (初期化) について

SD メモリーカードをフォーマットするときは、SD アソシエーションの SD フォーマッター[※] を使用してください。SD アソシエーションの SD フォーマッター[※] でフォーマットしていない場合、本機で使用できないことがあります。

[※] SD アソシエーションのホームページ (<https://www.sdcard.org/jp/>) からダウンロードできます。

iPod について

本機は下記の iPod[®]、iPod nano[®]、iPod classic[®]、iPod touch[®]、iPhone[®]を使用することができます。

Made for

- ・ iPod touch (5th generation)[※]
- ・ iPod touch (4th generation)
- ・ iPod touch (3rd generation)
- ・ iPod touch (2nd generation)
- ・ iPod touch (1st generation)
- ・ iPod classic
- ・ iPod with video
- ・ iPod nano (7th generation)[※]
- ・ iPod nano (6th generation)[※]
- ・ iPod nano (5th generation)
- ・ iPod nano (4th generation)
- ・ iPod nano (3rd generation)
- ・ iPod nano (2nd generation)[※]
- ・ iPod nano (1st generation)[※]
- ・ iPhone 5s[※]
- ・ iPhone 5c[※]
- ・ iPhone 5[※]
- ・ iPhone 4S
- ・ iPhone 4
- ・ iPhone 3GS
- ・ iPhone 3G

[※] ビデオは再生できません。

知識

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアは、アップル社の Web サイトからバージョンアップすることができます。



1. オーディオ&ビジュアルで利用できるメディア／データについて

USB メモリについて

利用できる USB メモリのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class

知識

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB 端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USB メモリ以外 (USB 扇風機や USB クリーナーなど) は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。

データの仕様について

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

MP3/WMA/AAC について

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

MP3 ファイルの規格

対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
対応サンプリング 周波数 (kHz)	MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24
対応 ビットレート (kbps)	MPEG1 LAYER3 : 32 ~ 320 MPEG2 LSF LAYER3 : 8 ~ 160 ※VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。
対応チャンネル モード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3 (文字数は各 Ver. に準拠)



1. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて

■WMA ファイルの規格

対応規格	WMA Ver.7、8、9 (9.1、9.2) ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング 周波数 (kHz)	32、44.1、48
対応ビットレート (kbps)	Ver.7、8 : CBR (Constant Bit Rate) 48 ~ 192 Ver.9 (9.1、9.2) : CBR (Constant Bit Rate) 48 ~ 320 ※VBR(Variable Bit Rate) に対応しています。 ※2ch 再生のみに対応しています。

■AAC ファイルの規格

対応規格	MPEG4 AAC-LC ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング 周波数 (kHz)	11.025、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps)	16 ~ 320 ※VBR(Variable Bit Rate) に対応しています。
対応チャンネル モード	1ch、2ch ※デュアルチャンネルには対応していません。

■ディスク に記録する場合のフォーマット

ファイル フォーマット	ISO9660: LEVEL1、 LEVEL2	拡張フォーマット： ROMEO 形式、JOLIET 形式	UDF 2.01
最大フォルダ名 (最大文字数)	LEVEL1: 半角 8 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	ROMEO 形式：半角 32 文字 (ISO9660 準拠 部のみ) JOLIET 形式：半角 32 文字 (区 切り文字 “.” を含む)	半角 32 文字
最大ファイル名 (最大文字数)	LEVEL1: 8.3 形式 LEVEL2: 半角 31 文字	ROMEO 形式：半角 32 文字 (ISO9660 準拠 部のみ、区切り 文字 “.” + 拡張 子含む) JOLIET 形式：半角 32 文字	半角 32 文字
文字コード	英数字 (ASCII コード)	ROMEO 形式：英数字 (ASCII コード) 日本語 (S-JIS コード) JOLIET 形式：英数字 (ASCII コード) 日本語 (unicode)	英数字 (ASCII コード) 日本語 (unicode)
ディスク フォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1		
最大ディレクトリ 階層	8 階層		
最大書き込み フォルダ数	256 (ルート含む)		
最大書き込み ファイル数	999		



■Audio SD/USB メモリに記録する場合のフォーマット

最大フォルダ名 (最大文字数)	半角 256 文字
最大ファイル名 (最大文字数)	半角 256 文字 (+ 拡張子含む)
最大ディレクトリ 階層	8 階層 (Root 含む)
最大フォルダ数	3000 (Root 含む)
最大ファイル数	9999 (1 フォルダにつき、最大 1024 ファイル)

1. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて

■ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ID3 タグ/WMA タグ/AAC タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生しません。

■画像データについて

オープニング画像に使用できる画像データは次のとおりです。

ファイル拡張子	.jpg、.jpeg (JPEG 2000 は対応していません)
画像容量	10MB 以下
画像サイズ	最大 2000 万画素
フォルダ名/ファイル名文字数	最大半角 28 文字
取り込み対象となる画像データ	ルートディレクトリ (最上位階層) のみ
最大読み込みファイル数	255

■Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上
	Ver.3.0 を推奨
対応 Profile	<ul style="list-style-type: none"> ● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : Ver.1.0 以上 (Ver. 1.2 を推奨) ● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) : Ver.1.0、Ver.1.3 (Ver.1.4 を推奨)

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

オーディオ共通

症状	考えられること	処置
音がでない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	AUDIO OFF になっている。	AUDIO OFF を解除してください。
映像がでない。	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
	画面消しスイッチで画面を消している。	画面消しを解除してください。(→ P.46)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。(→ P.202)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。(→ P.202)
勝手に音量ボリューム値が下がる。	車両連動オートボリューム機能 (ASL: Automatic Sound Levelizer) が動作しているため。	ASL を「OFF」に設定すると、音量ボリューム値は変化しません。(→ P.205)
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象です。	故障ではありません。そのままご使用ください。



AM / FM

症状	考えられること	処置
受信感が悪い。	移動により、受信状態が悪くなったため。	受信状態の安定した場所に移動してください。

1. 故障とお考えになる前に

ディスク（音楽 CD / MP3 / WMA / AAC）

症状	考えられること	処置
ディスクを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→ P.319)
「DISC をお確かめください」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのないディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にして挿入している。	ディスクのラベル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクをご確認ください。(→ P.315)

テレビ

症状	考えられること	処置
画面がとまって、音が出ない。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で故障ではありません。	受信状態の安定した場所へ移動して視聴してください。
画面がガクガクして映る、コマ落ちしている。		
画面に正方形のノイズが映る。		
地上デジタル放送の受信が悪い。	地デジ・ワンセグ受信設定が「地デジ」に設定させているため。	地デジ・ワンセグ受信設定を「ワンセグ自動切替」に設定してください。(→ P.267)

1. 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
受信できない。「受信できません」というメッセージが表示される。 「スキャンを実行してください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていないため。	チャンネルスキャンをしてください。(→P.271)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなったため。	放送局サーチの設定を「系列局+中継局」または「中継局」に設定すると、自動で系列局や中継局を探して受信することができます。(→P.267)
突然、放送番組が変わった。	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	電波状態が変化し、地デジチューナーが 地上デジタル放送⇄ワンセグ放送 と切り替わった際、地上デジタル放送とワンセグ放送の放送内容が異なっている(非サイマル放送)場合は、放送番組が変わったように見えます。	地上デジタル放送とワンセグ放送で、放送番組内容が変わる場合があります。故障ではありません。



オーディオ&ビデオ

iPod

症状	考えられること	処置
iPod ビデオ画像が乱れる。 iPod ビデオ音声しか出ない。(黒画)	iPod との接続が不十分なため。	iPod との接続をご確認ください。

Audio SD

症状	考えられること	処置
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→P.319)
パソコンで作成した Audio SD の曲を認識しない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→P.319)
Audio SD に入れた動画が再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→P.319)

次のページに続く

1. 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
Audio SD に録音した曲が音飛びする。	CD の中にはライブ盤のように途切れることなく次の曲が再生されるものがあります。これを Audio SD に録音再生した時は自動的に曲間に無音部を設けて再生しますので、音飛びしているように感じることがあります。	-
CD 録音時、 録音開始 がトーンダウンして Audio SD に録音できない。	録音済みの CD が挿入されているため。	録音していない CD で録音を開始してください。
	対応していない Audio SD を使用したため。	対応している Audio SD をご確認ください。(→ P.316)
Audio SD に録音した曲が再生されない。 「録音曲のエラーにより読み込めませんでした」というメッセージが表示される。	他の Audio SD に録音した曲のデータをコピーしたため。	他の Audio SD からコピーした曲を再生することはできません。 サウンドライブラリ編集画面から削除してください。(→ P.252)

DS

症状	考えられること	処置
本機に DS を登録できない。	本機に登録待ち受け画面が表示されていますか。	オーディオソース選択画面(→ P.196) → DS → 登録 の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	すでに本機に DS ソフトが登録されていませんか。	DS の登録を削除してから、登録し直してください。(→ P.310、P.313)
	登録可能な車載機が複数見つかることがあります。	本機に登録待ち受け画面に表示される機器アドレスを確認して、DS 側で選択してください。

1. 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
本機と DS が接続されない。	本機に DS ソフトを登録しましたか	登録してください。 (→ P.310)
	本機に接続待ち受け画面が表示されていますか。	オーディオソース選択画面 (→ P.196) → DS → 接続 の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	別の車載機に DS を登録していませんか。	利用される本機に登録し直してください。(→ P.310)
ゲームの音声が車両のスピーカーから聞こえない。	音量が小さく (音声 OFF に) なっていませんか。	音量を大きくしてください。
	DS が接続されていますか。	本機が DS 接続済み画面であることを確認してください。(→ P.311)
DS との通信が切断された。	他のモードに切り替えていませんか。	オーディオソース選択画面 (→ P.196) → DS → 接続 の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	他の Bluetooth 機器を使用していると切断されることがあります。	ゲームを再開するときは、もう一度接続してください。(→ P.311)
目的地や経由地が設定できない。	目的地と経由地を合わせて 5 力所設定していませんか。	設定できる目的地は最大 5 力所です。目的地を消去してから設定してください。(→ P.120)
	本機に表示される画面によって目的地が設定できないことがあります。	本機に現在地画面を表示したあと、もう一度設定してください。



1. 故障とお考えになる前に

4

情報

1 情報について

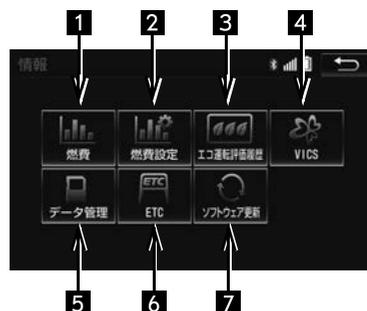
1. 情報画面について 330
情報画面を表示する 330
2. 交通ナビ関連情報について 331
交通ナビ関連情報を表示する 331
3. ソフトウェア更新について 332
Audio SD を使って更新する 333



1. 情報画面について

情報画面を表示する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。



- 装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。
- 情報画面から次の操作を行うことができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	燃費	燃費履歴画面の表示	154
2	燃費設定	燃費設定画面の表示	156
3	エコ運転評価履歴	エコ運転評価履歴画面の表示	157
4	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	171
		割込情報の表示	
5	データ管理	データ管理画面の表示	242
6	ETC*	ETC 画面の表示	373
7	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新画面の表示	332

* 販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを取り付けたときのみ表示されます。ETC システムを取り付けていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

2. 交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているメモリ地点（→ P.125）や設定されている目的地（→ P.97）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 **MENU** ▶ **電話**

2 **交通ナビ** にタッチ。



3 項目にタッチ。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 都道府県名→施設名称の順にタッチ。

メモリ地点の情報を表示する

1 メモリ地点にタッチ。

- 地図を表示するとき
→ **地図** にタッチ。
- リストの並べ方をかえるとき
→ 「メモリ地点を修正する」
（→ P.126）手順 **2** へ。

目的地の情報を表示する

1 目的地にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
→ **目的地** にタッチすると、名称と電話番号を表示する。
- 目的地が複数設定されているときは、リスト画面が表示されます。

3. ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

● 更新対象

- ・ ナビゲーションシステムの性能改善
- ・ ナビゲーションシステムの操作性向上

※ 地図データ、CD タイトル情報 (CDDb) は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、Audio SD を使って行います。(SD メモリーカードが必要です)

※ ご不明点についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- Audio SD を使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、SD メモリーカードが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新中は本機の操作ができません。

Audio SD を使って更新する

更新データを準備する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 「機種識別 ID」を確認する。



3 パソコンで専用サイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/>) にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

● 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

4 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

5 パソコンにダウンロードした更新ソフトを Audio SD にコピーする。

● 更新ソフトは、Audio SD 内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 OPEN にタッチ。

3 Audio SD を挿入する。
(→ P.234)

4 CLOSE にタッチ。

5 更新を実施する にタッチ。

6 はい にタッチ。

7 データがインストールされ、ソフトウェア更新準備が開始される。

● 更新ソフトがインストールされます。約 10 分程度かかります。

● インストールが完了したとき
→ 更新準備完了画面が表示される。

8 エンジンスイッチを OFF (LOCK) にした後、再度 ACC または ON にする。

9 インストールした新しいソフトウェアで起動する。

● ソフトウェア更新が完了すると、画面が自動的に、最後に表示していた画面、または TILT・EJECT 画面に切り替わります。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
→ ソフトウェア更新画面で、更新履歴 にタッチ。

注意

● ソフトウェア更新中は、Audio SD を抜いたり、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にしないでください。



情報

1. 情報について

3. ソフトウェア更新について

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニター
について 336
運転時の注意について 336
2. ガイド画面の出し方 337
ガイド画面の出し方 337
3. ガイド方法の選び方 338
並列駐車（車庫入れ）時に
使用するとき 338
縦列駐車時に使用するとき 339
4. 並列駐車のみかた
（進路表示モード） 340
画面の見方 340
操作のみかた 341
5. 並列駐車のみかた
（駐車ガイド線表示モード） 343
画面の見方 343
操作のみかた 343
6. 縦列駐車のみかた
（縦列ガイドモード） 345
車の動きと画面・音声案内の流れ 345
操作のみかた 347
7. 縦列駐車のみかた
（駐車ガイド線表示モード） 353
画面の見方 353
操作のみかた 353

8. バックガイドモニターの設定 355

- バックガイドモニター
設定画面の表示 355
- 縦列ガイドの音量設定 355
- はじめのコツの表示設定 355

**9. バックガイドモニターに
ついての注意点 356**

- 画面に映る範囲 356
- カメラについて 357
- 画面と実際の路面との誤差について 358
- 立体物が近くにあるとき 359
- バッテリーの脱着後やシステム
初期化中画面がでたときは 360
- バッテリーの脱着後や本機の
載せ替えをしたときは 361

**10. 知っておいて
いただきたいこと 362**

- 故障とお考えになる前に 362

2 バックモニター

1. バックモニターとは 363
2. 操作のみかた 364
操作のみかた 364
画面の見方 364
ガイド線表示の設定 364
3. バックモニターについての
注意点 365
運転時の注意 365
画面に映る範囲 365
カメラ 366
画面と実際の路面との誤差 367



1. バックガイドモニターについて

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。

縦列駐車時は音声でも案内します。

バックガイドモニターは、以下の2通りの後退操作について補助します。

- (1) 並列駐車（車庫入れ等）
- (2) 縦列駐車（路側駐車等）

※ 車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

警告

- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 以下のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください。
 - ・ 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
 - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあります。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ P.358）
- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用にならない車種があります）

☆印はオプションです。

2. ガイド画面の出し方

ガイド画面の出し方

1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを **R** にする。

- 解除するとき
➔ シフトレバーを **R** 以外にする。

知識

- シフトレバーを **R** にしていても、
現在地 ・ **AUDIO** など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

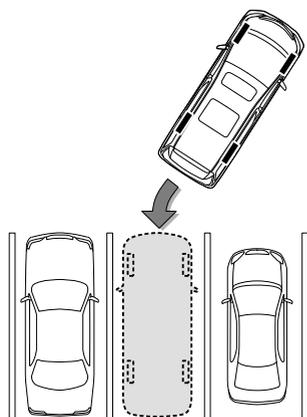


周辺監視

3. ガイド方法の選び方

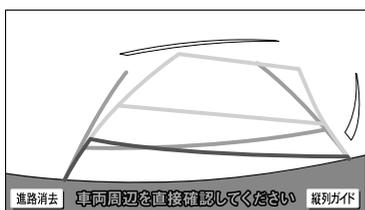
並列駐車（車庫入れ）時に使用する
とき

車庫入れなど並列駐車をするときは、
次のいずれかのモードを使用します。



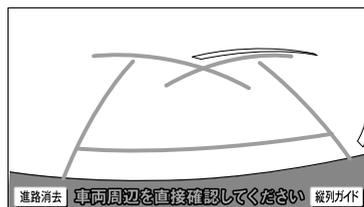
▶進路表示モード（→ P.340）

ハンドル操作に連動した予想進路線
などが表示されるモードです。



▶駐車ガイド線表示モード（→ P.343）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド
線）が表示されるモードです。



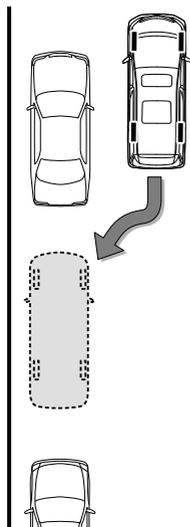
●車両感覚に慣れた方（進路表示モードを
必要とせず駐車できる方）はご使用く
ださい。

モードの切り替え方

- 1 **MENU** を押す。
 - 2 **設定・編集** にタッチ。
 - 3 **「運転支援」** にタッチ。
 - 4 **バックガイドモニター設定** にタッチ。
- 
- 5 **駐車ガイド線表示** にタッチ。
 - 6 **する** または **しない** にタッチ。
- 駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
→ **する** にタッチ。
 - 進路表示モードに切り替えるとき
→ **しない** にタッチ。

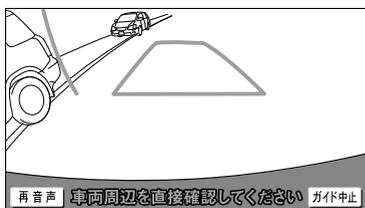
縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



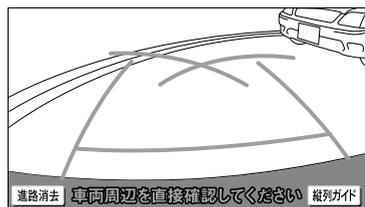
▶ 縦列ガイドモード (→ P.345)

画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。



▶ 駐車ガイド線表示モード (→ P.353)

ハンドルの切り返し点(駐車ガイド線)が表示されるモードです。



● 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替え方

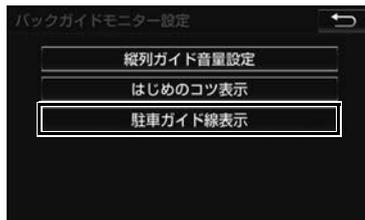
■ 縦列ガイドモードへの切り替え

1 **縦列ガイド** にタッチ。

■ 駐車ガイド線表示モードへの切り替え

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **運転支援**
→ **バックガイドモニター設定**

2 **駐車ガイド線表示** にタッチ。



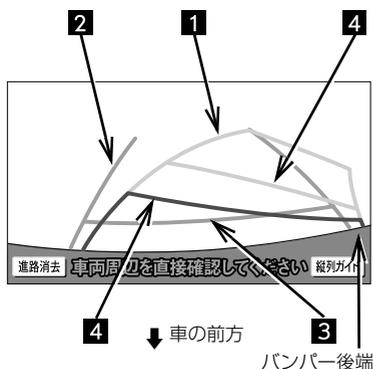
3 **する** にタッチ。



周辺監視

4. 並列駐車のかた（進路表示モード）

画面の見方



1 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示す。

- ハンドル操作と連動します。

2 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

3 距離目安線（緑色 約 0.5m 先）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

4 距離目安線（赤色 約 0.5m 先）
（黄色 約 1m 先）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示します。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5m 先、黄色：約 1m 先）より、右側は近く、左側は遠くに表示されます。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

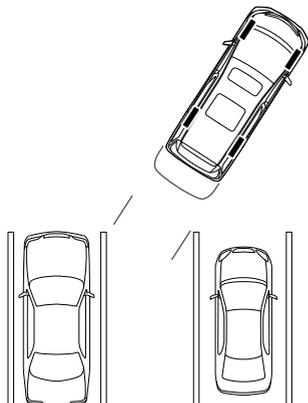
知識

- **進路消去** にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

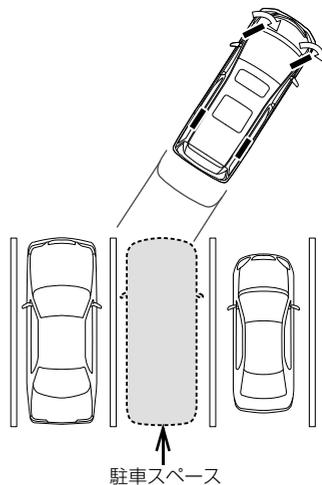
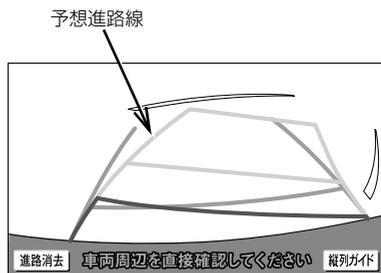
操作のかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- 1 進路表示モードにする。
(→ P.338)
- 2 シフトレバーを **R** にする。

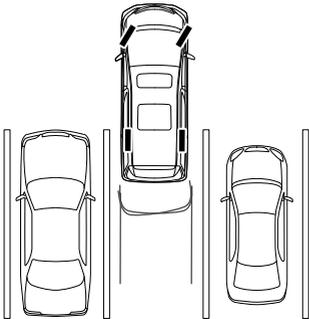
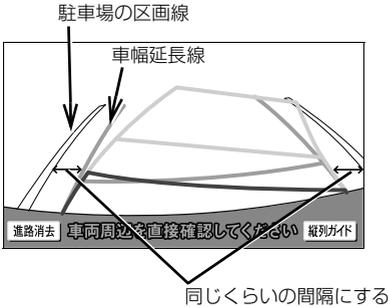


- 3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



4. 並列駐車のかた（進路表示モード）

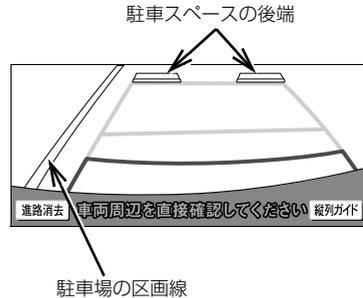
- 4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。



- 5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

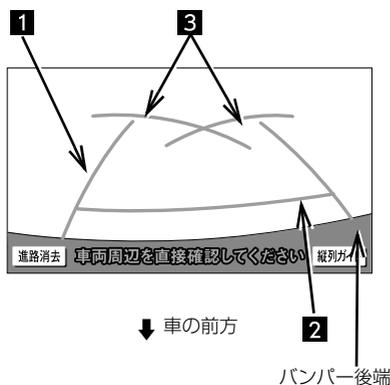
知識

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
 - ・ 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
 - ・ 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



5. 並列駐車のかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



1 車幅延長線表示（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線表示 約 0.5m 先（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線表示（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

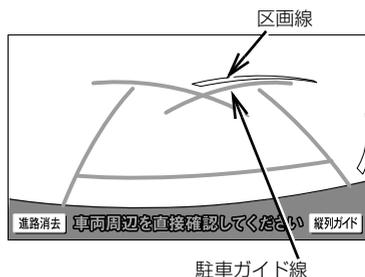
知識

- **進路消去** にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

操作のかた

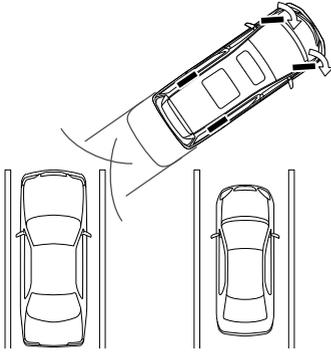
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- 1 駐車ガイド線表示モードにする。
(→ P.338)
- 2 シフトレバーを **R** にする。
- 3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



周辺監視

5. 並列駐車のかた（駐車ガイド線表示モード）



知識

- 画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

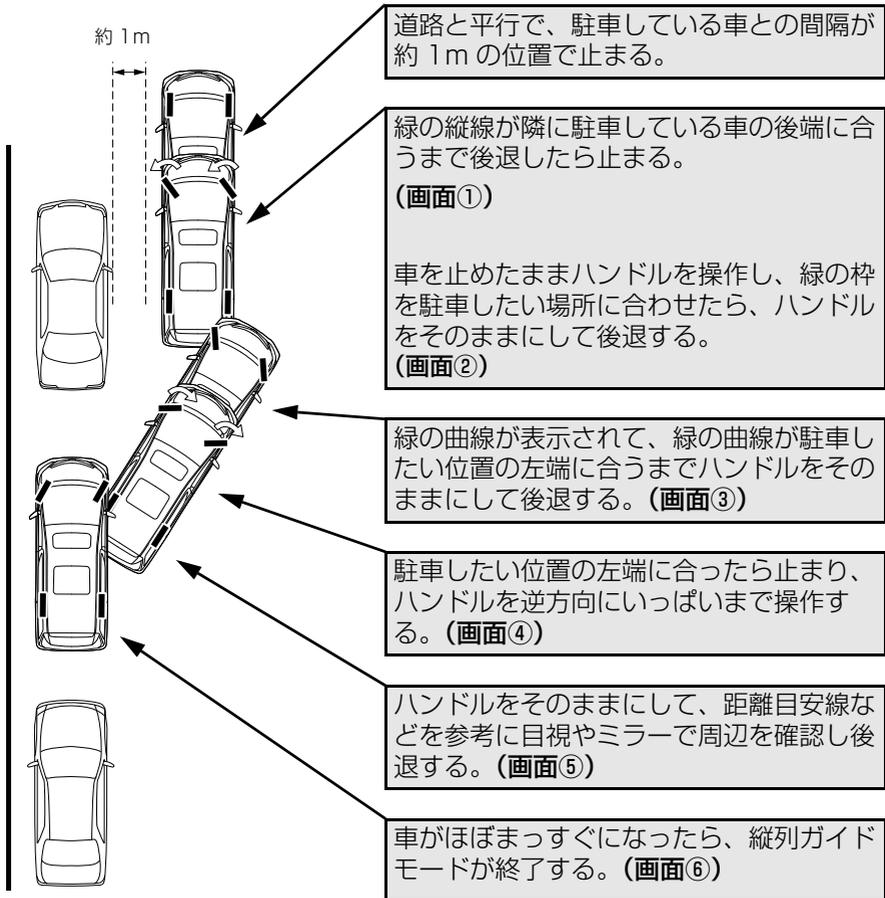
- 4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。
- 5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

6. 縦列駐車のかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉

〈操作内容〉



周辺監視

6. 縦列駐車車のしかた（縦列ガイドモード）

■画面・音声案内の流れ

画面①



緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認してください ガイド中止

音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」
------	--------------------------------




ここまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認してください ガイド中止

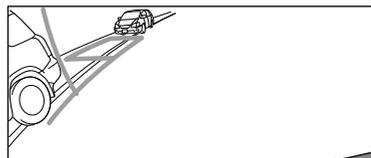
画面②



緑の枠を駐車したい場所に合わせる。

再音声 車両周辺を直接確認してください ガイド中止

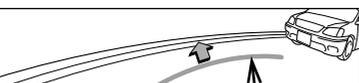
音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」
------	-------------------------------------

再音声 車両周辺を直接確認してください

音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」
------	---------------------------------------

画面③



緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認してください



画面④



再音声 車両周辺を直接確認してください

音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに取り返します。」
------	--

画面⑤

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認した後退する。

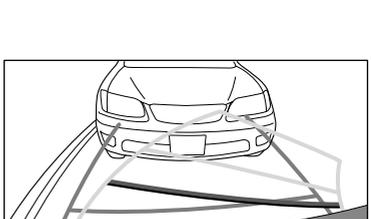


再音声 車両周辺を直接確認してください

音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」
------	--------------------------------



画面⑥



再音声 車両周辺を直接確認してください

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」
------	----------------

警告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

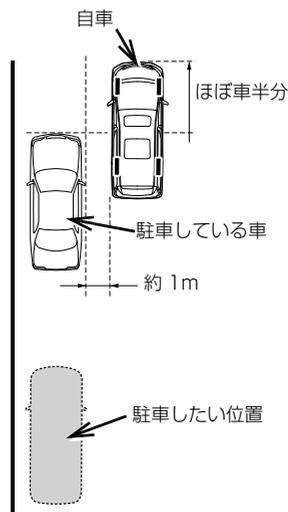
知識

- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを **R** にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

操作のかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときには、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- 1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
 - 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



- 2 シフトレバーを **R** にする。



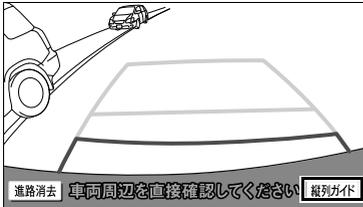
周辺監視

6. 縦列駐車のかた (縦列ガイドモード)

3 車の位置を確認し、**縦列ガイド** にタッチ。

- 画面で、駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。

映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。

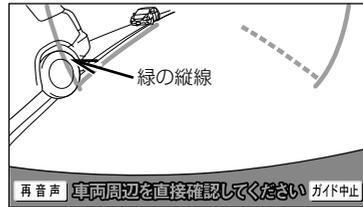


4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、**次へ** にタッチ。

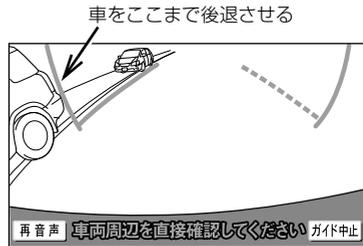


- 前の画面に戻るとき
➔ **ガイド中止** にタッチ。
- この画面を表示させないようにするとき
➔ **次回からこの表示を省略** にタッチ。
- この画面を再度表示させるとき
➔ 「バックガイドモニターの設定」 (→ P.355)

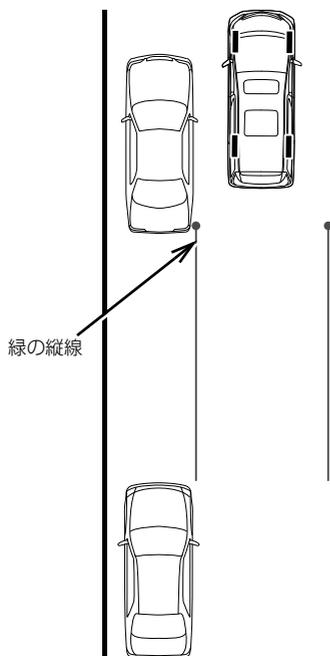
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ (直進状態) にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。



音声案内 「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」



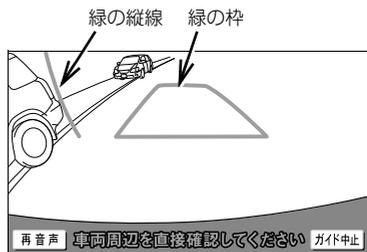
6. 縦列駐車のかた（縦列ガイドモード）



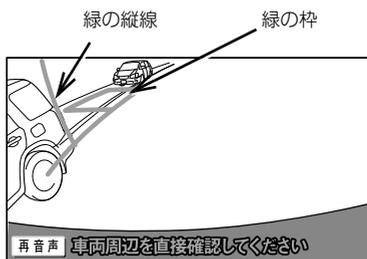
知識

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- シフトレバーを **R** 以外にしても、約 10 秒以内に **R** にもどせば、この画面にもどります。

- 6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。

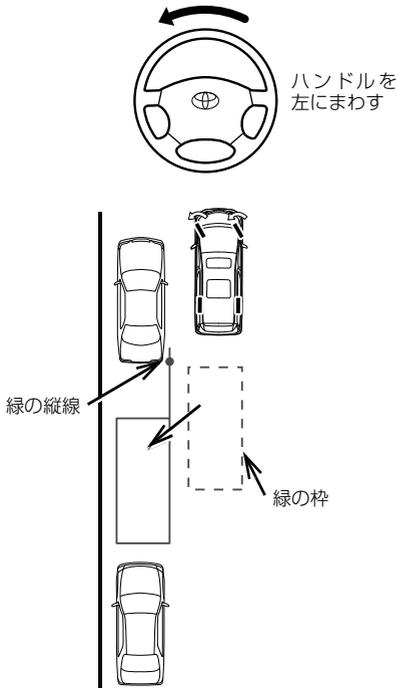


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」
------	-------------------------------------



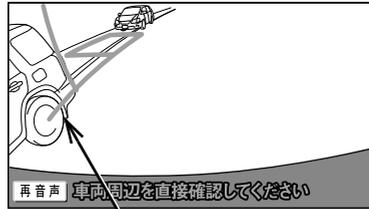
周辺監視

6. 縦列駐車のかた (縦列ガイドモード)

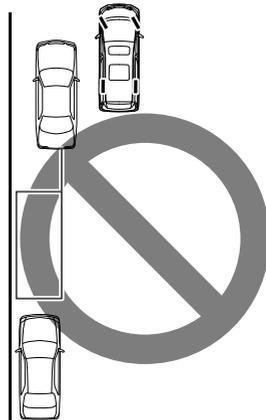


警告

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせて前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



延長線がタイヤにかかっている



6. 縦列駐車のかた（縦列ガイドモード）

知識

- 枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。



- 7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

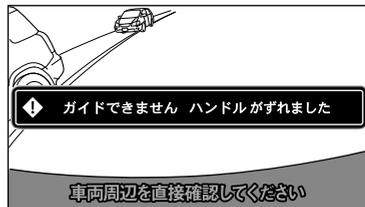
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」
------	---------------------------------------

警告

- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

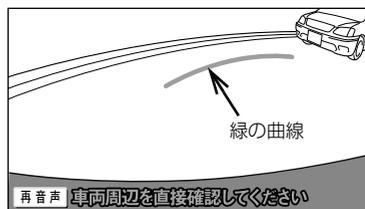
知識

- 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、シフトレバーを R 以外にしてから、再度 R にして最初からやりなおしてください。



- ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
- 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

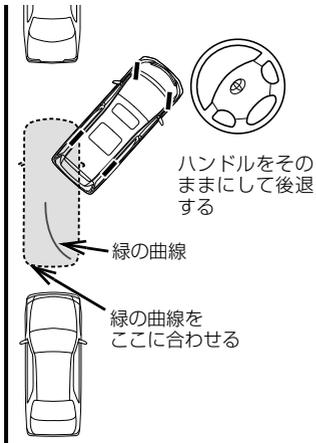
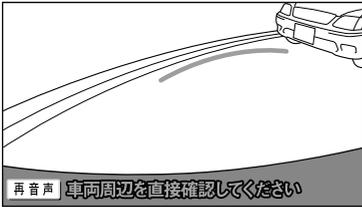
- 8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに取り返します。」
------	--



6. 縦列駐車のかた (縦列ガイドモード)



知識

- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

- 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」
------	---------------------------------

警告

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

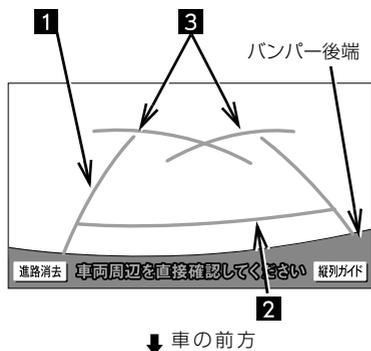
11 車が道路 (または路肩) と平行になったら、ハンドルをまっすぐ (直進状態) にもどす。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

- 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」
------	----------------

7. 縦列駐車のかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

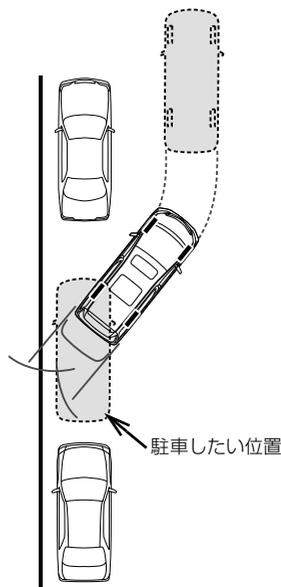
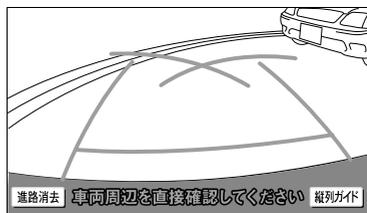
警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

操作のかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- 1 駐車ガイド線表示モードにする。
(→ P.338)
- 2 シフトレバーを **R** にする。
- 3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



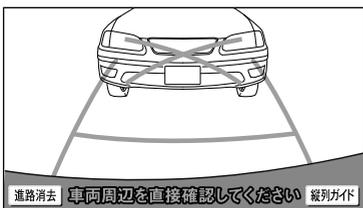
周辺監視

- 4 ハンドルを右いっぱいにもわして、ゆっくり後退する。

警告

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

- 5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して、駐車を終える。



8. バックガイドモニターの設定

バックガイドモニター設定画面の表示

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **「運転支援」** にタッチ。
- 4 **バックガイドモニター設定** にタッチ。

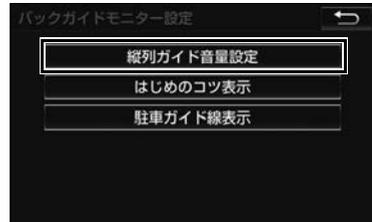


- 5 設定する項目を選択する。
 - 次の項目を設定できます。

項目	ページ
縦列ガイド音量設定	355
はじめのコツ表示	355
駐車ガイド線表示	338、339

縦列ガイドの音量設定

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **「運転支援」**
→ **バックガイドモニター設定**
- 2 **縦列ガイド音量設定** にタッチ。



- 3 設定したい音量にタッチ。
 - 音声を OFF にするとき
→ **消音** にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード (→ P.345) に「はじめのコツ」を表示することができます。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **「運転支援」**
→ **バックガイドモニター設定**
- 2 **はじめのコツ表示** にタッチ。
- 3 **する** または **しない** にタッチ。



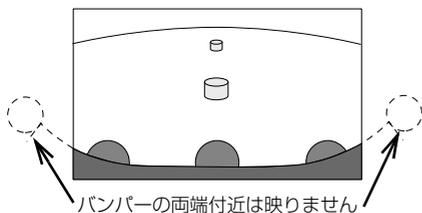
周辺監視

9. バックガイドモニターについての注意点

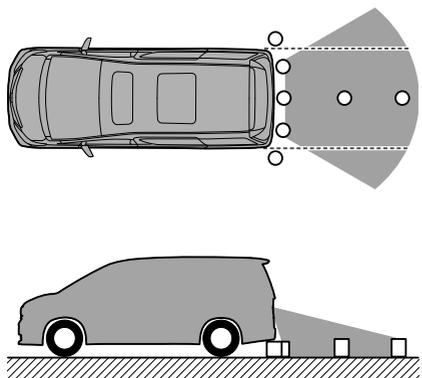
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

画面



映る範囲



- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ P.44）

知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメらは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映りこむことがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ（夜間など）
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラについて

車両の後方に取りつけられています。

カメラのお手入れについて

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

注意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
 - ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - ・ カメラ部は防水構造となっており、取りはずし・分解・改造をしないでください。
 - ・ カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
 - ・ カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - ・ 洗車時に高压洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。



周辺監視

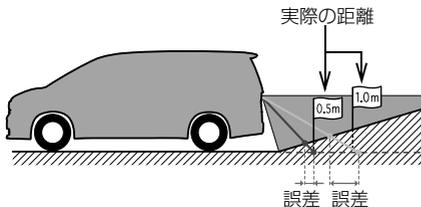
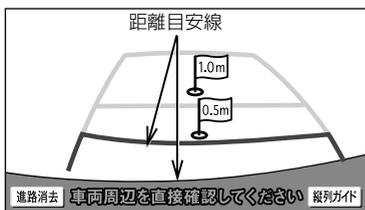
9. バックガイドモニターについての注意点

画面と実際の路面との誤差について

- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

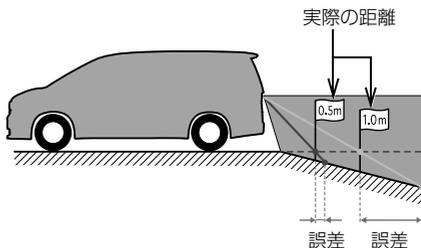
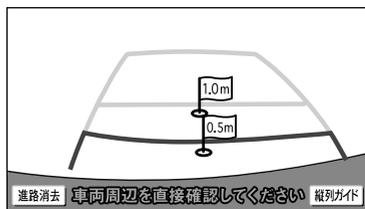
急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



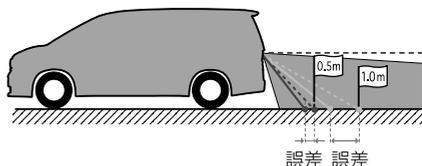
急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

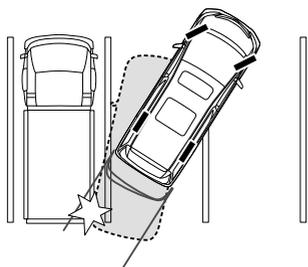
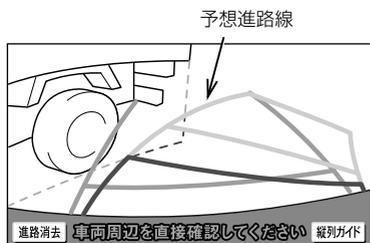


立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

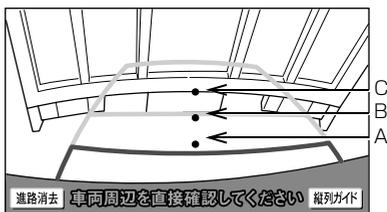
予想進路線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

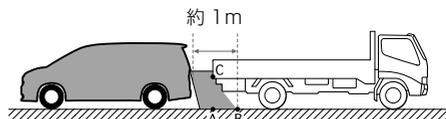


距離目安線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。



A、B、C の位置



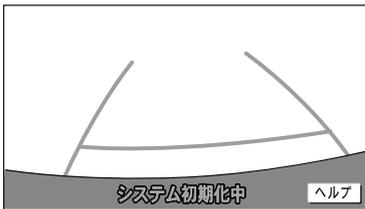
9. バックガイドモニターについての注意点

バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは

以下の場合には、必ず初期化作業を行ってください。

- バッテリーを脱着したとき
- シフトレバーを **P** にして、システム初期化中画面が表示されたとき（バッテリー能力の低下など）

▶ システム初期化中画面



■ 初期化作業

次のいずれかの操作をします。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

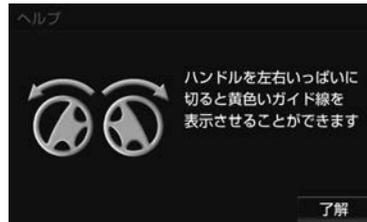
通常の画面にもどれば、設定終了です。

注意

- 上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

知識

- システム初期化中画面で、**ヘルプ** にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示された操作をして、通常の画面にもどれば設定終了です。

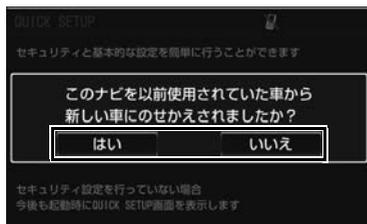
システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

了解 にタッチすると、もとの画面にもどります。

バッテリーの脱着後や本機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や本機を載せ替えた場合、確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

- 1 **はい** または **いいえ** にタッチ。



- 本機を載せ替えたとき
➔ **はい** にタッチ。
- 本機を載せ替えていないとき
➔ **いいえ** にタッチ。
- **はい** にタッチしたとき
➔ 次に表示される画面で **OK** にタッチ。



周辺監視

10. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
予想進路線が表示されない。	「駐車ガイド線表示モード」になっていませんか。	進路表示モードに切り替えてください。(→P.338)

1. バックモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線で駐車時の後退操作を補助する装置です。

※ 車種により、バックモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

警告

- バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。(→ P.365)
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.367)

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。



周辺監視

☆印はオプションです。

2. 操作のしかた

操作のしかた

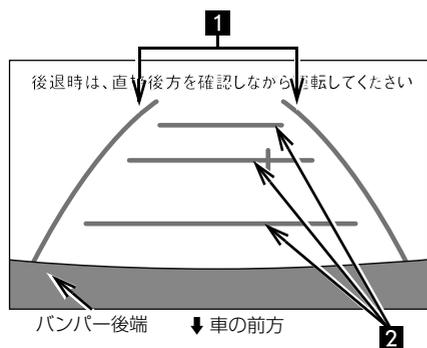
1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを **R** にする。

- 解除するとき
→ シフトレバーを **R** 以外にする。

知識

- シフトレバーを **R** にしていても、
現在地 ・ **AUDIO** など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

画面の見方



1 車幅延長線 (黄色)

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線

車の後方 (バンパー後端から) の距離を示す。

- ハンドル操作と連動しません。
- 約 0.5m 先 (1 本目) ・ 約 1m 先 (2 本目) ・ 約 2m 先 (3 本目) を示します。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- ガイド線は表示する / しないを設定できます。(→ P.364)

ガイド線表示の設定

後方の映像にガイド線を表示する / しないを設定できます。

バックモニター映像表示中
(→ P.364)

- 1 **MENU** を押し続ける。(約 1 秒間)
- 2 **画質・消** にタッチ。
- 3 **ガイド ON** または **ガイド OFF** にタッチ。



3. バックモニターについての注意点

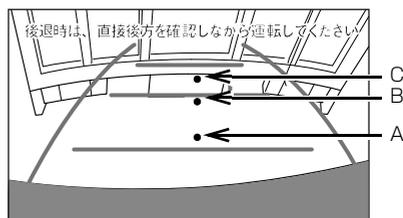
運転時の注意

警告

- バックモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て後退すると車をつつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ 坂道など平坦でない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

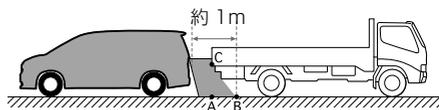
画面に映る範囲

画面



映る範囲

< A、B、C の位置 >



- 距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。
画面では、距離目安線により約 1m 先 (B の位置) にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。
画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。
- バックモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。(→ P.44)



周辺監視

3. バックモニターについての注意点

知識

- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- シフトレバーを **G** にした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックモニターのカメらは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ（夜間など）
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- 後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- 車両によりガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

注意

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
 - ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
 - ・ カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
 - ・ カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - ・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
 - ・ カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
 - ・ スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

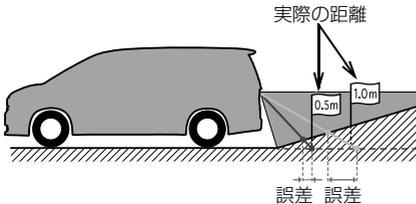
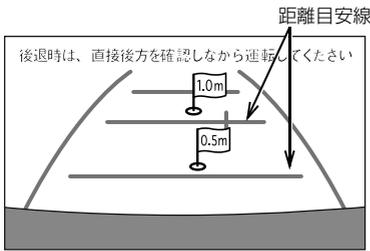
知識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
水滴、雪、泥などのよごれが附着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

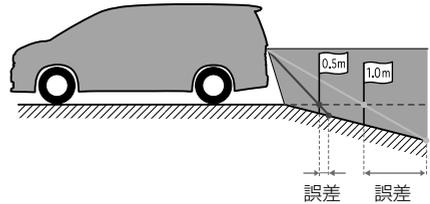
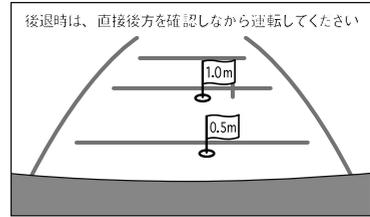
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

■急な上り坂が後方にあるとき



- 実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき



- 実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



周辺監視

2. バックモニター☆

3. バックモニターについての注意点

6

ETC システム

1 ETCシステム

1. ETCシステムについて.....370
 - ETC システムの概要370
 - ETC を利用する前に370
2. ETC 画面の操作373
 - ETC 画面を表示する373
 - ETC 割込表示について373
 - ETC マーク表示について373
 - 履歴を表示する374
 - 統一エラーコードを表示する374
 - ETC 登録情報を表示する374
 - ETC の通知設定をする374
3. エラーコードについて.....376
 - 統一エラーコード一覧について376
4. 知っておいて
 - いただきたいこと378
 - 故障とお考えになる前に378

販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを取り付けたときに使用することができます。本書では、販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムが装着された車両の画面での操作のみを説明しています。ETC 車載器の操作については、ETC 車載器に添付の取扱書をご覧ください。

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置と車両の ETC ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

ETC サービスを利用するには、次の点に注意してください。



警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットの操作を極力しないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

- その他、ETC ユニットを用いたサービス（スマート IC 等）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前



警告

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。
ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

注意

- ETC カードは必ずエンジンまたはハイブリッドシステム始動後に挿入してください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

ETC カードを挿入した後



警告

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットに挿入されていることと、ETC ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- ETC ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前での ETC カードの挿入はエラーの原因となる場合があります。
- ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC ユニットが ETC カードを認証できない場合があります。ETC カード接点のクリーニング方法についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

☆印はオプションです。

料金所を通過するときは

警告

- ETC レーンに設置されている開閉バーは、ETC ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。
- ※ ETC 車線の機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。
- ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
 - ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。
 - ETC レーンで、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。

注意

- ETC カードを ETC ユニットに挿入し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に通行の状況を連絡してください。
- 入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。
- 料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。
- 入口料金所を ETC で通行した場合、出口料金所で ETC 車線をご利用できないとき、あるいは設置されていないときは、一旦停車して ETC カードを係員にお渡しください。
- 有料道路の利用開始から利用終了までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。
料金所以外にも ETC アンテナが設置されている箇所があり、ETC カードには走行中、通行料金の計算に必要な情報が記録されます。途中でカードを入れかえると正しく料金が計算されない場合があります。
- ETC 無線通信ができなかった際に、再度無線通信を行うためのリカバリーアンテナが設置されている料金所があります。対応方法については、料金所係員の指示にしたがってください。



1. ETC システムについて

知識

- 領収書はその場では発行されません。通行時、その場で証明が必要な場合は係員のいる車線（一般車線または混在車線）で一旦停止の上、ETC カードで料金清算し通常の利用明細書をもらってください。現在、ETC で無線走行されたときの利用証明書を、インターネットによりお客様のプリンタから印刷できます。詳細は道路事業者にお問い合わせください。
- 均一料金制の有料道路では、出口部に設置された路側無線装置（フリーフローシステム）との通信により料金が払い戻される場合があるため、出口通過まで ETC ユニットに ETC カードを挿入しておく必要があります。

スマート IC について**警告**

- スマート IC は、ETC 専用インターチェンジです。
所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた ETC ユニットに、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。
- 運営時間、出入方向および対象車種等に制約がありますのでご注意ください。
- スマート IC では、車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置された通信開始ボタンを押してください。
- 開閉バーが開かない場合は、開閉バーの手前で停車してインターホン等で係員を呼び、案内にしたがってください。

注意

- 通行止めなどが実施された場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口が閉鎖されることがあります。この場合、最寄りの IC をご利用ください。

ETC カードの有効期限内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

- ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC または ON にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

警告

- 本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

知識

- 通知設定画面の ETC 音声案内（→ P.374）を「しない」に設定していても、ETC カードの有効期限は案内されます。

2. ETC 画面の操作

ETC 画面を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 ETC 画面が表示される。



ETC カードメッセージについて

現在の ETC ユニットの状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC ユニットに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示について

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

知識

- 地図を表示しているときの通行料金案内は、通知設定画面の ETC 割込表示 (→P.374) を「しない」に設定しているときでも、画面左上に表示されます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部のステータスバーに ETC マークが表示されます。



- ETC マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC マークは表示されません。

履歴を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 履歴情報表示 にタッチ。

3 履歴表示を切り替える。

最新 : 最新の履歴に戻る

詳細 : 利用区間を表示する

警告

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。(最大 100 件)
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 エラー発生時、登録情報表示 にタッチ。

ETC 登録情報を表示する

お客様の車の ETC ユニットに登録された情報が表示されます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

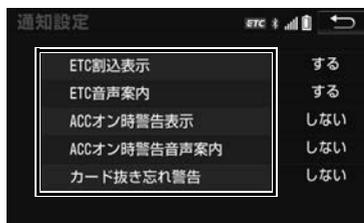
2 登録情報表示 にタッチ。

- エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ETC → 通知設定

2 設定したい項目にタッチ。



3 **する** または **しない** にタッチ。

次の設定を変更することができます。

項目	内容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」 (→ P.373)
ETC 音声案内	ETC ユニットを利用するときに、音声を出力します。
ACC オン時警告表示	エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
ACC オン時警告音声案内	エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを ACC から OFF (LOCK) にしたとき、カードの抜き忘れを ETC ユニットからの音声で警告します。

知識

- 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。
ETC 画面の **登録情報表示** で確認してください。(→ P.374)



3. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。

この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

(例) エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。

音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」

画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード挿入異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードが通信時に挿入されていない ETC カードの挿入状態が悪い 	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードへの読み出し、書込みエラー ETC カードと ETC ユニットの接点不良 (ETC カードアクセス中の瞬断) 読み出し中、書込み中カードのイジェクト 	<p>【ETC カード挿入時】 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。</p> <p>【ETC ゲート通過前】 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。</p> <p>【ETC ゲート通過後】 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC/一般 共用レーンを含む）へ進入してください。</p>
03	ETC カード異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードが故障している ETC カード以外のカードが挿入され、通信しない ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い） 	<p>挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。</p> <p>それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。</p>
04	ETC ユニット故障	自己診断結果により、ETC ユニットが故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
05	ETC カード情報の異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードとの認証エラー ETC カード以外の IC カードが挿入 認証中 ETC カードのイジェクト 未セットアップ状態での ETC カードの挿入 	<p>挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などを確認のうえ、再度挿入してください。</p> <p>それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。</p>
06	ETC ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	
	ETC アンテナ接続異常	ETC アンテナの結線が外れている場合	カードを抜くと異常警告が止まります。ETC の利用を中止して、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

知識

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC ユニットからブザー音のみが出力されます。
 - ・ 通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.375）を「しない」に設定したとき
 - ・ ナビゲーションの音量設定画面（→ P.37）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔07〕と通知されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・**登録情報表示**で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。



4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ETC の操作でお困りの際は、まず以下の表にもとづき確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
ETC の料金を音声案内しない。	ETC の通知設定で ETC 割込表示 を しない 、 ETC 音声案内 を しない の設定にしているませんか。	ETC の通知設定で ETC 割込表示 を する 、 ETC 音声案内 を する にしてください。
ETC 履歴情報を表示できない。	ETC カードは挿入されていますか。	ETC カードを挿入してください。

4. 知っておいていただきたいこと



7

ハンズフリー

1 お使いになる前に

- 1. ハンズフリーについて.....382
 - Bluetooth 携帯電話について..... 382
 - ハンズフリーが使用できないとき 383
 - お車を手放すとき 383
 - 音声について 384
 - 受信レベル表示について 385
 - 電池残量表示について 385
 - Bluetooth 接続状態表示について 386
- 2. Bluetooth機器使用上の
注意事項について387
 - Bluetooth オーディオと
同時に使用するとき 387

2 ハンズフリーの基本操作

- 1. ハンズフリーの準備をする388
 - ハンズフリーの設定をする..... 388
 - 携帯電話を登録する 388
 - 携帯電話を接続する 388
 - Bluetooth 接続の再接続について 391
- 2. 電話をかける／受ける.....392
 - ダイヤル発信する 392
 - 電話を切る..... 393
 - 電話を受ける 393

3 ハンズフリーの便利な使い方

- 1. 色々な方法で電話をかける394
 - 電話画面を表示する.....394
 - 電話帳から発信する.....394
 - 履歴から発信する395
 - ワンタッチ発信する.....396
 - ナビ画面から発信する.....396
 - 携帯電話本体から発信する397
- 2. 着信中画面の操作398
 - 電話を保留する（応答保留）.....398
 - 着信を拒否する398
 - 着信音量を調整する.....398
- 3. 通話中の操作399
 - 受話音量を調整する.....399
 - 送話音量を調整する.....399
 - 送話音をミュート（消音）する399
 - 通話を転送する400
 - 割込通話の操作400
 - 10 キー入力する401
- 4. 簡易画面について402

4 ハンズフリーの設定を変更する

1. 設定・編集画面を表示する.....403
電話の設定・編集をする.....403
Bluetooth の設定・編集をする.....403
2. 音量の設定をする.....404
音量設定画面を表示する.....404
3. 電話帳を編集する.....405
電話帳について.....405
電話帳設定画面を表示する.....405
携帯電話の電話帳データを
転送する.....406
電話帳に新規データを追加する.....409
電話帳のデータを修正する.....410
電話帳のデータを削除する.....411
ワンタッチダイヤルを登録する.....411
ワンタッチダイヤルを削除する.....412
履歴データを削除する.....412

4. ハンズフリーの詳細設定を
変更する.....413

5. Bluetooth設定をする.....414
Bluetooth 電話機の登録を
削除する.....414
使用する携帯電話を選択する.....414
電話機詳細情報を確認する.....415
電話機詳細情報を表示する.....415
本機の Bluetooth 情報を編集する.....417

5 ステアリングスイッチの操作

1. ステアリングスイッチで
操作する.....419

6 こんなときは

1. 故障とお考えになる前に.....420

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をお買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/>) でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1. ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※
(以下「携帯電話」)を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/>) でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.1.1 以上 (Ver.3.0 を推奨)

■対応 Profile

- HFP (Hands Free Profile) : Ver.1.0 以上 (Ver.1.6 を推奨)
- OPP (Object Push Profile) : Ver.1.1 を推奨
- PBAP (Phone Book Access Profile) : Ver.1.1 を推奨

⚠ 警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短かにしてください。

注意

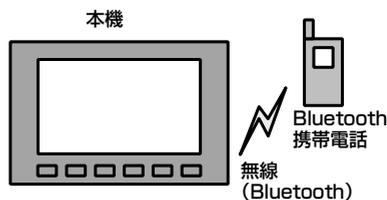
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線 (Bluetooth) を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットなどに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態ですぐハンズフリーがご利用いただけます。



※ 本システムでは、有線 (ケーブル) 接続の携帯電話はご利用になれません。

注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
 - ・ 通話エリア外るとき
 - ・ 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
- また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。
- ・ 携帯電話から電話帳データを転送中るとき
 - ・ 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - ・ 携帯電話が故障しているとき
 - ・ 携帯電話が本機に接続されていないとき
 - ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - ・ 携帯電話の電源が OFF のとき
 - ・ 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき

- ・ 本機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
(切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。)
- ・ その他、携帯電話自体が使えないとき

知識

- 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.47)

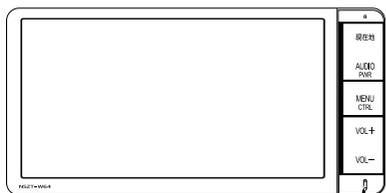
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

- ハンズフリーでは、次の情報が初期化されません。
 - ・ 電話帳データ (画像データ含む)
 - ・ 発信または着信の履歴データ
 - ・ ワンタッチダイヤル
 - ・ Bluetooth 電話機の登録情報
 - ・ ハンズフリー関連の設定・編集項目

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。



マイク

- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュート（消音）されません。

知識

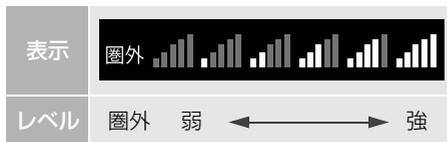
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声は相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
 - ・ 通話相手の音声が車外にもれる。
 - ・ 通話相手側にエコーが聞こえる。
- 音声は大きくはっきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・ エアコン送風の音が大きいとき
 - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機、DS、スマートフォン）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。



▶ 携帯電話使用時

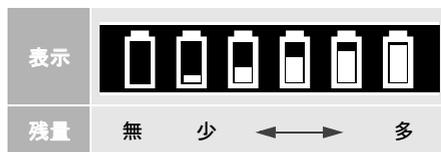


知識

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
 - ・ 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
 - ・ 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。

電池残量表示について

携帯電話の電池残量の目安を表示します。



知識

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。

Bluetooth 接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。



表示	接続状態
 (青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
 (灰色)	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P.414) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.42)

知識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
 - ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
 - ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき
- Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

2. Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

知識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
 - ・ 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
 - ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
 - ・ ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が続けられなくなります。
- 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をお買い上げの販売店、またはトヨタのパソコンサイト (<http://toyota.jp/dop/navi/update/>) でご確認ください。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話の設定をします。(→ P.42)

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、携帯電話を本機に初期登録する必要があります。(→ P.42)

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、音声途切れることがあります。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続 (→ P.418) を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

Bluetooth 接続確認案内

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内 (→ P.418) で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→ P.386)

知識

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にした後、携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
- 携帯電話の機種によってはエンジンスイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- 電話帳自動転送や履歴自動転送 (→ P.407) を「する」に設定しているときに PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。

自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.389)

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態になっているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

電話画面表示中 (→ P.394) → **接続**
または

MENU ▶ **設定・編集** → **Bluetooth**

→ **機器登録・接続**

1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

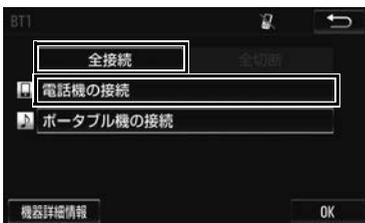
2 使用する携帯電話にタッチ。



- または にタッチすると携帯電話の接続を開始します。

1. ハンズフリーの準備をする

- 3 **全接続** または **電話機の接続** にタッチ。



- 4 Bluetooth 接続画面が表示される。



- 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

知識

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

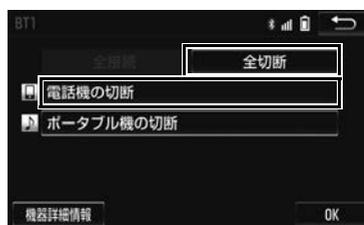
携帯電話の接続を切る

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**
または
MENU ▶ **電話** → **接続**

- 2 接続を切る携帯電話にタッチ。



- 3 **全切断** または **電話機の切断** にタッチ。



Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.389)

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	389
改めて携帯電話を選択する	414

2. 電話をかける／受ける

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

1 停車中に **MENU** を押す。

2 **電話** にタッチ。

● 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。

はい にタッチすると、携帯電話の登録(→P.42)を開始します。

3 電話番号を入力する。



4 **電話** にタッチ。

● 発信できたとき

➔ 発信画面が表示される。

・ 発信音が出力された後、呼び出し音が出力されます。

● 相手が電話に出たとき

➔ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

● その他の電話のかけ方について

➔ 「色々な方法で電話をかける」(→P.394)

知識

- 電話画面を表示しているときに走行を開始すると、10 キーが操作できなくなります。
- Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→P.42)
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてモトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」(→P.401)をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

- 発信中または通話中画面で  にタッチ。
- 携帯電話本体で電話を切る。
(携帯電話接続時)

知識

- 電話が切れると1つ前の画面に戻ります。

電話を受ける

着信があると、表示中の画面に関わらず着信画面と着信音で着信を知らせます。着信画面は、着信割込み表示の設定(→P.413)により表示画面が異なります。ここでは、「全画面」に設定したときの画面で説明します。

簡易画面については、「簡易画面について」(→P.402)をご覧ください。

▶ 着信中の全画面表示



1  にタッチ。

知識

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート(消音)します。ただし、ハンズフリーより優先される音声(ナビ案内など)は、ミュートされません。
- ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
 - ・ 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 着信音は携帯電話の着信音出力されません。マナーモードなどで、携帯電話の着信音を出力できないときは、本機に登録されている着信音出力されます。
 - ・ 着信音については、
 - ①車両のスピーカーから聞こえる
 - ②携帯電話から聞こえる
 - ③両方から聞こえる
 など、機種によって異なります。
 - ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
 - ・ Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- PBAPに対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示(→P.413)が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

電話画面を表示する

- 1 停車中に **MENU** を押す。
- 2 **電話** にタッチ。



- この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	392
電話帳発信	本機の電話帳から電話をかける	394
履歴発信	発信または着信の履歴から電話をかける	395
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	396

- ナビに登録しているデータからも電話をかけることができます。(→ P.396)

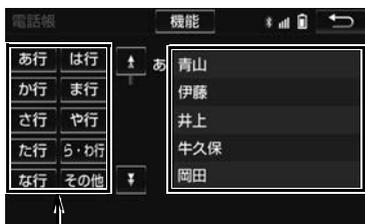
電話帳から発信する

電話番号を本機に登録(→ P.405)しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

電話画面(→ P.394)

- 1 **電話帳** にタッチ。
 - 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
 - ・ PBAP に対応していない携帯電話の場合、**編集** にタッチすると、電話帳名称変更画面(→ P.409)が表示されます。**転送** にタッチすると、電話帳転送画面(→ P.406)が表示されます。
 - ・ PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発信履歴は自動で同期を取ります。
 - ・ PBAP に対応している携帯電話で電話帳自動転送(→ P.407)が「しない」に設定されている場合、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると転送を行います。

2 希望の通話相手にタッチ。



ショートカットスイッチ

- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。

その他 : 英数字ショートカット

50音 : 50音ショートカット

- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。

(例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 希望の電話番号 → の順にタッチ。

- PBAPに対応している携帯電話で画像表示設定(→ P.413)を「する」に設定している場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。

履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

最新の発信履歴 / 着信履歴をそれぞれ10件まで表示できます。

1 電話画面(→ P.394) → 履歴

2 希望の通話相手にタッチ。



発信 / 着信 / 不在着信

3 にタッチ。

知識

- 発信履歴 / 着信履歴は10件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
 - ・ 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
 - ・ 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
 - ・ 不在着信および着信拒否も登録されます。
 - ・ 相手先電話番号の情報がなければ、「通知不可」と登録されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→ P.411）しておくことで簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

電話画面（→ P.394）

1 **ワンタッチダイヤル** にタッチ。

2 発信したい電話番号にタッチ。

● ページを切り替えるとき

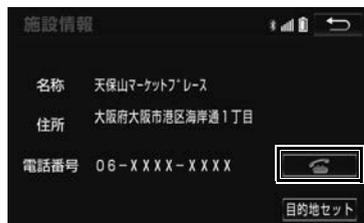
→ **ワンタッチ1** · **ワンタッチ2** · **ワンタッチ3** のいずれかにタッチ。



ナビ画面から発信する

ナビ画面で  が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1  にタッチ。



電話画面の **交通ナビ** の操作

● 電話画面で **交通ナビ** にタッチすると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。（→ P.331）



携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

- 携帯電話での通話中は、**ハンズフリー通話** 以外のスイッチは、操作できません。
- 画面スイッチを使用したいとき
➔ 通話転送の操作をする。(→ P.400)

警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知識

- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

2. 着信中画面の操作

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

- 1 着信中  にタッチ。



- 応答保留を解除して通話するとき
→  にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
→  にタッチ。

知識

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

- 1  にタッチし続ける。
- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

着信音量を調整する

- 1  または  にタッチ。

3. 通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- (1) 受話音量の調整
- (2) 送話音量の調整
- (3) 送話音のミュート
- (4) 通話の転送
- (5) 割込通話
- (6) 10 キーの入力

▶ 通話中画面



知識

- ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - ・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
 - ・ ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチを操作すると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチが ACC または ON であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.400)

受話音量を調整する

- 1 **-** または **+** にタッチ。

送話音量を調整する

- 1 **送話音量** にタッチ。
- 2 調整する音量にタッチ。

知識

- 送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなる場合があります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできません。

- 1 **ミュート** にタッチ。
 - ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
 - ミュートを解除するとき
→ 再度 **ミュート** にタッチ。

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

携帯電話に通話転送する

1 通話中画面で、**電話機通話** にタッチ。

● 携帯電話での通話中は、

ハンズフリー通話 以外のスイッチは、操作できません。

知識

● 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

本機に通話転送する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

● 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、画面のスイッチでの操作ができます。

1 通話中画面で **ハンズフリー通話** にタッチ。

知識

- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。

割込通話の操作

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

知識

- 電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。

割込着信があったとき

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込着信中であることを知らせます。

- 1  にタッチ。



- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

割込着信を拒否する

- 1  にタッチ。

知識

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

10 キー入力する

通話中に10キー入力が必要な場合は、10キーを表示させます。

ハンズフリー通話中

- 1  にタッチ。
- 2 スイッチにタッチして入力する。
 -  にタッチすると、電話が切れます。

知識

- 走行中は安全上の配慮から10キーは操作できません。

4. 簡易画面について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

知識

- 電話が切れる、または電話を切ると、簡易表示画面や TEL 音声画面は解除されます。

簡易表示画面について

電話詳細設定の着信割込み表示（→ P.413）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

▶ 電話着信時



- ステアリングスイッチの  ボタンを押すと、着信中の電話と通話することができます。（ステアリングスイッチ装着車のみ）

TEL 音声画面について

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えた場合に表示されます。



1. 設定・編集画面を表示する

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から、電話の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」

2 各設定をする。



- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

項目／内容	ページ
音量設定 ハンズフリー各音の音量調整・設定	404
電話帳設定 電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 履歴データの削除	405
電話詳細設定 ハンズフリー画面の設定	413

Bluetooth の設定・編集をする

設定・編集画面から、Bluetooth の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「Bluetooth」

2 各設定をする。



- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

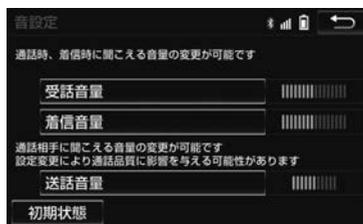
項目／内容	ページ
機器登録・接続 携帯電話／ポータブル機の登録・削除、使用する携帯電話／ポータブル機を選択、詳細設定	42 414
Bluetooth 詳細設定 Bluetooth 自動接続の設定 Bluetooth の詳細設定	417

2. 音量の設定をする

音量設定画面を表示する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
「電話」 → 音量設定

2 各設定をする。



- 初期設定の状態に戻るとき
➡ **初期状態** にタッチ。
- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

着信音量

+、**-** にタッチすると、ハンズフリーの着信音量を調整できます。

受話音量

+、**-** にタッチすると、受話音量を調整できます。

送話音量

+、**-** にタッチすると、送話音量を調整できます。

3. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- (1) 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。
(→ P.406)
- (2) 本機の電話帳に新規登録する。
(→ P.409)
- (3) 履歴データから登録する。
(→ P.409)

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

知識

- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、2500 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。
- この電話帳は、1 名につき最大 3 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳設定画面を表示する

- 1 MENU ▶ 設定・編集 →
「電話」→ 電話帳設定

- 2 電話帳の設定をする。



- 電話帳設定画面から、次の項目を設定できます。

機能	ページ
電話帳データの転送	406
電話帳データの新規追加	409
電話帳データの修正	410
電話帳データの削除	411
ワンタッチダイヤルの登録	411
ワンタッチダイヤルの削除	412
履歴データの削除	412

3. 電話帳を編集する

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

●この機能は、OPPかPBAPのどちらかに対応している携帯電話で使用できません。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を併せてご覧ください。

▶PBAPに対応している携帯電話で、「電話帳自動転送」を「する」に設定しているとき（→P.413）

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** → **電話帳編集**
 または
電話画面（→P.394）→ **電話帳** →
機能

2 **転送** にタッチ。



3 **電話帳転送** にタッチ。

●スマートフォン連携（→P.182）を「する」に設定しているときは、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、転送を開始します。

4 電話帳転送画面が表示されます。

●携帯電話の機種によっては、携帯電話の操作が必要な場合があります。



●携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

●転送が終了したとき、メッセージが表示され転送が完了します。

▶OPPに対応している携帯電話、またはOPPとPBAPに対応している携帯電話で「電話帳自動転送」を「しない」に設定しているとき（→P.413）

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** → **電話帳編集**
 または
電話画面（→P.394）→ **電話帳** →
機能

1 **転送** にタッチ。

●OPPに対応している携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

・電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。

上書き：現在のデータに上書きする

追加：現在のデータに追加する

・スマートフォン連携（→P.178）を「する」に設定しているときやDS（→P.310）が接続中のときは、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、転送を開始します。



・携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

- OPPとPBAPに対応している携帯電話で「電話帳自動転送」(→ P.413)を「しない」に設定している場合、**電話帳転送**にタッチし、**上書き** または **追加** にタッチすると、電話帳転送が行われます。

- ・ **上書き** : 現在のデータに上書きする
- ・ **追加** : 現在のデータに追加する
- ・ スマートフォン連携 (→ P.178) を「する」に設定しているときやDS (→ P.310) が接続中のときは、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、転送を開始します。



・携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

知識

- 転送するときは、エンジンを始動した状態で行ってください。
- PBAPによる電話帳データ転送時、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- PBAPに対応している携帯電話の場合、追加・修正をすることができません。追加・修正が必要な場合は、携帯電話側で追加・修正した後に転送してください。

電話帳／履歴データの自動転送の設定をする

▶ PBAPに対応している携帯電話のみ

PBAPに対応している携帯電話とBluetooth接続時に携帯電話の電話帳データや履歴データの自動転送のする／しないを設定できます。

- 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
- 自動転送は、エンジンスイッチをACCまたはONにし、初めて携帯電話がBluetooth接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth接続されたときに行われます

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **電話** → **電話帳設定** → **電話帳編集** → **転送**
または
電話画面 (→ P.394) → **電話帳** → **機能** → **転送**

2 自動転送する項目

(**電話帳自動転送** または **履歴自動転送**) にタッチし、 **する** にタッチ。



転送失敗画面が表示されたとき

転送操作を最初からやり直してください。



知識

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - ・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 4 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
 - ・ 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

知識

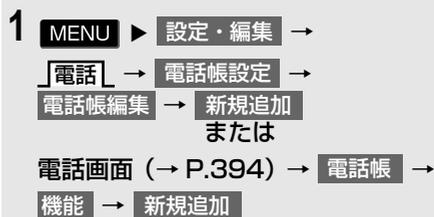
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - ・転送には10分程度かかる場合があります。
 - ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
 - ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
 - ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
 - ・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFFにした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン/ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
 - ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき。
 - ・何らかの原因で転送が中断されたとき。
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetoothオーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、名称読み、電話番号(最大3件)、アイコン(各電話番号にそれぞれ1つ)

**2 各項目を編集する。(→ P.410)**

- 履歴内容画面 (→ P.395) の **新規登録** から、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

知識

- PBAPに対応している携帯電話では、電話帳の新規追加をすることができません。追加が必要な場合は、携帯電話側で追加後転送してください。

3. 電話帳を編集する

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 文字入力画面で名称を入力し、**完了** にタッチ。
- 2 名称読みを入力し、**完了** にタッチ。
- 3 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。
- 4 登録したいアイコンにタッチ。

▶電話番号を追加する場合

- 5 **はい** にタッチ。
→手順 **3** へ。

▶編集を終了する場合

- 5 **いいえ** にタッチ。

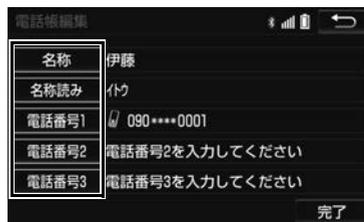
電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** →
電話帳編集 → **編集**
または
電話画面 (→ P.394) → **電話帳** →
機能 → **編集**

- 2 修正したいデータにタッチ。

- 3 各項目のスイッチにタッチして編集する。



- 4 **完了** にタッチ。

知識

- PBAP に対応している携帯電話では、電話帳の修正をすることができません。修正が必要な場合は、携帯電話側で修正後転送してください。

名称、名称読みの編集をする

- 1 編集する項目(**名称**、**名称読み**)にタッチ。
- 2 文字入力画面で入力し、**完了** にタッチ。

電話番号を編集する

1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 **電話番号1** ~ **電話番号3** のいずれかにタッチ。
- 2 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。
- 3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳のデータを削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** →
電話帳編集 → **削除**
または
電話画面 (→ P.394) → **電話帳** →
機能 → **削除**

- 2 削除したいデータにタッチ。



- すべての電話帳削除指定を解除するとき
 → **全選択解除** にタッチ。

- 3 **削除** にタッチ。

- 4 **はい** にタッチ。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.47)

知識

- PBAPに対応している携帯電話で「電話帳自動転送」(→ P.413)を「する」に設定している場合、電話帳データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておく便利です。

ワンタッチダイヤルは、電話帳に登録してある電話番号から選んで登録します。登録は18件までです。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** →
ワンタッチダイヤル編集
または
電話画面 (→ P.394) →
ワンタッチダイヤル → **機能**

- 2 **登録** にタッチ。



- 3 登録したいデータにタッチ。

- 4 登録したい電話番号にタッチ。

- 5 登録したいスイッチにタッチ。

- ページを切り替えるとき
 → **ワンタッチ1** ・ **ワンタッチ2** ・
ワンタッチ3 のいずれかにタッチ。
- 登録済みのスイッチにタッチしたとき
 → 置き換えてもよいときは **はい** にタッチ。

ワンタッチダイヤルを削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** →
ワンタッチダイヤル編集 → **削除**
または
電話画面 (→ P.394) →
ワンタッチダイヤル → **機能** → **削除**

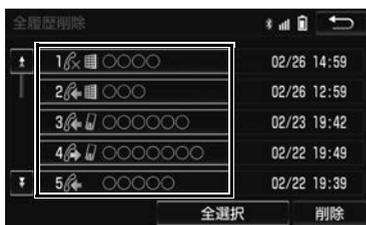
- 2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。
- 3 **削除** にタッチ。
- 4 **はい** にタッチ。

履歴データを削除する

設定・編集画面から削除する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
電話 → **電話帳設定** → **履歴削除**

- 2 **全履歴削除** ・ **着信履歴削除** ・
発信履歴削除 のいずれかにタッチ。
- 3 削除したいデータにタッチ。



- 4 **削除** にタッチ。
- 5 **はい** にタッチ。

知識

- PBAPに対応している携帯電話で「履歴自動転送」(→ P.413)を「する」に設定している場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「履歴自動転送」を「しない」にしてから行ってください。

電話画面から削除する

- 1 **電話画面** (→ P.394) → **履歴**
- 2 **全履歴** ・ **着信履歴** ・
発信履歴 のいずれかにタッチ。
- 3 **削除** にタッチ。
- 4 削除したいデータにタッチ。



- 5 **削除** にタッチ。
- 6 **はい** にタッチ。

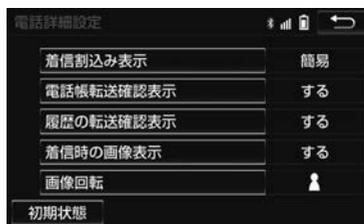
知識

- PBAPに対応している携帯電話で「履歴自動転送」(→ P.413)を「する」に設定している場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「電話」 → 電話詳細設定

2 各設定をする。



- 詳しくは、次の表をご覧ください。
- 初期設定の状態に戻すとき
→ **初期状態** にタッチ。

着信割込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を **全画面** または **簡易** から選択できます。

- **全画面** : 着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、画面のスイッチで操作ができます。
- **簡易** : 着信中、通話中および応答保留中に電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、ステアリングスイッチ（装着車のみ）および画面のスイッチで操作ができます。

電話帳転送確認表示

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

履歴の転送確認表示

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

着信時の画像表示

PBAP に対応している携帯電話で電話帳データに画像が転送された場合に、着信時に画像を表示する／しないを選択できます。

画像回転

PBAP に対応している携帯電話で「着信時の画像表示」を「する」に設定している場合、着信時に表示される画像の方向を変更することができます。



5. Bluetooth 設定をする

ここでは、携帯電話と Bluetooth に
関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	42 414
携帯電話の選択	414
ポータブル機の選択	296
本機の Bluetooth 設定の変更	417

Bluetooth 電話機の登録を 削除する

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「Bluetooth」 → **機器登録・接続** →
削除

2 削除したい携帯電話にタッチ。



3 **はい** にタッチ。

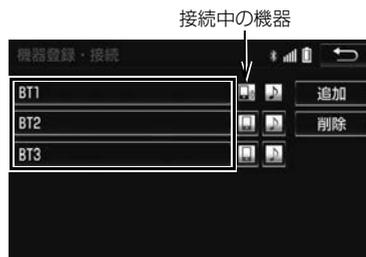
使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用
する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときは、
必要に応じて携帯電話を選択します。

1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
「Bluetooth」 → **機器登録・接続**

2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状
態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。



● または にタッチすると携帯電話
の接続を開始します。

4 **全接続** または **電話機の接続** にタッ
チ。

- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のとき
は、確認のメッセージが表示されます。
切断してよければ、**はい** にタッチしま
す。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、
携帯電話が使用できます。

● 携帯電話の登録について

→ 「Bluetooth 機器を初期登録する」
(→ P.42)

知識

- 携帯電話はポータブル機も含めて本機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。
- Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声途切れることがあります。
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

電話機詳細情報を確認する

本機に登録されている携帯電話の情報を確認することができます。

- 次の項目を確認することができます。

項目	内容
機器名称	本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

電話機詳細情報を表示する

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** →
Bluetooth → **機器登録・接続**
- 2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチ。
- 3 **機器詳細情報** にタッチ。
- 4 各項目の設定・確認をする。



- ・ 機器名称の変更
- ・ Bluetooth オーディオとの接続方法 (Bluetooth オーディオ使用時)
- ・ スマートフォン連携の設定 (→ P.182)
- 初期設定の状態に戻すとき
 → **初期状態** にタッチ。

知識

- 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。

5. Bluetooth 設定をする

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (名称変更したい電話機) → 機器詳細情報 → 機器名称

- 2 文字入力画面で名称を入力し、完了 にタッチ。

知識

- 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。

- 1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (接続したい Bluetooth オーディオ) → 機器詳細情報

- 2 接続方法 にタッチし、車載機から または ポータブル機から にタッチ。

- 本機側から接続するとき
➔ 車載機から にタッチ。
- Bluetooth オーディオから接続するとき
➔ ポータブル機から にタッチ。

本機の Bluetooth 情報を編集する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

- Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
PIN コード	携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまう場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

- 1 **MENU** ▶ **設定・編集** → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定**

2 各項目の設定・確認をする。



- この画面で、次の操作を行うことができます。
- 初期設定の状態に戻すとき
→ **初期状態** にタッチ。

項目	ページ
機器名称の変更	417
PIN コードの変更	418
ACC ON 時の自動接続の設定	418
電話機の接続確認案内の設定	418
ポータブル機の接続確認表示の設定	298

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

- 1 **機器名称** にタッチ。
- 2 文字入力画面で入力し、**完了** にタッチ。

(知識)

- 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称 (→ P.298) も同時に変更されます。

PIN コードを変更する

PIN コードは 4～8 桁の任意の数字に変更することができます。

- 1 **PIN コード** にタッチ。
- 2 4～8 桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチ。

- 修正するとき
➔ **修正** にタッチ。

自動で電話機を接続する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

- 1 **ACC ON 時の自動接続** にタッチし、**する** にタッチ。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき
➔ **しない** にタッチ。

知識

- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

電話機の接続確認案内を設定する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認表示

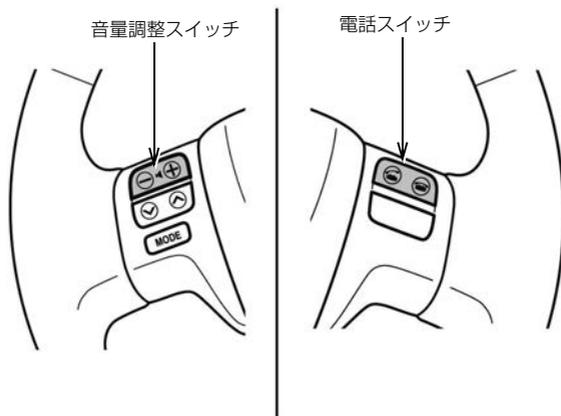


- 1 **電話機の接続確認案内** にタッチし、**する** にタッチ。

- 解除するとき
➔ **しない** にタッチ。

1. ステアリングスイッチで操作する

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。



スイッチ	使用状況	機能
音量調整 スイッチ ⊖・⊕	着信時 ハンズフリー会話時	<ul style="list-style-type: none"> ＋：受話音量・着信音量が大きくなります。 －：受話音量・着信音量が小さくなります。 ●押し続けても連続して調整できません。
電話スイッチ 	着信時 応答保留時	電話をとることができます。
	 が画面に表示 されているとき	電話をかけることができます。
	ハンズフリー以外の 画面が表示されてい るとき	ハンズフリー画面に切り替わります。
電話スイッチ 	着信時	<ul style="list-style-type: none"> 応答保留することができます。 約 2 秒間長押しすると、着信拒否することができます。
	割込着信時	割込着信を拒否することができます。 約 2 秒間長押しすると、通話を終了します。
	応答保留時	通話を終了することができます。
	発信中 通話中	電話を切ることができます。

知識

- ステアリングスイッチ装着車でご利用いただけます。

1. 故障とお考えになる前に

ハンズフリー / Bluetooth でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ハンズフリー / Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
ハンズフリー / Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。	※	—
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver1.1 以上 (Ver.3.0+EDR を推奨) の携帯電話を使用してください。	※	382

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コードが間違っている。	携帯電話に正しい PIN コードを入力してください。	※	—
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。	※	—
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。	※	42
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。	※	42 414

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。	—	389
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	—
	本機の Bluetooth 自動接続が OFF になっている。	本機の Bluetooth 自動接続を ON にしてください。	—	418
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。	※	42 414

▶ 着信と発信

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。	—	—
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。	※	—

1. 故障とお考えになる前に

▶電話帳

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話帳データの転送 / 自動転送ができない	携帯電話の Profile が電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。	※	—
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。	—	413
	携帯電話の PIN Code を入力していない。	携帯電話で PIN Code を求められているとき、PIN Code を入力してください。PIN Code は "1234" です。	※	—
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。	※	—
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。	※	—
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。	※	—
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。	※	—
電話帳データの編集ができない	携帯電話が PBAP に対応している。	携帯電話側で編集した後、転送してください。	—	413

▶その他の状況

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
エンジンスイッチ ACC または ON の都度、画面上部に Bluetooth 接続状態が表示される	本機の接続確認表示の設定が ON になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認表示の設定を OFF にしてください。	—	418
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。	—	—
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi [®] 機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。	—	—
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。	※	—
		携帯電話の Bluetooth 接続を OFF から ON にしてください。	※	—
		携帯電話の Wi-Fi [®] 接続を OFF にしてください。	※	—
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。	※	—
携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。	※	—		

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

6. こんなときは

1. 故障とお考えになる前に



ご参考に

1 参考情報

1. アフターサービスについて426
2. バッテリーの交換について427
3. お手入れについて429
4. VICS 情報有料放送サービス
契約約款430
5. 仕様について432

2 さくいん

1. 50音さくいん435
2. アルファベットさくいん442



1. アフターサービスについて

保証について

1) 保証の内容

トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場にてトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

(以下、この無償修理を保証修理といいます。) 保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2) 保証の期間、受け方

① 保証の期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3年間とします。

ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

② 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3) 保証しない事項

① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- ・トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など
- ・取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災

② 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）
- ・商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4) 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5) その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

このSDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

知識

- アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. バッテリーの交換について

バッテリー交換をする前に

お車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタル TV 放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信 / 着信履歴	記憶された発信 / 着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
バックガイドモニター (装着車のみ) ※	バックガイドモニターの設定

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択してください。

知識

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。
- 本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。



バッテリーを交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチを ACC または ON にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

次のように画面がかわります。



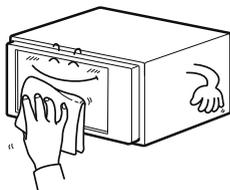
知識

- 以下の場合には表示される画面が異なります。
 - ・ セキュリティを設定している場合は、設定したパスワードを入力してロックを解除してください。(→ P.30)
 - ・ 地図 SD が差し込まれていない場合は地図 SD を挿入してください。(→ P.16)

3. お手入れについて

本機のお手入れ

- 汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

4.VICS 情報有料放送サービス契約約款

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表 視聴料金]

視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。



ご参考に

※ この契約約款は、2013年11月1日変更時のものを掲載しています。

5. 仕様について

本機の仕様について

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■GPS アンテナ

供給電源電圧	4.2 ~ 5.2 (V)
消費電流	9 ~ 30 (mA)
作動温度	-30 ~ +65 (°C)
保存温度	-40 ~ +85 (°C)

■テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ~ 52 チャンネル
液晶パネル	7 型ワイド低反射パネル
画面寸法	157.2 (W) × 82.3 (H) mm
画素数	1,152,000 個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20 °C ~ +65 °C
保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C
バックライト	LED

■ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM…522 ~ 1,629kHz FM…76 ~ 90MHz
実用感度	AM…34dB μ V (S/N20dB) FM…13dB μ V (S/N30dB)
周波数特性	30 ~ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	26dB (1kHz)

■CD 部

全高調波歪み率	0.1% (1kHz, 0dB)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	70dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	90dB (1kHz)

■SD メモリーカード部

全高調波歪み率	0.1% (1kHz、0dB)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	70dB (1kHz)

■DVD 部

全高調波歪み率	0.1% (1kHz、0dB)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	70dB (1kHz)

■共通部

定格出力	11W × 4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	40W × 4
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (11-16V) アース専用
消費電流	0.5W × 4 出力時…約 3.0A 最大…約 15A
外形寸法	横幅 205.5mm · 高さ 104mm · 奥行 177mm
質量 (重量)	約 2.45kg



5. 仕様について

■周辺モニター（オプション）

【共通仕様】

撮像素子	1/4 インチ カラー CMOS	ホワイトバランス方式	自動
有効画素数	約 31 万画素数	自動感度調整範囲	1 : 1600 以上
水平解像度	300TV (中心) 以上	使用温度範囲	-30℃ ~ +70℃
TV 方式	NTSC	保存温度範囲	-40℃ ~ +85℃
標準映像出力レベル	1Vp-p (75Ω)		

【その他の仕様】

		バックガイドモニター
カメラ	焦点距離	f = 1.41mm
	F 値	1 : 2.4
	画角 (水平、垂直)	135°、105°
最低被写体照度		0.7lux (25IRE)
電源電圧		DC5.7V ~ 8.4V
消費電流 (最大)		100mA
外形寸法カメラユニット (W×H×D)		約 23mm × 20mm × 24mm
質量 (重量)		約 25g (ケーブル除く)

1. 50音さくいん

あ	
暗証番号	228
安全・快適走行の設定をする	150
う	
迂回	124、127
お	
オーディオソース選択画面	198
スイッチの配置を変更する	198
オーディオ & ビジュアル	189
オーディオスイッチ	196
オープニング画面の設定	50
お車を手放すとき	383
音の設定を変更する	199
音量バランス (POSITION) の調整	202
バーチャルシアターの設定	206
パラメトリックイコライザ の設定 (P.EQ)	199
ASL の設定	205
E-VOLUTION の設定	204
HARMONIZER の設定	204
LOUDNESS の設定	205
SFC (音場) の設定	201
音量調整	37、196

か	
画面の調整・設定を変更する	44
画質調整画面を表示する	44
画面を消す	46
ディスプレイの角度調整	44
昼画表示・夜画表示の切り替え	45
ライト点灯時に昼画表示にする	46
画面モード	207
簡易画面について	402
き	
緊急警報放送 (EWS)	266

け	
現在地の修正	135
現在地スイッチ	12
検索した地図を操作する	94
施設の内容を表示する	94
住所で絞り込む	95
地図の位置を変更する	94
提携駐車場を検索する	95
ピンポイント検索	94

こ	
高速道路・	
都市高速道路の表示	77
高速分岐案内の表示	80
ハイウェイモード	77
交通情報を受信する	210
交通ナビ関連情報	331
個人情報初期化	47、49
後席ディスプレイ	302
リモコンでの操作	302



1. 50音さくいん

し

自転車位置マークがずれているとき	135
距離を補正する	135
現在地を修正する	135
自宅を目的地に設定する	98
情報画面	330
情報画面を表示する	330
ショートカット+コントロール画面	22
ショートカット+コントロール 画面の表示	22
初期設定をする	36
音声案内の音量を設定する	37
自宅を登録する	36
車両情報の設定をする	37

す

ステアリングスイッチで操作する (オーディオ)	300
ステアリングスイッチで操作する (ハンズフリー)	419
スマートフォンナビ連携	178
スマートフォンナビ連携を 利用する	182
スマートフォンの接続を切る	182
スマートフォンを接続する	180
スマートフォンを登録する	180
スマートフォン機器の登録を 削除する	185
スマートフォン機器詳細情報を 表示する	183
使用するスマートフォンを 選択する	183
Bluetooth 接続の再接続について	182
スライドタッチ操作	19
スライド操作	19
フリック操作	20

せ

セキュリティ	29
作動インジケータを点滅させる	30
セキュリティのロックを解除する	30
セキュリティを作動させる	29
セキュリティを停止する	30
設定・編集(運転支援)	150、355
設定・編集(オーディオ)	242、247、287
設定・編集(電話)	403
設定・編集(ナビ)	137
設定・編集(メンテナンス)	38
設定・編集(Bluetooth)	298、414
設定・編集(ETC)	374

そ

走行軌跡	76
ソフトウェア更新	332
Audio SD を使って更新する	333

ち

地上デジタルテレビ	255	データベースの情報を見る	165
緊急警報放送 (EWS)	266	地図の表示	63
初回起動時の設定	259	画面を左右 2 分割して表示する (2D ツイン)	72
全画面表示	260	画面を左右 2 分割して表示する (地図/車両情報)	73
データ放送操作	264	現在地を表示する	63
プリセットスイッチ	260	市街図を表示する	71
EPG (電子番組表)	262	スイッチの表示/非表示	64
放送局リスト切り替え	260	地図縮尺を切り替える	66
miniB-CAS カードについて	255	地図の向きを切り替える	69
miniB-CAS カードの出し入れ	256	地図を動かす	65
地上デジタルテレビ (各種切替)	269	地図をカスタマイズする	71
映像切り替え	269	地図表示画面を設定する	74
音声切り替え	269	施設マークを表示する	74
画質調整	269	走行した経路を表示する (走行軌跡)	76
字幕切り替え	269	近くの施設を検索する	74
主/副切り替え	269	立体ランドマークの施設情報を 表示する	75
文字スーパー切り替え	269	地図を呼び出す	82
画面モード切り替え	269	施設で地図を検索する	90
地上デジタルテレビ (初期設定)	270	ジャンルで地図を検索する	91
地域設定	272	住所で地図を検索する	89
ホームプリセット設定	271	地図を検索する	82
メールインフォメーション	270	電話番号で地図を検索する	90
B-CAS カード情報	270	マップコードで地図を検索する	92
地上デジタルテレビ (設定)	267	名称で地図を検索する	87
地デジ・ワンセグ受信設定	267	履歴で地図を検索する	93
プリセットモード設定	267	地図 SD の出し入れ	16
放送局サーチ	267	地図 SD を入れる	16
地図画面を操作してみましょう	59	地図 SD を取り出す	17
地図に現在の車の位置を表示する	59	着信中画面の操作	398
地図を動かす	59	着信音量を調整する	398
地図を拡大/縮小する	59	着信を拒否する	398
地図更新	166	電話を保留する (応答保留)	398
地図について	165		
地図記号・表示	67		
地図データ	165		
地図データの更新	166		
地図データベースについて	166		
地図のスケール表示	67		



つ

通話中の操作	399
受話音量を調整する	399
送話音をミュート（消音）する	399
通話を転送する	400
割込通話を操作する	400
10キー入力する	401

て

ディスクの出し入れ	212
ディスプレイと 操作スイッチの操作	12
電子番組表 (EPG)	262
電話帳を編集する	405
携帯電話の電話帳データを 転送する	406
電話帳に新規データを追加する	409
電話帳について	405
電話帳のデータを削除する	411
電話帳のデータを修正する	410
電話帳を編集する	405
履歴のデータを削除する	412
ワンタッチダイヤルを削除する	412
ワンタッチダイヤルを登録する	411
電話を受ける	393
電話をかける	392
携帯電話本体から発信する	397
電話帳から発信する	394
ナビ画面から発信する	396
履歴から発信する	395
ワンタッチで発信する	396
電話を切る	393

と	は
到着予想時刻 110	バックガイドモニター 336
取り出しスイッチ 212、235	ガイド画面の出し方 337
	ガイド方法の選び方 338
	縦列駐車のみかた (縦列ガイドモード) 345
	縦列駐車のみかた (駐車ガイド線表示モード) 353
	バックガイドモニターについての 注意点 356
	バックガイドモニターの設定 355
	並列駐車のみかた (進路表示モード) 340
	並列駐車のみかた (駐車ガイド線表示モード) 343
	バックモニター 363
	ガイド線表示の設定 364
	画面の見方 364
	バックモニターについての注意点 365
	ハンズフリーについて 382
	ハンズフリーが 使用できないとき 383
	Bluetooth 携帯電話について 382
	ハンズフリーの準備をする 388
	携帯電話を接続する 388
	携帯電話を登録する 388
	ハンズフリーの設定をする 388
	Bluetooth 接続の再接続に ついて 391
	ハンズフリーの詳細設定を 変更する 413
な	
ナビゲーション画面の見方について 57	
ナビの詳細を設定する 137	
案内表示設定をする 143	
音声設定をする 147	
自動表示切替設定をする 145	
その他の設定をする 148	
地図表示設定をする 138	
ルート系設定をする 144	
に	
2 画面表示 72	



1. 50音さくいん

ほ

ポータブルオーディオ	288
本機の設定を変更する	47
個人情報初期化	47
ショートカット登録・編集	47
スライドタッチ操作	47
セキュリティ設定	47
操作画面継続表示	47
ソフトウェア更新設定	47
BEEP 音通知	47

ま

マップオンデマンド (地図差分更新)	186
マップコード	92

め

メニュー画面の操作	21
メモリ地点を登録する	125
迂回メモリを登録する	127
自宅・特別メモリ地点に登録する	127
地図画面から登録する	125
地点の登録について	125
メモリ地点の情報を修正する	129
メモリ地点を修正する	126
メモリ地点を消去する	127
メモリ地点を登録する	126
メンテナンス時期を案内する	38
自動通知(メンテナンス案内) の設定	39
販売店の設定をする	41
メンテナンスの項目を設定する	38

も

目的地案内中の現在地画面の 見方について	62
目的地案内の開始	104
目的地案内を中止する	104
目的地への案内	105
音声案内について	105
交差点案内	107
到着予想時刻について	110
目的地案内を開始する	104
料金案内について	111
目的地までの案内	97
目的地を設定してルートを 探索する	97
自宅を目的地に設定する	98
目的地の設定	97
ルート探索	98
ルート探索後の全ルート図表示	99
文字の入力方法	31

ら

ラジオを操作する	208
エリアプリセット	208
交通情報を受信する	210
周波数切り替え	208
周波数の記憶	208
プリセットスイッチ	208
AUTO.P	208

り

リスト画面	33
複数の候補から項目を選ぶ	33
文字の表示範囲を変更する	35
履歴発信	395

る

ルート案内中の操作	112
全ルート図を表示する	113
到着予想時刻・ 残距離表示を切り替える	114
ルート案内をさせてみましょう	60
目的地を決める	60
目的地を消去する	61
ルート案内を中止する	61
ルートを再探索する	115
ルートの再探索方法を選ぶ	115
ルートを自動で再探索する	115
ルートを変更する	118
探索条件を変更する	119
通過する道路を設定する	122
出入口IC（インターチェンジ）を 指定する	122
目的地の順番を並び替える	120
目的地を消去する	120
目的地を追加する	119
ルート変更画面を表示する	118

ろ

録音する	240
------------	-----



2. アルファベットさくいん

A	B
AAC について319	B-CAS カード255
AM ラジオ208	Bluetooth オーディオの操作288
AUDIO スイッチ196	Bluetooth オーディオについて288
Audio SD について233	各種表示について288
Audio SD に録音する237	Bluetooth 機器使用上の 注意事項について289
データベースについて237	Bluetooth オーディオ再生中の操作...291
録音したデータ容量を確認する242	一時停止／再生291
録音する240	動画ファイル再生291
録音についての注意239	早送り／早戻し291
録音の設定を変更する242	トラック切り替え291
録音を中止する241	トラックリスト表示291
Audio SD の操作（音楽再生）243	アルバム切り替え291
一時停止／再生243	アルバムリスト表示291
動画ファイル再生243	Bluetooth 接続291
早送り／早戻し243	RAND（ランダム）再生291
ファイル／トラック切り替え243	RPT（リピート）再生291
ファイル／トラックリスト表示243	Bluetooth オーディオを設定する294
フォルダ／アルバム切り替え243	使用するポータブル機を 選択する296
フォルダ／アルバムリスト表示243	ポータブル機の詳細情報を 表示する297
MP3/WMA/AAC の 再生について246	ポータブル機の接続を切る299
RAND（ランダム）再生243	ポータブル機を接続する294
RPT（リピート）再生243	ポータブル機の登録を削除する299
Audio SD の操作	本機の Bluetooth 設定を 変更する298
（録音データ編集）247	Bluetooth 機器を初期登録する42
アルバムを削除する253	
アルバム情報を編集する250	
お気に入りの楽曲集 （マイベスト）を作成する247	
サウンドライブラリ編集	
メニュー画面について247	
タイトル情報を個別に取得する254	
トラックを削除する253	
マイベストを編集する248	
Audio SD の出し入れ234	
Audio SD を入れる234	
Audio SD を取り出す235	

C	
CD タイトル情報取得	252
D	
DVD について	228
音声について	231
再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード) について	228
ディスクに表示されている マークについて	229
ディスクの構成について	230
DVD プレーヤーの用語について	231
DVD プレーヤーの操作 (映像)	218
一時停止/再生	218
各種切替画面表示	218
全画面表示	218
チャプター切り替え	218
早送り/早戻し	218
停止/再生	218
トップメニュー/メニュー表示	218
プログラム/プレイリスト 切り替え	218
DVD プレーヤーの操作 (音楽)	214
一時停止/再生	214
早送り/早戻し	214
ファイル/トラック切り替え	214
ファイル/トラックリスト表示	214
フォルダ切り替え	214
フォルダリスト表示	214
録音開始スイッチ	214
MP3/WMA/AAC の 再生について	217
RAND (ランダム) 再生	214
RPT (リピート) 再生	214
DVD プレーヤーの操作 (DVD 各種切替)	221
アングル切り替え	221
音声切り替え	221
音声モード切り替え	221
画質調整	221
画面モード切り替え	221
再生モード切り替え	221
字幕切り替え	221
ページ送り	221
リターン	221
DVD タイトルサーチ	221
DVD プレーヤーの操作 (DVD 初期設定)	225
映像出力切り替え	225
オートスタート設定	225
音声ダイナミックレンジ設定	225
言語コード一覧	225
視聴制限レベル設定	225
マルチアングルマーク表示設定	225
優先音声言語設定	225
優先字幕言語設定	225
優先ソフトメニュー言語設定	225
E	
EPG	262
ETC 画面の操作	373
統一エラーコードの表示	374
履歴表示	374
ETC 画面の表示	373
ETC 登録情報の表示	374
ETC の通知設定	374
ETC マーク表示	373
ETC 割込表示	373
ETC システムについて	370
ETC を利用する前に	370



F

FM ラジオ208

G

GPS 158

システムの特性上、
避けられないズレ 158

GPS 情報を利用できないとき 158

I

iPod の設定287

カバーアート表示287

iPod ビデオ音声入力282

iPod の操作 (音楽)282

一時停止/再生282

選曲リスト表示282

早送り/早戻し282

ファイル切り替え282

ファイルリスト表示282

iPod ビデオ再生282

RAND (ランダム) 再生282

RPT (リピート) 再生282

iPod の操作 (動画)284

各種切替画面表示284

画質調整284

画面モード切り替え284

全画面表示284

早送り/早戻し284

ビデオリスト表示284

フォルダリスト表示284

iPod ミュージック再生284

M

MP3 について 319

QQUICK SETUP
(初期設定サポート) 25**U**

USB メモリーの操作276

USB メモリーについて276

USB メモリーの操作277

一時停止/再生277

早送り/早戻し277

ファイル/トラック切り替え277

ファイル/トラックリスト表示277

フォルダ/アルバム切り替え277

フォルダ/アルバムリスト表示277

MP3/WMA/AAC の
再生について279

RAND (ランダム) 再生277

RPT (リピート) 再生277

V

VICS・交通情報の表示	168
タイムスタンプ	169
VICS 記号の内容を表示する	169
VICS・交通情報について	168
VICS・交通情報の表示設定	170
VICS・交通情報を活用する	171
渋滞・規制音声案内	171
VICS について	174
知っておいていただきたいこと	174
VICS 過去データ	175
VICS 記号・表示	177
VICS センター著作権	175
VICS の用語	175
VICS の問い合わせ先	176
VICS 放送局を選択する	173
自動で放送局を選択する	173
手動で放送局を選択する	173
VTR の操作	274
音声入力切り替え	275
全画面表示	274
各種切替画面表示	274
画質調整	275
画面モード切り替え	275

W

WMA について	319
----------------	-----



MEMO

MEMO



メモ

MEMO

SDナビゲーション 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報等)	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
富士通テン株式会社



* 0 9 0 0 0 2 - 3 5 6 0 C 7 0 0 *

090002-3560C700
1504PW(K)